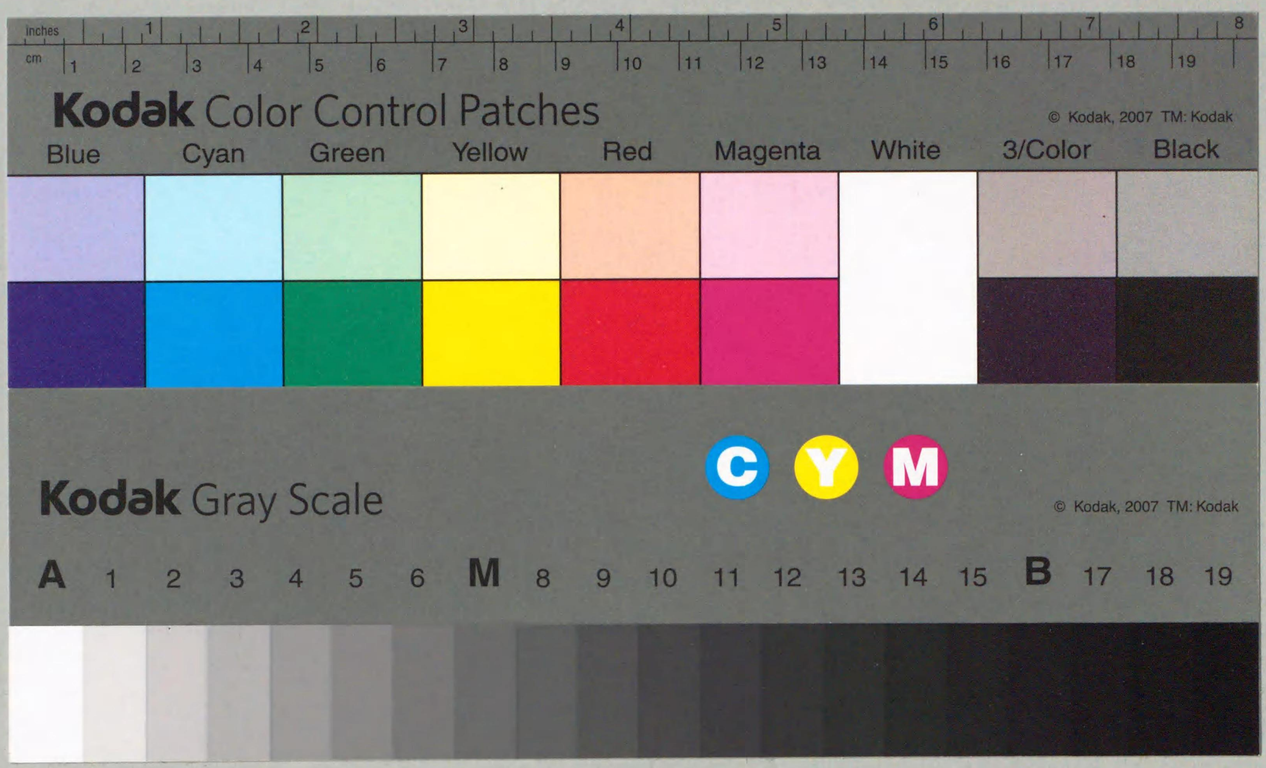


292.21
Sa778h
00033201

佐藤弘編

北支・シベリヤ・蒙古

東京
大阪
三省堂發行

29221
S-a7784

3320

序

今次の支那事變の進展とともに我等の注目の的となつた地方が三つある。北支那・シベリヤ。外蒙古がこれである。つまり滿洲國をめぐる國々こそは我等日本人の最大の關心を集中せしめてゐるのである。

北支那は滿洲國建國後、滿洲國と國民政府との緩衝地帯として明朗化さるべき宿命にあつたのであるが、頑迷な國民政府のあくなき排日抗日政策は北支那を反つて反滿・抗日の溫床たらしめたのであつて、今次の支那事變も北支那に於ける事件を契機として勃發したのである。然るに皇軍の作戰の進展と共に昨年末親日滿・防共の基礎に立つ中華民國政府が北京に成立し、北支那は明朗化され、經濟的・文化的建設が積極化されることとなつた。それにつれて北支那の現在がどうなつてゐるかの認識が本邦人に必須のものとなつたのである。

更に北支那事變を契機としてさらぬだに險惡な日蘇の對立は愈々激化した。蘇聯邦は滿洲國國境をめぐつて大軍を集結し、その對日滿挑戰行爲は露骨を極めるやうになつたのである。それにつれて、極東赤軍の物的基礎と云はるべきシベリヤ及び外蒙古に對する正確な認識もまた

序

我等日本人の必須のものとされるに至つたのである。

本書はこのやうな要求に應ずるために書かれたもので、滿洲國をめぐる北支那・シベリヤ・外蒙古の地理、特に經濟地理を概說したものである。高等程度の學校の教科書として、又社會人の教養上の讀物として書かれたものであつて、深い研究と云つたものでないことは云ふまでもない。併しかうした種類の書物がこれまで發刊されない事情にあつて見れば、このさゝやかな書物も時局の需要にいささかなりとも貢獻することができ、以て國家に對する著者の責務の一端を果すことができると信じて疑はないのである。

昭和十三年一月

日本經濟地理研究所にて

編者識

目次

第一章　北支那の自然と住民

一　北支那の範圍と歷史……一
二　北支那の地勢……九
三　北支那の氣候……三

第二章　北支那の產業と交通

一　農業……三〇
二　牧畜業……三七
三　森林富源……四〇
四　水產業……四一
五　鑛業……四五
四　北支那の住民……五五
五　北支那と南支那の比較……六八

第三章　北支那地方誌

一　河北省……七三
二　山東省……八三
三　山西省……八九
四　察哈爾・綏遠兩省……九三
六　工業の發達……五一
七　北支那の交通……五五
八　北支那の貿易……六六
九　北支那に於ける帝國の權益……六七
十　北支那をどう開發する……六八

第四章　シベリヤの自然と住民

附圖　北支那地圖　一〇一―一〇二
　　シベリヤ地圖　一三三―一三五
　　外蒙古地圖　一六〇

目次

一　シベリヤへの關心……一〇一
二　シベリヤの範圍……一〇三
三　帝政ロシヤのシベリヤ侵略……一〇五

第五章　シベリヤの產業と交通

一　產業の社會的條件と自然的條件……一一四
二　農業への展望……一一七
三　無限の森林富源……一二三
四　水產業の將來性……一二五

第六章　シベリヤ地方誌

一　極東地方……一二四
二　カムチャッカの自然と經濟……一二五
三　ビロビヂャン共和國……一三二

第七章　外蒙古

一　蒙古人民共和國……一三三
二　地形と氣候……一三四
三　產業と交通……一三八
四　住民……一四五
四　ブリヤートモンゴル……一二八
五　シベリヤの都市……一三三
六　滿蘇國境紛爭の展開……一三七
五　鑛物資源……一四四
六　躍進途上の工業……一五七
七　貿易の國營……一六五
八　シベリヤの交通……一六六
四　シベリヤの地勢……一〇八
五　シベリヤの氣候……一一六
六　シベリヤの住民……一二〇
五　沿革と政治……一三〇
六　都市……一三四
七　日蘇の接壤地帶……一三六

第一章　北支那の自然と住民

一　北支那の範圍と歷史

北支那の範圍

北支那　北支那とは一體どの地域を指すのであるか。勿論北支那とは中支・南支に對する言葉であることに違ひないが、その範圍は地理學上ではこれまでは大體に於て秦嶺・大巴山・伏牛山・淮山等の諸山脈及び舊黃河の以北の地方の土地を指すことになつて居り、今日の行政區劃で云ふと大體山東・河北・河南・山西・陝西・甘肅の六省の地を含んでゐるのである。併し今日我が國で北支那と云ふときは、このうちの山東・河北・山西の三省とこれに內蒙古の察哈爾・綏遠の二省を加へた五省の地を指してゐるのであつて、北支五省と云ふことによつてもこのことがわかるのである。從つて普通にいふところの北支那と云ふ時は地理學上で云ふところの北支那の一部と內蒙古の一部とを合せ指してゐるのである。以下本書で北支那と云ふときは概ねこの意味に使用することとする。

面積と人口　この意味に於ける北支那は北緯三五度から四七度、東經一一一度から一二二度に亙る地域であつて、その面積は約百萬平方粁、人口は約七千七百萬人である。だから、北支那は大ザッパに云つて、面積に於て我が內地の三倍、人口に於て略等しいと云ふことができるのである。

これを地理學上の北支那と內蒙古とに區別する時は面積に於ては地理學上の北支那の三省が約四十五萬方粁、內蒙古の二省が五十六萬方粁であるのに對して、人口に於ては地理學上の北支那の三省が約七千四百萬で、內蒙古は僅かに三百萬に過ぎないのである。つまり普通云ふところの北支那人の全部は地理學上の北支那卽ち支那本部の方に居住してゐるのであつて、河北省に三千百萬、山東省に三千萬、山西省に一千二百萬の人々が居住してゐるのである。かくて北支の三省は人口が頗る稠密であつて、河北・山東兩省の密度の如きは日本內地よりも大きいのである。從來これ等の二省が滿洲への移民の供給地となつてゐたことはこれによつても首肯できるのである。

北支那の沿革

歷史上の支那　北支那は支那文化・支那民族發祥の地である。漢族は恐らく中央アジヤの方面から黃河の上流を傳つて北支那に移住して來たものと云はれ、太古から黃河沿岸地方には漢族が多くの部落に分れて居住して居つたのである。そして傳說に從へば、今から凡そ四千六百餘年前に黃帝と云ふ君主が其中から出でてこれら漢族の諸部落を統一して國家を建設し、文學を創め、音樂を發明したと云はれてゐるから、北支那文化の歷史は卽ち漢族文化の歷史であり、而もその起源は凡そ西洋紀元前二千七百年と數へられるのである。その後北支那は堯・舜と云ふ二聖人の統治をうけた。次に禹が治水事業に成功した功績によつて舜の禪をうけて君主の位に登り、國を夏と號した。その後は禹の子孫が王位を世襲し、北支那は四百年にわたつて夏の支配にあつたのである。

夏の後には殷の支配が六百年餘續いた。次に周の武王が王位に卽き、國內に一族、功臣を分封し、所謂封建制度を施行した。周の王威が衰へると國內の諸侯が勢力を爭つて對立鬪爭することとなり、かの春秋・戰國時代が約五百五十年も續いた。戰國時代には北支那の地は燕・趙・齊・魯・魏等の支配下に屬してゐたのである。

秦の始皇帝が天下を統一すると共に北支那は秦の支配下に立つことゝなつたが、次に漢が立つて北支那を領することゝなつた。漢は前漢・後漢を通じて約四百年つゞき、次に三國時代となつた。この時までは北支那は漢族自身の支配下にあつたのであるが、その後北支那は北方民族に支配される方が長かつたのである。卽ち三國の後、晉が支那全土を統一したが、晉は三一七年に南方江南に移り、江北殊に北支那の地は多く、北方民族に支配された。次の南北時代もその狀態が續いたが、五八一年隋の成立以後唐の滅亡まで約三百三十年の間は北支那はまた漢族の手に完全に歸したのである。

九〇七年唐の滅亡後、五代・遼の時代は北支那はまた北方民族の支配下に屬することとなり、更に一一一五年に遼を亡ぼした金が北支那を支配した。その後に起つたのが元で、これが北支那を支配し、而もそれが一三六八年元の滅亡まで續いたのである。

元の後にたつた明は漢族のたてた王朝であつて、その支配は約二百八十年續き、清國がこれに代つて北支那を支配することとなつたのである。清は滿洲族のたてた王朝であり、初期に世祖・聖祖・高宗等の明主が出でゝ西藏・蒙古・新疆・ビルマ・安南等の土地を平定し、今日支那の領土とされてゐる地域は概ねこの時に定められたのである。併し、高宗の死後の清朝は次第に衰へ、ロシヤ・イギリス・フランス等のためにその領土を次第に奪はれたのである。又今日列强が支那に持つてゐる領土・租界その他の政治的利權等は何れも概ね清朝時代に獲得されたものである。清朝もそ

れにつれて大いに衰へたので、漢族が立つて一九一二年（明治四十五年）に遂に清を滅ぼした。かくて支那は中華民國となり、北支那は漢族の支配下に屬することとなつたのである。

中華民國成立後も支那は殆ど統一せず、北支那の支配者も幾度かの變遷があつたが、中華民國の首府は依然として北京にあつたので、北支那は暫くの間中華民國の政治的中心地帶であつたのである。然るに昭和二年南京に國民政府が建てられ支那の統一に乘り出してからは、北支那は支那の政治の中心ではなくなつたのである。最初の間はこの地方の軍閥も南京政府に反抗したのであるが、南京政府は北支那をも大體從へるやうになり、北京も北平と改稱されるに至つたのである。

これが滿洲國建國前までの北支那の狀態であるが、滿洲國が帝國の友邦として建設せられてからは、北支那は滿洲國の接壤地帶として重要な意味を持つやうになつた。殊に南京政府が排日・侮日・抗日政策を依然として放棄しないばかりか、それに狂奔するやうになつたし、一方ではソヴィエト聯邦の赤化勢力は外蒙古を全く手に入れて滿洲國の側背を脅かすに至つたので、北支那は滿洲國の後衞地帶として親日滿・防共の明朗地帶とならなければならなくなつたのである。昭和十年の冀東防共自治政府、翌年の冀察政權の出現もこの要求に應じたものであつた。我が國はこれ等の政府を助け、南京政府と手を握つて北支を開發し、こゝに親日滿・防共の明朗地帶を建設しようと努めたのであるが、南京政府は我が眞意を全く理解せず、依然として抗日政策を堅持した。冀察政權も南京政府のこの態度を反映して日支の提携を妨げ、抗日的態度を露骨にしたので、遂に昭和十二年七月日・支の全面的衝突となり、皇軍は大擧北支に兵を進めて南京政府を膺懲することゝなつた。皇軍の向ふ所全く敵がなく、忽ちの間に北支那を席卷し、北支那から暴逆な支那軍を追ひはらつた。こゝに於て北支那の民衆は同年十二月中華民國臨時政府を北京に組織し、親日滿・防共を基調とする明朗支那を建設することとなつたのである。

位置の重要性

中原の地　北支那の平原は古來多くの英雄の間の爭奪の的となつた土地である。既述の通り支那文化と漢族とは黃河の流域に發達したのであるが、夏の相王の時代に今の河南省の歸德を首府としたので、北支那の平原が全支の中心となり、これが中原の地として歷史の舞臺の表面にあらはれたのである。從つて、北支那は古くから漢族と支那文化との中心的地域であつたわけである。つまり北支那の位置はすぐれた優秀性を持つてゐたのである。

かくして北支那に對する我々の關心は歷史上この地方が支那の中心地域であつたことに基因してゐるので、こゝに北支那が本來持つてゐる位置の重要性が看取されるのである。北支那の地に古都北京を始め、歷史上名高い數々の町が見出されるのも、その北境に蜿蜒として三千粁の長きにわたる萬里の長城が見出されるのも、古來こゝに幾多の王朝が興亡したのもこの地理的位置によつて指定されてゐると見ることができる。たゞ南京政府の成立以來支那の政治的中心は中支に移り、更に經濟的中心も早くから中南支に移つてゐたので北支那は最近では從來のやうに中原の地ではなくなつてしまつたのであつて、地理的位置の重要性が時代とともに變遷することはこれによつても首肯できるのである。併し滿洲國の出現は從前とは違つた意味に於て北支那の地理的位置の重要性を前面に持ち出したのである。

滿洲國の接壤地帶　北支那に對する我等の關心は、今日に於ては先づそれが滿洲國の接壤地帶であることに基くの

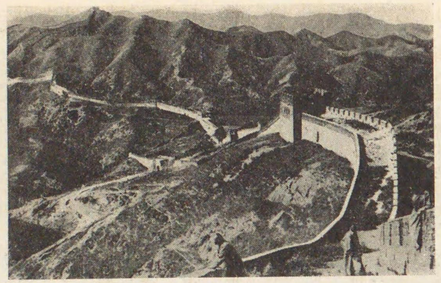
である。滿洲國の健全な發達を圖ることは我が國大陸政策の根幹である。我等は如何なる犧牲を拂つてもこれが發展を圖らなければならぬ。それがためにはその周圍にこれを妨害する如きものゝ存在を許さない。冀東政府・冀察政權の成立はこの事實を雄辯に物語つてゐる。この度の支那事變も排日・抗日を國是とする南京政府がこの地方を完全に中央化しようと積極的に進出して來たことに基因する。かくて北支が滿洲國の接壤地帶であることはこゝを南京政府から或る程度まで離れた特殊地帶たらしめる運命をもつてゐたのである。

更に北支那は民族的にも滿洲國と離すことが出來ない關係にある。蓋し、滿洲國三千萬の人口の殆ど全部は漢族である。而してこの漢族は概ね山東・河北・山西あたりから來住したものである。これも亦北支那が滿洲國の接壤地帶である結果であると見ることが出來る。しかも、滿洲國と住民が兄弟の關係にあつて見れば、北支那がまた日・滿兩國の特殊地帶たるべきことは當然と考へられるのである。

最後に、北支那は外蒙古と中・南支との中間地帶にある。卽ちソヴィエト聯邦と南京政府との間の漸移地帶、接觸地帶に當つてゐる。ソヴィエト聯邦の支那赤化の魔手はこの北支那を通じて中・南支に伸張しようとしてゐるわけである。防共政策を國是とする我が帝國としてはこの地方を赤化に對する防壁としなければならぬわけである。北支那が日・滿兩國の特殊地帶たらしむべきことはこの點からしても首肯できるのである。

萬里長城

萬里長城　外城と內城との二つがあり、外城は山海關から支那本部と蒙古との境界をなして甘肅省の嘉峪關に至るもの、內城は山西・河北兩省內に二重となつてゐる部分を云ふ。總延長は六千八百粁に及び、土・石を材料として、高さは四米乃至粁九米、厚さは下部に於て七・五米、上部に於て四・五米、また五米乃至八米のところもある。また城壁から獨立して煉瓦で築かれ高さ十二米に及ぶ空心敵臺といふものがある。長城はもと北狄の侵入を防ぐために作られたもので、秦の始皇帝が蒙恬をしてこれを增築せしめ長さ萬餘里（支那里）に亙つたのでこの名がある。北京の北西、標高六三三米の八達嶺に至るとその分水嶺上に谷を渡り山を越え、遙かの雲際に至るまで蜿蜒と長蛇の如き偉觀が眺められる。



萬里の長城

長城關隘　この蜿蜒と連なる萬里の長城には所々に關門が設けられて居り、そこは長城內部と外部地方との取引の中心となつてゐる。關・口の文字を持つ地名の多くはこれである。その主なものを擧げてみよう。

山海關　榆關とも云はれ、滿洲國と支那とを通ずる大關門である。山を負ひ、海に面し、天下第一關と稱せられる。

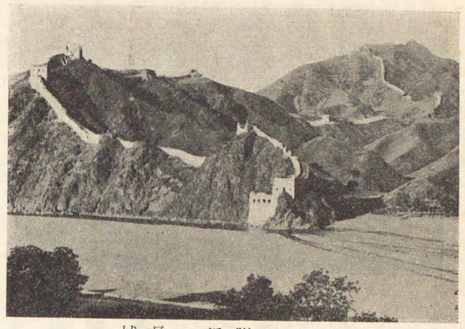
古北口　ここに熱河から北京に至る要路に當つてゐる。關東軍の熱河作戰當時激戰のあつた所である。路僅かに車を通すと云ふ隘路である。

獨石口　察哈爾省南部の咽喉で、車が通れず、僅かに人馬を通すと云ふ隘路である。

張家口　蒙古に通ずる要衝で、支那事變までは日本商人もここに居住營業してゐた。

喜峰口　河北省から熱河省に至る關門で、古の薊龍間道である。關門の來遠樓は千人を容れることができると云ふ。

居庸關　軍都陘とも云はれ北京の北方、平綏線の隘路、兩山屏立の峽道で、一夫路に當れば萬卒も進む能はずとせられた所、隘路の延長は四十支里、關に三關あり、南を南口、中央を居庸、北方を上關と云ふ。今次の支那事變で大激戰のあつた八達嶺もこゝにあり、附近の長城は雄大で而も最もよく保存されてゐる。



古北口附近の長城

紫荊關　北京の西南方にある關門で、蒲陰陘とも云はれる。

倒馬關　紫荊關の西南にある關門で、鴻上又は常山とも云はれる。

井陘關　石家莊西方にあり、河北省から山西省に入る關門である。

飛狐口　紫荊・倒馬兩關の外嶮にあたり、兩岸峭立の天嶮とされてゐる。山西省に入る關門である。

雁門關　山西省北部、太原から大同に至る通路の關門、西陘關と東陘關とが左右に並んで居り、關城の周圍は二里にも及ぶと云ふ。

殺虎口　山西省から綏遠に至る關門で、外蒙との取引が行はれる。

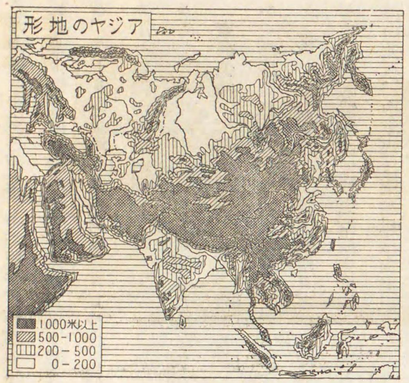
嘉峪關　長城の終點に當る關門で、新疆省方面に至る要衝に當つてゐる。

二　北支那の地勢

支那の地勢概說

複雜な地形　支那は國土が廣大であるから各地に複雜な地形を包含してゐるが、大體に於てその地形の特徴は西部に高くて東部に低平なことである。卽ち滿洲の興安嶺の東側に引かれた斷層崖下の一線が南に延びて北京の西を通り、正定を通つて河南に出で、宜昌を經て廣西省の龍州に延びてゐる。これが所謂興安嶺斷層線で、この線を境として以西は一千米乃至二千米の高地をなし、以東は支那平野の陷沒低地となつてゐる。かくて支那を地形的に區分して、西部高地と東部低地とに分つことが出來るのである。

西部高地　中央を南北に貫くこの興安嶺斷層線の西側には、これと平行して興安嶺・大行山脈・楚西山脈等があり、またこの斷層線に橫切られるものに秦嶺がある。卽ち北から蒙古高原・山西臺地・渭水盆地・四川盆地・雲貴高原等がこれである。秦嶺は西に延びて靑海の平均海拔三千米餘の高原となり、これが更に西に向つて崑崙山脈となり、遂にパミール高原に終つてゐる。



その南側は青海と西藏との高原で、西藏高原は四—五千米の高度を有し、更にその南にヒマラヤ山脈がある。崑崙山脈の北には天山山脈が約五千米の高度を以て東西の方向に走り、兩者の間には高度一千米のタリム盆地を挾んでゐる。タリム盆地も蒙古高原のゴビ沙漠と同樣に乾燥氣候のため、その中央はタクラマカンの大沙漠となり、タリム川その他の內陸河川が流れ、ロブノールその他の鹹湖がある。かくの如く興安嶺以西は高原または海拔の高い盆地をなしてゐて、何れも氣候に惠まれない地域となつてゐるのである。

東部低地　西部高地が二—三の盆地を除いては概ね地形と氣候とに惠まれず、不生產地帶となつてゐるのに反して、中央斷層線以東は南支那から揚子江の流域にかけて追つてゐる低山性の南嶺を除いては、概ね低平な大平原であつて、北支那平野・湖廣低地・皖南低地及び彭蠡平野・揚子江下流の勾吳平野等多くは河川の流域に肥沃な平野をなしてゐる。而して東部低地は地形上秦嶺と南嶺とに限られて、北支那・中支那・南支那に區分される。北支那は北嶺以北で大體黃河の流域、中支那は秦嶺以南南嶺以北で、大體揚子江の流域である。南支那は南嶺が蟠つて複雜な地形を呈し、浙江・閩江・韓江・珠江等の流域となつてゐるのである。

北支那の山地と平原

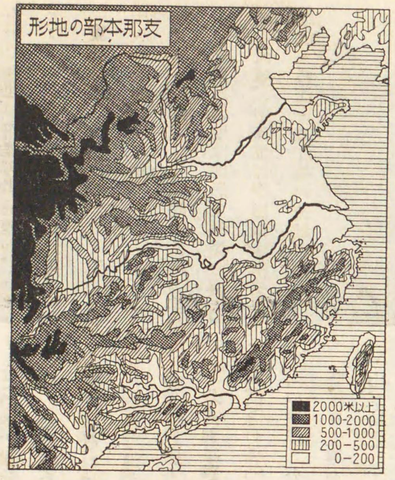
北支那の地域區分　普通云ふ所の北支那は概ね黃河の流域で大體北嶺以北と見てよいのである。而して地形的に見てこゝで云ふ北支那はこれを次の四つの地理區に分けることができるのである。

第一は東部にある山東山地である。これは山東省東半部の山地である。

第二は西部にある山西臺地で、これは山西省の地である。

第三はこの山東山地と山西臺地との中間に位する中央平原で、河北省・山東省にまたがつて居り、北支那平野がこれであつて、俗に云ふ中原とはこれを指す。尤も北支那平野は更に河南・安徽・江蘇等こゝで云ふ北支那以外にまで廣がつてゐるが、こゝではこれにふれないこととする。

第四は北西の蒙古高原で、海拔千米位の高原をなす乾燥地帶で、察哈爾・綏遠の二省がこれに屬してゐる。

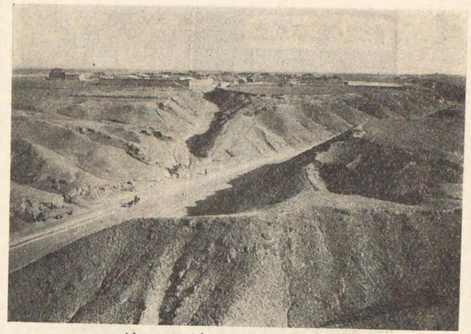


北嶺　これは崑崙山脈から分派した涇山山脈を始めとして秦嶺・大巴山・伏牛山・淮山等の諸山脈がこれに屬してゐるのである。而して大體に於てこれらは北支那と中支那との境界を劃し、同時にまた揚子江水系と黃河乃至淮河水系との分水嶺をなしてゐるのである。高度は秦嶺に於て概ね二千米乃至二千五百米を示し、大巴山山脈に於ては一千米乃至二千米となつて居り、淮山山脈は大體七—八百米で最も低くなつてゐるのである。

山東山地　かつては勞山・泰山の二つの島嶼として黃海上に浮んで居つたのであるが、黃河のもたらす夥しい黃土の堆積によつて大陸と連絡して半島狀になつたもので、大きな陸繫島にほかならないのである。幾つかの傾動地塊か

ら成る三角形の山地と海岸山脈とその間にある波状地帯とに區別される。この地の山は樹木のない禿山ばかりである。

山西臺地　東は高度約千米乃至二千五百米の大行山脈によつて北支那平野と境し、南は黄河上流に限られ、北は陰山山脈で、内蒙古に接し、幾多の斷層山脈や地壘・地溝を包括する高原性の隆起地塊である。北部には五臺山脈が山西の五臺山に起つて北東に走り、南口山脈となつて八達嶺に及んでゐる。五臺山脈中に大同・宣化の盆地、汾水地溝に太原・平陽の盆地がある。尚南には渭水が黄河に合流する附近に西安の盆地があり、豊沃な平野を形成して漢民族發祥の地となり、歴史上重要な役割を果したが、これはこゝで云ふ北支那には入らないのである。

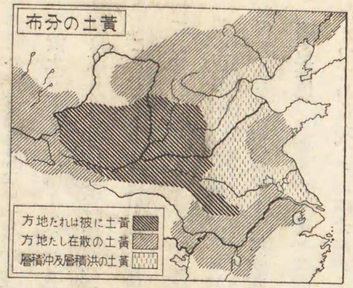

大同外城

北支那平野　北緯三二度から四〇度の間に亙つて展開し、北部は白河と黄河との作つた三角洲に當り、南部は淮河の流域をなしてゐるが、概ね黄河の流出した沖積土で蔽はれ、更にその上に風で運ばれた黄土が堆積して豊沃な土壌を形成してゐる。元來現在の大行山脈の麓までは山東半島の諸山が島として海上に散在し、海は淮山の山麓までも擴がつてゐたのである が、黄河及びその他の河流のはこぶ土砂によつて、漸次に埋められてこの平野ができたのである。

北支那平野は支那の心臟部に當つて居り、漢族文化の源泉地として絢爛たる歴史を織り出したのは實にこの大平野であつて、古來中原と呼ばれてゐるのである。さればこそ今日北支那の住民の大部分はこの平野に集中してゐるので

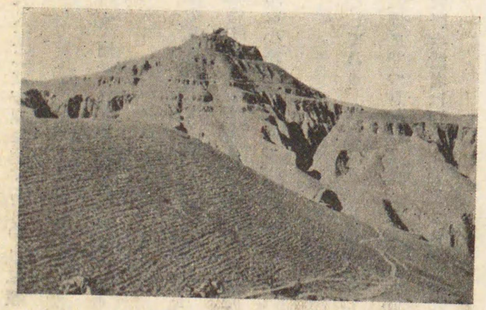
あつて、一方粁の人口密度は實に二百五十人に達してゐるのである。

北支那の黄土　黄土は文字通り、黄褐色の細かな土壌である。有名なリヒトホーフェンの研究以來、この黄土は中央アジヤから風の作用でこの地方に運搬堆積した風成土であることが一般に承認されてゐる。第四紀洪積世に蒙古高原からこゝにもたらされ、谷も丘も埋めつくした。



黄土層は非常に細く、指で擦ると皮膚の氣孔に入つてしまつて、黄土の厚さは時には二―三百米に達する所もあると云ふ。しかしクレッシイの實地調査では百米以上のものはなかつたと云ふ。黄土層のうちには黄土以外の細粒が混同してゐるので、黄土の厚さを間違へやすいのだと云ふことである。

黄土は非常に脆弱ではあるが、非常に硬くもつてゐる。黄土の一塊をとつて之に水を注ぐと忽ち滲過するが、それによつて水を含んで泥土となるやうな事はない。又眞直に裂けやすい特質をもつて、數十呎の直立の壁となつてゐる所がある。これは黄土の表面に地水の蒸發の結果天然にセメントが出來て、崩れる細粒を固めるためである。


黄土層

かうした黄土に蔽はれた土地の面積は十一萬九千方哩に達し、黄土の量は二、八五二立方哩に達するものと見積られてゐる。實に莫大なものである。それ故にクレッシイは支那の地理區の一として黄土高地といふ特別の一區を設けてゐる。黄土高地は山西省全部・陝西・甘肅・河南各省の大部分、寧夏・綏遠・察哈爾・河北各省の一部分を含み、その面積は二十萬平方哩に達してゐるのである。

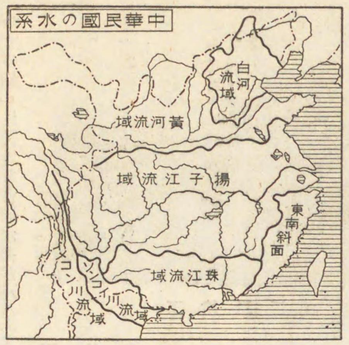
黄土高地の自然と文化とは黄土によつて特色付けられてゐる。そこには平廣な黄土臺地が發達してゐる。此地方の河と云ふ河は皆黄色な流れをなしてゐる。又時には黄土層の隙間に沿つて羊腸とした小路が通じてゐる。小路は一臺の車がやつと通れる位で、しかもその兩側は數十呎の土壁をなしてゐる。こんな小路が幾哩もつゞき、旅行は殆ど一日の間外の景色を見ないで歩かなければならぬ。

又黄土は柔かで開鑿しやすいので黄土層の低部に洞穴を作り、これを住居としてゐる。材木の乏しい此地方では之は夏は涼しく、冬は暖い好適な住居である。面白いことには煙突が洞穴の上の畑までつき抜け、畑の中から煙が出てゐることである。河南省の黄土層には學校・兵營・商店等も設けられて居り、穴居生活者は百萬―百三十萬位を數へられてゐるのである。

黄土は農業上にも價値が大きい。といふのは黄土は洗ひ流されてゐない土壌だから特に肥沃で、施肥なくして收穫が得られる。又風が吹く毎に新黄土が提供され而も水を保持する力が強いので雨が少くても作物が出來るのである。

蒙古高原　外蒙古から續いて來てゐる蒙古高原の西南部にあたつてゐる高原で、域内には興安嶺・陰山山脈がわだかまつてゐるが、その西北斜面と東南斜面とでは異なつてゐる。卽ち西方斜面は眞の意味で蒙古高原の一部をなすの

であつて、全域は緩慢な傾斜を示しながら、西北のゴビ沙漠に向つて低下してゐる。その海抜高度は一千米内外に達するのである。河川も多くこの東南の山地に發して西北に流れるのであるが、海洋に流出するものはないのであつて、何れも内陸河川として沙漠中に姿を沒し、そしてその沒する附近に濕地又は湖沼を作つてゐるのである。これに對して東南斜面は北支那平野・滿洲平野に向ふ斜面に當つてゐるのであつて、その海抜高度も西北斜面に比較すればズット低いのである。而も河川も東南流して居り、海に注ぐものが多いのである。又西北斜面に比較すれば雨が多く、氣候も稍良好なので、牧草がよく成育し又農業さへ行はれてゐるのである。



河　川

河川の特色　尨大性を特色とする北支那のことであるから、我が國などと違つて大河が多い。この長大な河川の多いことが北支那の特色の一つをなしてゐるのである。それ等の河川の大部分は渤海又は黄海に注いで居るのであるが、又海には注がない所謂内陸河川も見られるのである。

北支那の河川のうち一番長大なのは云ふまでもなく黄河であり、これに附屬する多數の支流を合した所謂黄河水系は北支那の大動脈となつて居り、この黄河水系の流域が卽ち北支那であると云つても敢て過言ではないのである。この黄河水系に次ぐものは白河水系である。白河水系は黄河水系よりも遙かに小規模であるが、水運の便

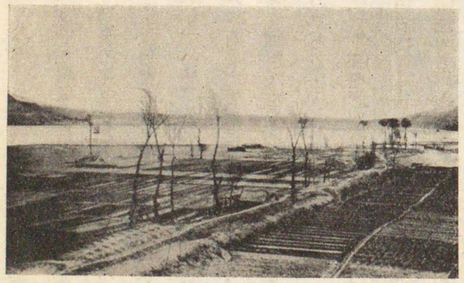
は反つて黄河水系にまさつてゐるのであつて、天津を中心として北支那の主要な交通網を形成してゐるのである。

かくの如くに長大な黄河水系が小さな白河水系よりも船運の便が少いことによつても想像されるやうに、北支那の河川は揚子江を中心とする中支那の河川、珠江を中心とする南支那の河川に比較すると水運の便が少いのである。これは北支那の河川は水量が比較的に少いことに基因してゐることは云ふまでもないが、又水量の不規則性にも因つてゐるのである。つまり、水量のない時期には極端に少い反面、ある時期には極端に多いのであつて、例へば黄河の如きは往々にして氾濫を起し、所謂「支那の禍患」の原因となつてゐるのである。

天津附近の氾濫

黄河　青海の一小湖に發源し、北流して甘肅省に入つて洮(トウ)河・大通河の二支流を併せ、寧夏を經て蒙古に入り綏遠省内を東流し、包頭の東で直角に折れて山西・陝西兩省の境界をなしつゝ南流する。南流すること六〇〇粁、この間峽谷をなし、潼關の北で山西山地より來る汾水を合し、潼關附近で渭水を併せて再び直角に折れて東流し、開封の附近で北支那平野に出で、北東に向つて渤海に注いでゐる。全長一四〇〇粁、山地を出てから海に入るまでの間に支那の心臟部をなして來たので、支那の歴史に於て群雄が蜂起するごとに逐鹿競爭の行はれるのは卽ちこの大平野であつたのである。

黄河の流域は九十八萬方粁に及び、その上流から運んで來る黄土は平均四〇〇米の厚層をなして六十萬方粁の廣さに亙つて分布してゐると云はれてゐる。その石灰層の粘土に石英の小粒及び雲母の細片を交へた淡褐色の土壌は北支那に特徴的な樹木のない景觀を生ぜしめ、そこに麥類の栽培を盛んならしめてゐる。黄河は單に河とも稱せられてゐるが、特に黄河の名を生じたのは、かくの如く上流から黄土を運んで水が黄濁してゐるからである。七―八月の雨期に洪水を起すと、兩岸の堤防まで一面の濁水が、中央部に弓なりに膨れ上つて非常な速さで流れるので、その水勢の急な所では、河底の下方十米以上も泥土が動くといふ。かくて黄河の鐵橋などは橋脚がふ

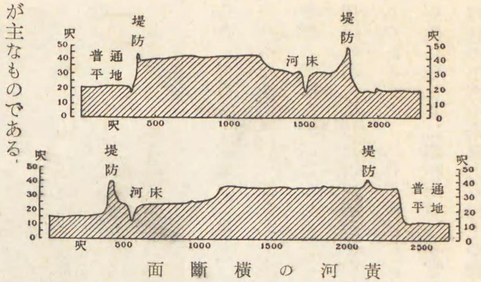


黄河の氾濫原

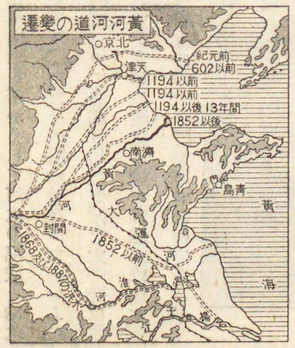
黄河の上流

處にその舊河道を追跡することが出來る。かくして河水の氾濫と治水とは北支那住民の永年の惱みであり、またその歴史であつたといふことが出來るのである。併し黄河によつて形成された豐饒な大平野は常

ら〳〵に浮かされる處れがある。この洪水の時に上流から運ばれて來る泥量は實に驚くべきものがあり、水勢は到底この多量の泥全部を運びきれないから、泥は年々河底に沈積せざるを得ない。そこで河底の高くなる以上、兩岸の堤防もまた高くせねばならないので、大行山脈の麓から海に至るまで蜒蜒として長蛇の如く横つてゐる堤防は非常な注意を以て保護されてゐる。然し一旦洪水で堤防のどこかゞ切れゝば低い兩岸は一朝にして泥海と化し、同時に河道もまた大變化を來す。このやうに過去二十五世紀の間に十數回も繰返された河道の變遷は、人民に多大の災厄を負はして來たのである。水量が不定のために舟航の便には乏しいのに、かゝる洪水の大害をのみ生ぜしめる黄河が「中國の禍患」と呼ばれてゐるのも當然だと云へるのである。尚支流は多いが、こゝで云ふ北支那にあるものとしては山西省の汾水・沁水等が主なものである。



黄河の横断面



白河　源流は獨石水と云ひ五郎海山に起り、下流は潞河・北運河・北河・海河等と呼ばれて居り、數多の屈曲をなして渤海に注いでゐる。全長九〇〇粁、流域は十四萬五千方粁で、泥土を流下するために水深の變動し易い缺點はあるが、河北省水運の主動脈として重要な河川であり、北支那唯一の交通可能の河川である。

この白河の水系に屬する河川としては北塘河・永定河・大清河・滹沱河・滏陽河・衛河等があげられる。

濼河　河北省東北隅を流れる河川で、源は内蒙古に發する。延長は約八百粁で、下流には多少水運の便がある。

湖沼

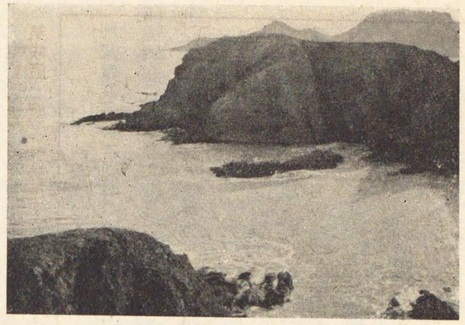
北支那の平原は湖沼が少くない。主なものとしては河北省の察晉泊・白洋淀・大陸澤・三角江・七里海等、山東省には南陽湖・微山湖・麻大泊等がある。又これ等のほか、山東臺地内部には百脈湖が名高く、山西省西南部では河東鹽の山地として知られる陸村鹽地がある。又察哈爾省内には鹽湖・巴彦泊等の鹹湖が少くない。

海岸

單調な海岸　北支那の海岸の特色を一言で云ひあらはすとすれば恐らく單調な海岸と云ふことができよう。中央部よりやゝ南にあたつて支那第一の半島である山東半島が東方に向つて突出して居り、その北方に突出する滿洲國の遼東半島と共に渤海を黄海から限つてゐるのであるが、これを除けば著しい變化がない上に、渤海・黄海の海岸そのものも至つて單調と云つて差支へないのである。

渤海　北方の一部は遼東灣、南方の一部は萊州灣と稱され、長徑は北東から南西に約九百粁、短徑は約五百二十粁で、水深は二十四尋内外と云はれる。沿岸は遠淺で、出入が少く、良港灣がない。而してこれに注ぐ黄河その他の河

川が絶えず沙土を運搬して堆積するので海は年と共に淺所を加へ海面が縮少する。從つて大船の航行に不便である上、北方では冬季結氷する缺點さへある。併し遠淺な海岸は製鹽には好都合であり、沿岸に長蘆鹽・山東鹽の出るものこれに負ふ所があるわけである。



山東半島の海岸

黃海　大體に於て北支那と朝鮮半島との間に位し、アジヤ大陸の緣海で、所謂大陸棚上の淺海である。黃河その他の河川のもたらす黃土によつて海水が黃濁してゐるので、黃海の名がある。北支那のうち、直接黃海に面してゐるのは大體に於て山東半島の海岸である。

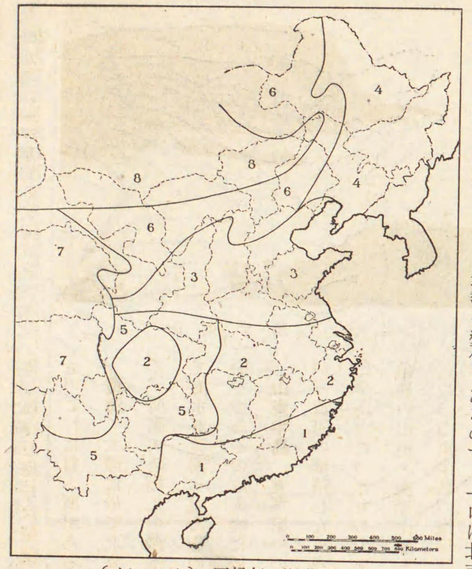
山東半島　支那第一の半島である。元來は大きな島であつたのであるが、黃河の堆積した三角洲によつて北支那平原ができたために今日のやうに半島となつたものである。これを細別すると傾動地塊の集合より成る三角形の山地・海岸山脈・その間の波狀地から成つてゐる。

この山東半島の海岸は山岡が起伏してゐる關係で、出入も相當に多く、芝罘・威海衞・榮城・桑溝・石島・靖海・五疊島・沐山・勞山・膠州灣その他の良港灣も少くないのである。而も勃海沿岸と異なつて、終年海運が通じ得る利益がある。

尙山東半島沿岸の主な島嶼としては廟島列島・崆峒・養馬・海驢・蘇門等があげられる。

三　北支那の氣候

氣候區　廣大な地域をもち、地勢の變化もあるので、一口に北支那と云つても支那本部と蒙古高原とでは大分趣を異にする。クレッシーに從へば、こゝで云ふ北支那は彼の云ふ北支那型・草原型・蒙古型の三氣候區に屬してゐる。

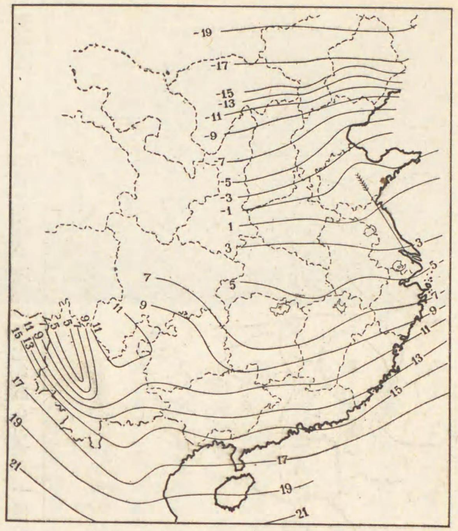


支那滿洲の氣候區（クレッシー）

型滿洲 4　型那支北 3　型那支中 2　型那支南 1
型古蒙 8　型藏西 7　型原草 6　型原高南雲 5

北支那の三省の氣候　ゴビ沙漠に近く、こゝから西藏高原の緣邊を迂回して流れ出る朔北の寒風を受けるため、冬季は零下一〇度にも及び甚だ寒冷で、河川は勿論海岸すらも凍結する所が多い。又この時季は乾燥の氣候であり、春季に於ても乾燥氣候は尙續くが、氣溫は急速に高まつて夏季は二六度以上に及んで暑熱が著しく、所謂大陸性氣候を示してゐるのである。

夏季の三―四ケ月は盛んに雨が降る。冬季は積雪があるが、割合に少く、たゞ山東半島沿岸は比較的に多い。一般に年降水量は一千粍以下でその七割はこの夏季に降るのである。かくして北支那では冬の乾季と夏の雨季とがハッキリとした對照をなしてゐる。



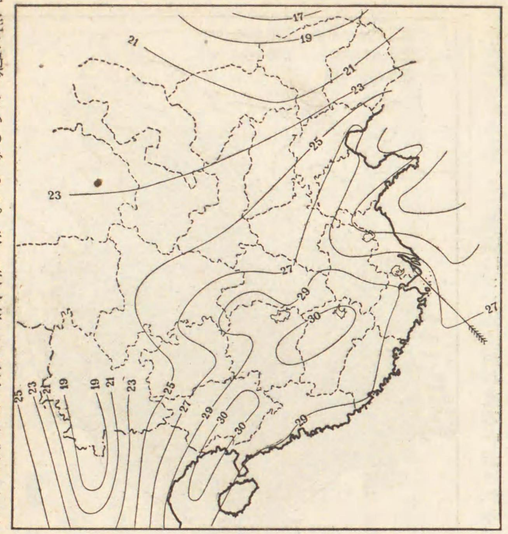
支那の氣温（一月）（矢印は風向）

支那は概ねモンスーン地帶に屬するが、北支那もモンスーンの影響をうけ、夏季は西南風、冬季は北風となる。つまりこの地方は山東半島を除いては一年中陸上の方から吹く風が多いのでありこれがこの地方を寡雨地帶たらしめてゐるのである。

同じ北支那でも山東省の如きは三方海にかこまれてゐるので、氣温も中々に良好で、又雨も多いのであつて、例へば青島の平均氣温は最寒月の一月が零下〇・四度、最暖月の八月が二四・九度、年平均一二・一度である。又年雨量も六六〇粍を示してゐるのである。

河北省になると海に面する部分は山東省よりも少く、且つ風向が概ね陸上から吹いてくると云ふ關係で雨が少くなり、氣温の較差が大きくなる。つまり大陸性が著しくなるわけで、例へば、天津の平均氣温は最寒月一月が零下四・

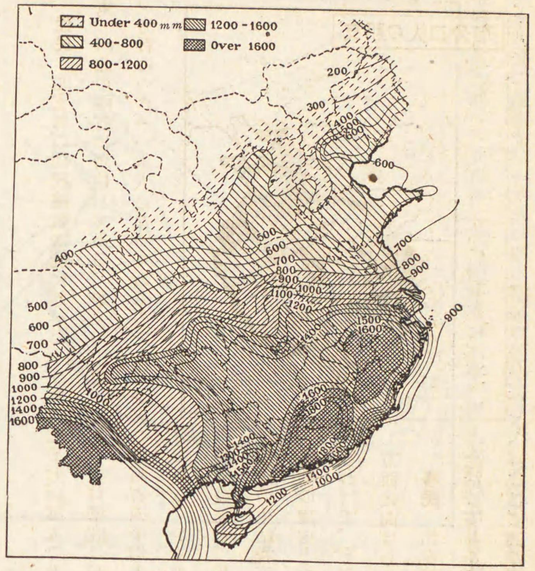
一度、最暖月七月が二六・一度、又一ケ年の雨量が約五百粍である。天津より内地の保定の平均氣温は最寒月一月が零下四・五度、最暖月七月が二六・九度、年平均が一二・二度で、一ケ年の雨量は三百八十粍である。



支那の氣温（七月）（矢印は風向）

山地の山西山地に入ると更に雨が少く、且つ氣温の較差がはなはだしくなるのであつて、太原の平均氣温は最寒月十二月は零下七・八度、最暖月七月が二七度、年平均が一〇・六度、又一ケ年の雨量は三百五十粍を示してゐるのである。

内蒙古二省の氣候　察哈爾・綏遠の兩省は最も海洋からはなれてゐるために大陸性が著しいのであつて、概ね一年のうち九月から四月までが冬で、五月から八月までの四ケ月の間に春夏秋の三季が慌しく經過するのである。察哈爾省のシワンツの平均氣温は最寒月一月が零下一一・三度、最暖月七月が二二・六度、又一ケ年の雨量は三百四十粍に過ぎないのである。殊に嚴冬季には零下四十度内外に下ることがあるのに對し、盛夏では日中三十八度内外を示すと云ふ狀態で、一ケ年の間の寒暑の差が甚しく、又これにつれて一日の内の氣温の變化が著しいのである。内蒙



支那の雨量

されることがある。この黄塵はゴビ沙漠から來ると云はれるが、實際はゴビ沙漠からはこばれた北支の黄土層と、河川の洪水で出來た水氣のない平原と、無毛の原野とがその直接の原因となつてゐるのである。高くまひ上つた黄塵の雲は遠く上海附近からも見ることができる程であることによつても黄塵萬丈が單に形容詞でないことがわかるのである。

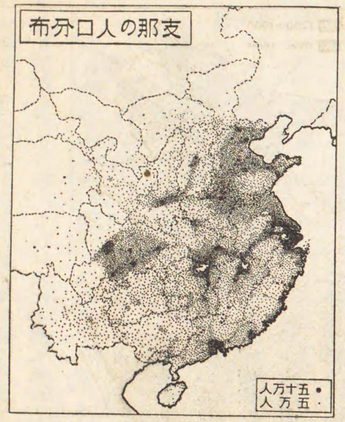
古でも雨は夏季に多く、九月には降雨があり、冬季は積雪があり、吹雪を見ることがある。

黄塵萬丈　これを要するにこゝに云ふ北支那は、支那で云へば平雨帶に屬すると云つてよい。つまり降雨は支那では比較的に少い地方である。これがために空氣も概して乾燥し又土壤も輕鬆となつてゐる。從つて、雨季の夏季はさうではないが、草の枯れてゐる晩秋から初春にかけては、北支那の平野も山西の黄土臺地も土地が恐ろしく乾燥して、一度朔風が起ると猛烈な沙塵がまき起るのである。この黄塵萬丈の沙塵風は北支那の冬の特色であつて、殊に北京に於て名高く、北京風とさへ稱

四　北支那の住民

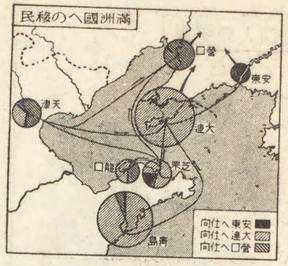
住民と移民

住民　北支那の住民總數は既に述べたやうに約七千七百萬人である。而してその大部分は支那本部の三省、特に山東・河北の兩省に居住してゐる。かくて山東・河北の人口密度は頗る大きいのであつて、支那本部の平均人口密度は一方粁につき一一六人となつてゐるのであるが、この兩省の平均人口密度は一方粁につき二百人以上を示してゐるのである。かくの如き稠密な人口密度はこの地方の資源の開發と産業の發達との程度に比較すれば著しく過剩であるから、北支那の住民の生活程度は頗る低いのである。これは勿論安價な勞働力の提供の理由となつてゐるのであるが、在住支那人にとつては不幸なわけで、今後の北支那の開發はこの低い生活程度の向上と云ふ方面に向けられなければならないのである。



移民　北支那、殊に河北・山東の兩省は人口が過剩であるので、生活の安易を求めて從來滿洲に盛に移住した。海外在住の支那人移民は普通華僑と呼ばれてゐるが、今日滿洲國在住の漢族中には

この華僑に屬せしめて差支へないものが非常に多いのである。一九〇七年以後十四ケ年の間に滿洲の人口は一千八百萬人も增加してゐるが、これは主に支那本部からの移住によるものであつて、彼等は海路又は陸路によつて渡來してゐるのである。そのうち海路によるものでは青島から來航するものが全體の三分の一ばかりを占め、芝罘・龍口・天津の三港がこれに次いでゐる。又彼等の上陸地は大連が七割ばかりを占め、營口・安東がこれに次いでゐるのである。我が國が滿洲の經營に力を注いでからは、滿洲は治安が維持され、經濟的にも著しい發達を示し、出稼の地としても、安住の地としても好適となつたので、おびたゞしい移住者が渡來したのであつて、一九二七年の如きは實に百五萬人に達したと云はれてゐるのである。これ等の移住者のうちには一時的な出稼もあるが、永住するものが多く、一九二三年から一九三〇年の八ケ年間に約二百八十萬人の漢族が滿洲に定住したのである。



種族

二つの種族　北支那七千七百萬人の住民の殆ど全部は漢族と蒙古族とから成り、ほか滿洲族や外國人等が居住してゐる。漢族は支那文化の擔當者であつて、支那本部に住むほか、內蒙古の南部にも居住してゐる。又蒙古族は元朝の建設者の子孫の一部で、主に內蒙古に居住してゐる。

漢族　普通支那人といふのは漢族で、全支人口の九割以上を占め、主として支那本部に居住する。約五千年前に支那の北西方から黃河の沿岸に移住して次第に繁殖し、先住民族たる苗族を始め各種の蠻人を同化驅逐して今日に至つたのである。漢族は屢〻他の民族の侵略を受けた。例へば元や淸は何れも他の民族の建てた國であるけれども、漢族はこれらを同化してその長い歷史を貫いて自己の文化を失はない。その偉大なる同化力は眞に驚くべきものがある。寒暑に堪へて各種の風土に對する順應性が大きく、勤勉で忍耐力が强いから、民族としての發展力は怖るべきものがあると云はれてゐる。然し、今日に至るまで統一的な國家を作り得ず、政治的には極めて力の弱い國民となつてゐるのは、彼等に國家觀念が乏しくして利己的な性質が强いからである。また統一的な國家を作り得ないと云ふことは、一つには國土が尨大で、各地その風土が異り、その結果その上に成立する經濟・言語・習慣等に於て著しい差異があり、交通が不便で各地孤立化する等の原因によるものと思はれる。實に支那各地に行はれてゐる言語は極めて多種多樣で、標準語たる官話にも北方官話・南方官話・西方官話等の差異があり、これに地方的な方言を加へるとその數は極めて多くなり、相互に意志の疏通を缺くことが少くない。たゞ文字・文章だけは方言の如何を問はず通ずるので、これが民族意識と文化との統一に重要な要素となつてゐるのである。

尙漢族の特性としては次の如きものがあげられる。

一　自立獨行性　漢族は利己的である。思ふにこれは支那人の社會的殊に政治的環境が極端に惡いことによるもので、長い歷史を通じて今日に至るまで、政府は民衆の保護者ではなくして搾取者であつたから、自己を除いては自己の生活を守るものを期待することが出來ない漢族としては當然自己第一主義となる。この自立獨行性あるが故に、漢族は國權の保護なくして自由に海外にまで發展するのである。これは國家の保護なくしては殆ど海外に足を踏み出し

得ない我が國人にとつて學ぶべきことと云はなければならないのである。

二　**拜金主義的性質**　漢族はその社會的環境から當然に、自己を守るものは金錢のみであると確信する。かくしてその拜金主義的な勤勉努力の生活が營まれ、すべてを經濟化して所謂轉んでも只は起きないといふ打算的な性質をもつてゐる。國家的には弱い支那人が經濟的には極めて根強い力を持つてゐるのはこの性質によるのである。

三　**無感動性**　實際的で、怜悧な漢族は感情的には極めて無感動的である。從つてつまらぬ感情の浪費がない彼等は、その生活力は一層強固であるばかりでなく、所謂島國根性の反對の、大陸的な悠々として迫らざる風懷を持つてゐる。一方に於てこの漢族の無感動性は、外來文化に對する感受性の缺乏として現はれて、十六世紀以來絶えず西歐の接觸を經驗したにも拘らず、日本が明治維新後の半世紀の間に受けた影響の何分の一をも受け得なかつた。かくて文化的にはヨーロッパ人が漢族から受け取つた量は漢族がヨーロッパ人の感化を受けた量よりも遙かに多いとさへ云はれてゐるのである。而して漢族の悠々として迫らざる大陸的な無感動性の中にこそ、支那の國土の尨大性やその單調にして廣漠たる大平野の本質等が表現されてゐるのが見られるのである。

五　北支那と南支那との比較

クレッシーは北支那と南支那との比較として次の表をかゝげてゐる、但しクレッシーの云ふ北支那は本書で云ふ北支那のほか滿洲をも含んで居り、又南支那とは彼の云ふ北支那の南方の地方一帶を指してゐるのである。

南北支那の比較

北支那	南支那
1雨少量、不足、四〇〇乃至六〇〇粍	雨多量　八〇〇乃至一、六〇〇粍
2洪水、旱魃、「支那の禍患」	運河、灌水、常時有水
3酷寒、酷暑、少量の雪	寒冬、暑く濕つた夏、氷雪は稀有
4生育期四ケ月乃至六ケ月、一度又は二度の收穫	生育期九ケ月乃至十二ケ月、二度又は三度の收穫
5蒙古に强く影響せられて半乾燥の氣候	亞熱帶氣候、夏季モンスーン降雨暴風
6不確定農業、雨異狀あらば危し	强度の耕作、收穫不能稀有、豐作
7乾燥した臺地	灌漑された臺地
8水通しの惡い、石灰質土壤	水通しよき石灰分なき土壤
9飢饉毎年何處かにあり	人間過多ならざれば比較的富裕
10高粱、稷、麥、豆	米が收穫の大部分
11草無く樹なし	竹林と繁茂せる草木
12茶褐色、冬季黃塵萬丈	四季を通じて綠の風光
13道路、二輪荷車、駄牛馬、騾馬、驢馬	板石車道、轎、苦力使丁、水牛
14土造家屋、藁葺、煉瓦床	網代又は煉瓦壁、瓦葺の家屋
15街衢廣き都市	街の狹き、人群れる都市
16海岸線直にして良港なく、漁業重要ならず	海岸線屈折して良港に富み、漁業盛
17陸路國際交通	海路國際交通
18滿洲への移民	南洋への移民
19蒙古の血を混じた本質的に統一ある人種	原始的非支那型の雜多の人種
20全部官話	相異甚だしき諸方言
21古典的、保守的、學者	急進的、輕燥、商人及び冒險者

五　北支那と南支那との比較

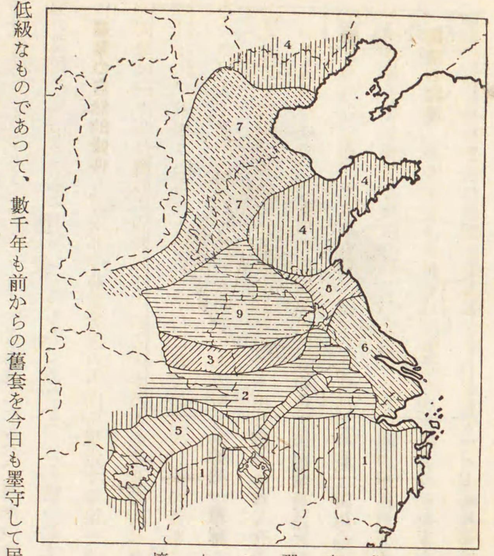
第二章　北支那の産業と交通

一　農　業

農業の發展

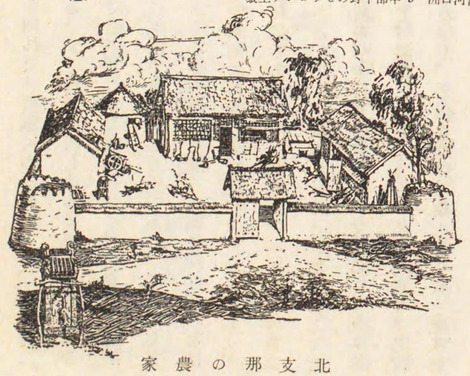
農業の自然的條件　北支那の農業發達の方向を規定する第一の要件は乾燥氣候にある。先に述べたやうに、北支那の雨量は一ケ年に概ね六百粍以下である。かうした氣候條件は米作には不利益であるので、北支那では所謂乾燥農業が行はれ、米作は限られた所でしか行はれて居らず、米の產額は少いのである。更に內蒙古に入ると乾燥が甚しくなるので、人工灌漑によつて農耕を行つてゐる所もあるが、草地を利用する牧畜が主產業とさへなつてゐるのである。この地方では雨が少い上に蒸發が盛なので土壤は鹽分を多く含んでゐるので、耕作に適しなくなつてゐるのである。かう云ふわけで、北支那の乾燥氣候はこの地方の農業發達に好都合ではないが、これを助ける廣大な平原と肥沃な土壤とがある。約三十八萬方粁に達する北支那大平原は黃河のもたらす肥沃な土壤で蔽はれて居り、又これに加ふるに例の黃土層も廣汎な分布を示してゐるのであつて、これが北支那の農業の發達の基底をなしてゐるのである。

農業の發展　高度文明は農耕を以て開始されたと云つて差支へないのであるから、支那の農業の歷史は非常に古いわけである。四萬年の百姓とか云ふ言葉が支那人にあてられてゐる。果してその位古い時代から農業が起つたかどうかはハッキリ分らないが、北支那は支那文明の發祥地であるから、今から數千年も昔から農業が盛に行はれてゐたことは間違はない。併しその農法は極めて原始的



北支那の土壤

1 赤土地方　2 粘土質地方　3 淮河谷土壤　4 茶褐色土地方
5 中部揚子江流域下部地方　6 洪水平野　7 北支平野の沖積土
8 黃河の舊河床洲口河　9 中部平野のゼジョンゲン土壤

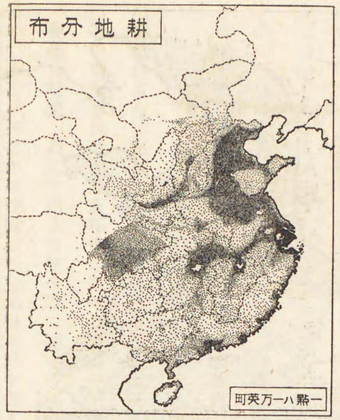


北支那の農家

低級なものであつて、數千年も前からの舊套を今日も墨守して居り灌漑・排水・施肥・農具等の改善については殆ど全く意を用ゐてゐないのである。かくて收穫は全く自然に依倚してゐるのであつて、天候その他の自然の惠みがあれば農作となつて過剩の生產を見ることがあるが、水害・旱害等があつて凶作に會へば生活にも苦しむのである。しかも北支那の住民はこの

農凶を全く天運と觀念してゐるのであつて、それ故に、北支の農民生活は極めて不安定なのである。

これに加はるに、政治的不安定があつて、何時生命・財產を奪はれるかも知れない狀態にあるのである。更に共匪や匪賊が跳梁して掠奪は普通の事となつてゐる位である。又過重の負擔があつて、農民を苦しめるのである。一方これに對應するために農村救濟策は殆ど全く省みられてゐないのである。又交通が著しく不便であつて、物資の流通が圓滑を缺いてゐるので、豐作の時には忽ちに生活が脅かされるのである。かくて北支那の農民の生活は極度に困窮してゐるのであつて、こん後の北支農村對策はこれ等の障害を除く方向に向けられなければならないのである。



耕地と農產物

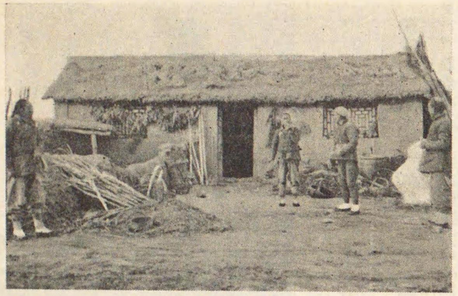
耕地・農家　北支那は支那のうちでは最も農業の發達してゐる地方を包含してゐる。これを耕地について見るに、北支那五省の既耕地面積は三億一千萬畝であつて、支那全國の二九・七五％に當つてゐる。山東・河北兩省の耕地面積は全國にその比を見ないのである。總面積に對する耕地の割合の如きも山東・河北兩省の如きは四六％以上になつてゐるのであつて、比較的耕地の少い山西省でさへも二一・七％に當つてゐるのである。これを本邦內地の一六％に比較する時、北支那の土地が如何によく開拓されてゐるかゞわかるのである。これは勿論これ等の北支那平野といふ廣大なる平原の存在に負つてゐるのであるが、古い歷史を持つた農業地であることもその一因をなしてゐるのである。

この耕地に對して北支五省の農家戶數は一千二百五十萬戶になり、五省全戶數の八割八分に當る。此事でも北支那が純然たる農業地方であることがわかるのである。殊に山東省の農家戶數は全北各省中の首位に位して居りこれによつても河北省もまた全支では有數の地位にあり、又總戶數に對する農家戶數の割合ではこの兩省が全支各省中第一、第二に位してゐるのである。總戶數に對する農家戶數の割合の全支平均は七四・三％であるのに對し、山東省が八八・九％、河北省は八五・五％、山西省が八二・八％であつて、北支那の重要な地方が全く農業に依存してゐることを物語つてゐるのである。

北支那省別耕地（一九三三年實業部調查單位千畝）

	水田	畑地	合計	全面に對する耕地面積の割合	農家一戶當り耕地
河北	八、四六七	九四、九六五	一〇三、四三二	四六・〇％	二四
山東	二、三九五	一〇八、二六七	一一〇、六六二	四六・五	一九
山西	三、六二九	五六、九三一	六〇、五六〇	二一・七	三二
察哈爾	一、八五五	一四、九八四	一六、八三九	四・一	五四
綏遠	一、四〇〇	一七、二三九	一八、六六九	三・七	七五

次に農家一戶當りの耕地を見るに、北支五省平均で二五畝弱となり、全國



北支那の農家

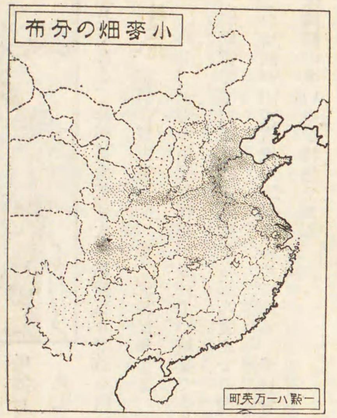
農産の數々

北支那の農民

農産物　北支那の氣候その他の關係で畑作が中心で水田は至つて少い。米産に乏しいこの地方の住民の食料となるのは高粱・粟・小麥等である。

小麥は最も生産額が多く、その中心産地は山東・河北の兩省である。農村から都會の製粉工場に運ばれ、こゝで小麥粉とされた上、農村に送り返されて、食用に供されるのである。今日の生産では少

平均の一九畝に對してズット多くなつてゐる。尤も農家の最も多い山東、河北の平均耕地は全國よりも大して多くはないのである。が山西や内蒙古の二省に至ると甚だ大きいのである。氣候その他の自然條件の惡いこれ等の方面に於ては農家一戸當りの耕地が大であるのは當然であつて、かくしてこそ生活が可能と云ふことができるのである。



からず不足を告げ、年々輸入を見てゐるのである。

高粱は山東・河北の兩省に專ら自家用として耕作されて居る。粟も各省に栽培され、全支の産額の約二分の一は北支から出てゐる。又山西省は全支第一の馬鈴薯産地として名高く、一ヶ年に十億斤も出してゐる。尚北支の食料農産物としては大麥・燕麥・甘藷等がある。

大豆は山東省を第一とし、河北省がこれに次ぎ、全支産額の四分の一を北支から産出されてゐるのである。この大豆は滿洲國産に押へられてゐるが、落花生の産は世界的に著名で、全支第一の産地である山東省だけで一ヶ年に一千三—四百萬擔を出し、これに次ぐ河北省も六—七百萬擔を出してゐるのである。

北支那の棉花　北支の有機資源の中我が國にとつて最も重要なものは棉花であらう。支那の棉花は東徑一一〇度以

農産物收穫高（單位百萬擔）

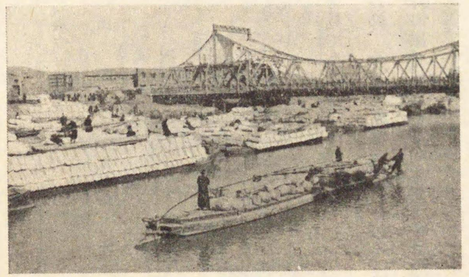
品別	索哈爾	綏遠	山西	河北	山東
小麥	二・八	三・〇	二六・〇	四〇・〇	六八・〇
大麥	四・〇	一・〇	四・〇	五・〇	九・〇
高粱	三・八	一・六	九・〇	二〇・〇	二五・〇
粟	四・〇	一・六	一五・〇	二六・〇	—
大豆	〇・八	〇・二	二・〇	八・〇	三一・〇
燕麥	一・八	六・〇	二・六	〇・四	〇・三

東、北緯二〇度以北に分布してゐるが、其の主產地は揚子江流域、黃河流域にある。而して北支那だけで全支產額の四六%を產し、最近では五百萬擔內外の棉花を毎年出してゐる。北支那では棉作は一年一作である。しかも利益が一番多いので最近では棉作への轉向が盛んに行はれ、其產額は次第に增加してゐるが、前者は粗毛種と米國種とがあるが、米國種が其數を增加してゐる。

北支の中で一番產額の多いのは河北省である。其棉花地帶は大體北緯三六度から四〇度に亙り、年產は二百萬擔に近く、支那各省中第一で、多く天津に集まる。只在來種が七〇%、米國種が三〇%で、土着の粗惡な棉花が多いのが缺點である。

山東省では大體北緯三五度から三八度までの間に栽培せられ、臨縣を中心とした地區が山東省棉の五割を占めてゐる。米國種が六〇%、在來種が四〇%で米國種の多いのが特色である。

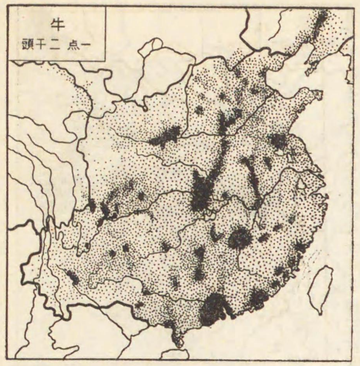
山西省の產額は河北省の四分の一乃至五分の一に過ぎないが、其產地は黃河と汾河との流域の河東區にある。此の地方は氣溫が高く、灌漑の便もあつて、棉花の好適地と稱せられ、將來が期待されてゐる。



天津の棉花積卸

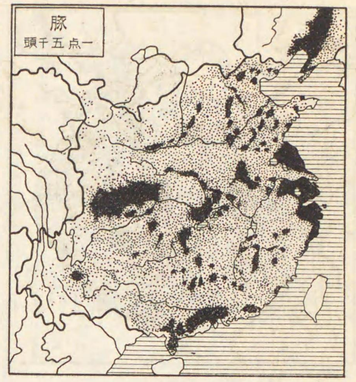
棉花は天津の西南から黃河流域や山東半島等に栽培されてゐる。これ等の地方は夏季は高溫で、しかも一ケ年の雨量がこの時季に集中してゐるので、棉花の栽培が可能である。一ケ年に四億斤乃至五億斤の生產があると云ふ。我が國紡績業の棉花需要の全部を充すことは現在では到底出來ないが、將來擴張の餘地があると云ふから、棉花供給地として重要な意義を持つやうになるであらう。たゞ今日の所北支の棉花は多く在來棉で、纖維が太く、短く、粗雜なために、太絲紡績か、又は蒲團綿にしか利用されてゐない。

二　牧畜業



畜產資源　北支那は古來支那のうちでは最も牧畜が發達して居つた地方であり、又この地方の乾燥氣候は蔡哈爾・綏遠の兩省を中心として遊牧經濟を行はせ、多數の羊・山羊は獸毛・獸皮の生產の手段となつてゐる。この地方產の畜產品も品質の惡いものが多く、例へば羊毛の如きも粗剛なために主にカーペットの原料とされてゐる。

又例の豚は漢人のどの家にも飼はれてゐると云つてもよいのであつて、



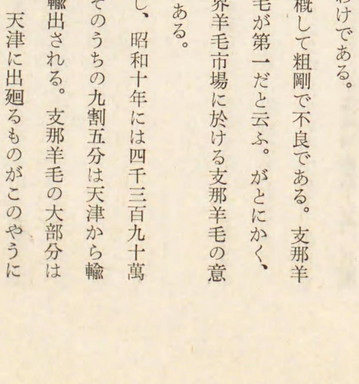
豚毛はブラッシの原料として日本にも輸入されてゐる。山東省に多い牛は、山東牛とか青島牛とか云はれて、これまた日本にも送られてゐるのである。又馬・騾・驢馬・駱駝等も飼はれてゐる。

支那の羊毛　牧羊は支那では主として羊肉を食ひ、毛皮を着るために行はれてゐる。だから、羊毛は牧羊の副產物にすぎない。現在支那には約四千萬頭の羊がゐると云ふ。このうち內外蒙古の一千三百萬、新疆の四百六十萬、青海の七十萬を差引くと、支那本部だけで、約三千萬頭になるわけである。

オーストラリヤの羊は主に毛用種として有名なメリノー種だが、支那の羊は支那羊として總稱されてゐる在來種である。支那羊は第一にその採毛量が少い。オーストラリヤの羊一頭の平均採毛量が八・六封度位だと云ふのに、支那羊一頭のそれはやつと二封度か三封度位だと云ふ。

畜產統計（單位千頭又は千羽）

種別	察哈爾	綏遠	山西	河北	山東
牛	一〇三	二七五	四八九	一、一二八	二、三〇三
馬	九五	九三	一三八	三二二	三九八
騾	六一	三七	三一五	七四一	六〇九
驢	一七四	六一	四二三	八八七	一、三〇七
羊	一、七六三	三、五〇九	一、〇〇〇	一、七〇〇	一、〇〇〇
豚	三九九	一、七〇四	三、五三六	一、一〇七〇	一二、七九二
雞	二、五九〇	二、九八一	一一、八八四	三〇、〇四二	四五、七一一
家鴨	——	八二	三七二	四、二一四	一〇、一八五



いが、一九三三年には五萬四千四百噸に達したと云はれてゐる。だから、オーストラリヤの四十五萬噸弱に較べると、ザット八分の一にあたつてゐるわけである。

支那の羊毛は長いことは長いが、概して粗剛で不良である。支那羊毛のうちで品質がよいのは甘肅の羊毛が第一だと云ふ。がとにかく、一般に品質がよくないので、今日世界羊毛市場に於ける支那羊毛の意義は先づカーペットウールとなる點にある。

支那羊毛の輸出は近年著しく增加し、昭和十年には四千三百九十萬封度、價格一千四百萬ドルである。そのうちの九割五分は天津から輸出され、殘りの殆ど全部が上海から輸出される。支那羊毛の大部分は黃河沿岸や、內外蒙古から出るので、天津に出廻るものがこのやうに多いのであるが、鐵道・自動車交通が發達するにつれて、上海に出廻るものが次第に增加してゐる。

支那羊毛の第一の仕向先は米國で、昭和十年には四千二百四十萬萬封度の羊毛が米國へ仕向けられた。そのほかではドイツに百七十萬封度、イギリスに二十萬封度、日本に二十一萬封度の羊毛が仕向けられた。米國に向けられる支那羊毛は主にカーペットの原料とされる。併し今日では支那羊毛も羅紗や毛布にも次第に使用されて來て居り、しかも

その産額も多いので、オーストラリヤ羊毛の輸入制限が問題となつてゐる今日、我が羊毛工業の原料としてその價値が再認識され、その買付が本格的に開始されようとしてゐるのである。

柞蠶　支那は柞蠶の産で名高いが、その主産地は北支那であり、殊に山東省が最も有名である。飼料となるかの柞樹が主に海岸や丘陵地方に成育してゐるので、結局かうした地方に多く産し、芝罘や青島がその集散地となつてゐる。かの芝罘は絹紬製織の中心となつてゐるのもこのやうに原料生産の中心に存してゐるからである。尤も山東省産の原料では足りないので、芝罘絹紬業はこれまで原料の約三分の二を安東やその他南滿洲から仰いでゐたのである。

三　森林富源

貧弱な森林富源　北支那の森林資源は全く貧弱である。北支那の視野を遮ぎるものは大平原中の所々に僅かに楊柳がある位であり、又峨々たる山地にも樹木に蔽はれてゐる所は少いのである。山高きが故に尊からず、木あるをもつて尊しとなすとは、森林の少い北支那に於て特にその必然性が理解されるのである。

北支那の山野も決して昔から樹木がすくなかつたわけではないのであつて、秦漢の時代以前には森林の制度が整備してゐたと云はれる。併し元來支那人には森林經營の考へがなかつた上に、永年の惡政の影響で、政府の施設が殆ど全く行はれず、自然のまゝに放任されて居り、その間に濫伐・山火事等が續いたので、森林は全く荒廢してしまつたのである。かくて今日では木材の産が少く、北支那所要の木材は全く外材に仰いでゐるのである。

最近では、森林管理の必要が認識されて植林その他の方法が講じられてゐるが、北支那に大森林が再生するのは遠い將來のことと信じられるのである。

森林統計（南京實業部民國二四年單位千畝）

省別	森林地	森林地區
察哈爾	二、三二九	一一〇、二五五
綏遠	三、六四八	一三三、一七七
山西	一四、五六五	八二、五四〇
河北	一、八九四	六一、三四〇
山東	一、六一四	六七、五五六

四　水　産　業

漁　業

漁獲物　北支那の面してゐる渤海・黃海は概ね陸棚上の淺海であつて、魚族は多く、我が漁業家の活動する舞臺となつてゐるのである。併し、北支那自體ではこの天然の資源を餘り利用してゐない、と云ふことができるのである。今日鯛・鰆・鮮・グチ・大刀魚・鰕・蟹等が漁獲されてゐるのであるが、その漁獲高は割合に少く、漁獲者の如きも概ね半農半漁の域を脫して居らないのである。

何故北支那の漁業が不振であるか、と云ふに、これは永年にわたつて漁業政策が全く省みられなかつたこと、海賊の横行があつたこと、漁業者を無賴の徒

北京附近の鵜飼

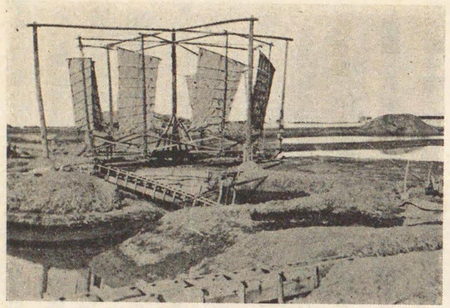
として目したこと等の諸種の事情が累積した結果である、と見ることができるのである。今日では漁業規則が制定されたり、漁區を劃定したり、その他漁業振興策が講じられてはゐるのであるが、その實績は中々にあがらず、漁業は依然して原始的な幼稚な狀態にとどまつてゐるのである。日本人漁業家が盛に北支那沿海に出漁してゐるのにも拘らず、北支那では遠洋漁業に從事するものがないことによつても如何に漁業が發展してゐないかゞ察知せられるのである。又漁船のうちで發動機船を具備するものが甚だ少いことによつても北支漁業の不振が首肯できるのである。

たゞこゝに注目すべきは青島を中心とする邦人漁業である。青島を中心とする邦人漁業は大正三年に始まつたもので、大正六年に海州沖合に好漁場を發見してから著しく發達したもので、今日では山東角沖合まで出漁し、海州から山東角までの間は我が漁業家の獨占的な活動舞臺となつて居り、青島はこれ等本邦漁業の中心地となつてゐるのである。

製　鹽　業

長蘆鹽　長蘆鹽とは河北省の渤海沿岸に產する海鹽である。往時この地方の水邊は一面に蘆荻が繁茂して居つたので、かうした名稱が生じたのだと云ふ。隨分古い歷史をもつてゐるもので、かつては北は山海關から南は山東省境までの一千餘支里の間に二十四の鹽場をもつて居つたのであるが、明時代になるとこれが二十場に減じたと云ふことによつても、歷史の古いことは想像されよう。ところが、清代になると、この鹽場が更に減少して十六場となり、十場となり、遂に八場となつて民國年間にはいつたのである。この八場の鹽場は南北に分れ、北は越水・濟民・石碑・歸化の四場、南に豐財・蘆臺・海豐・嚴鎭の四場があつたが、その後これ等の鹽場にも廢止・合併があつて、現在では豐財・

蘆臺の二場となつてゐる。而して豐財鹽場には塘沽・新河・鄧汴の三鹽田、蘆臺鹽場（漢沽・南溝・中溝・北溝に分れる）には一鹽田が屬し、共に白河の河口附近にある。つまり、これだけの鹽田が長蘆鹽の產出に關與してゐるわけである。長蘆鹽の鹽田面積はどの位あるかと云ふに、豐財が四千五百町、蘆臺が四千六百町、合計九千百町ばかりで、これが製鹽業者は三百十一人と計算されてゐる。製鹽業者一人の經營する鹽田は小さいのは十町位だが、大きいのは百町に達するものもある。この地方の製鹽法は、御承知の通り、我が內地のそれとは違つて天日製鹽である。ところでこの地方の鹽田の特色は、殆ど全部の鹽田が陸地に開設されてゐること、つまり海の一部分を堤防でかこつてそこを鹽田に利用してはゐないのであつて、これは波浪の被害をさけるためである。



天津附近の風車（鹽田用）

製鹽をするには先づ納潮溝と云はれる海水溝で海水を海水溜に導く。この海水溜は汪子と呼ばれて、蘆臺鹽場には設けられてゐない。次に海水を蒸發池に入れるのだが、これは地形の勾配を利用して十階段をなして居り、順次低下し、それに應じて順次に鹽分を濃化する。次にこの濃厚な鹽水を結晶池に導いて結晶させる。結晶池は十五間四方位で、周圍に小溝をもつてゐる。尙氣候の關係で、長蘆鹽は秋季には作られない。

最近に於ける長蘆鹽產額は一ケ年六億斤內外で、民國二十三年には六億五千五百萬斤を示した。しかもこの年には

生産制限が行はれて居つたのであるから、この制限を撤廢したり、製鹽技術を改善したりすれば、現在の二倍の生産を見ることは明かであるし、更に新らしい鹽田を開拓することも可能であると云ふから、今後我が國の工業製鹽供給源として重大な意義をもつてくると思はれる。しかもこれまで財政收入の目的で百斤二十錢の輸出稅が課せられて居つて、輸出を妨げてゐたが、最近は輸出稅も下げられ又その生産・輸出の增大に力を注ぐことになつたので、對日輸出は激增するものと思はれる。

山東鹽　山東省は三方を海にかこまれて居るので、同じ山東鹽と云つても、その産地は渤海岸と黃海岸の二方面に分けられてゐる。渤海岸では永利・王官・萊州の三ケ所に、黃海岸では石島・金口・濰縣・青島の四ケ所に製鹽業が行はれてゐる。一ケ年の産額は五百萬石內外であるがこれ等七鹽場のうちでは王官と青島とが最も多く、この二場は全支の鹽場中でも重要な地位を占めてゐる。

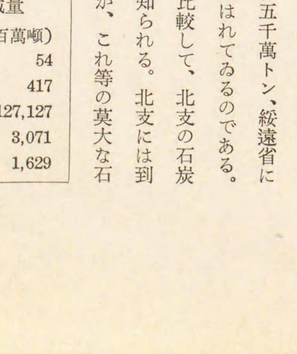
この青島産の鹽は特に青島鹽と云はれ、我が內地及び朝鮮に盛に輸出されてゐる。その製鹽場は陰島附近にあつてドイツ人の青島租借後三ケ年目に始まつたものと云はれてゐる。

湖鹽　日本では鹽は海ばかりから採取されてゐると考へられるかも知れないが、北支那では海からはなれた山西省や、察哈爾・綏遠省にも鹽の產がある。山西省の鹽は河東鹽と云はれ、同省の西南隅の大鹽池に產する。察哈爾省では烏珠穆沁、蘇尼特の二大鹽湖が特に有力で、年產は約二萬石、陰曆の五月から九月まで採取される。綏遠省では紅鹽池・白鹽池と云ふやうな鹽湖から採取されてゐるのである。

五　鑛　業

無盡藏の石炭資源

石炭の分布　北支那第一の資源は石炭である。今日分つてゐるところによれば、山東省に十六億トン、河北省に三十億トン、山西省に一千二百七十億トン、察哈爾省に五千萬トン、綏遠省に四億トン、合計一千三百三十億トン許りに達すると云はれてゐるのである。



日本の推定埋藏量が八十億トンと云はれてゐるのに比較して、北支の石炭埋藏量が如何に多いものであるかはこれによつても知られる。北支には到る所に石炭富源があると云つて差支へないのであるが、これ等の莫大な石炭資源も今の所では殆ど開拓されて居らないのであつて、今日出炭を見てゐるのは至つて少く、河北省の開灤炭坑が年產五百萬トン乃至七百萬トン、同省の井陘炭坑が六十萬トンを始めとして、山東省が二百萬トン乃至三百五十萬トン、山西省が二百二十萬トン乃至三百七十萬トンを產してゐるに過ぎないのである。このやうなわけで、北支の殆ど無盡藏に近い石炭資源も今日のところ殆ど全く徒らに冬眠狀態にあると云つて差支へないのであつ

北支石炭埋藏量

（單位百萬噸）

察哈爾省	54
綏遠省	417
山西省	127,127
河北東省	3,071
山	1,629

て、それだけに今後の開發に絶大な期待を持つことが出來るのである。

北支の炭坑

各炭坑出炭高（單位千トン）

炭坑名（所在）	民國一九年	〃 二〇年	〃 二一年
魯大公司（淄川大荒地）	三二五	五一九	五四二
〃（灘縣坊子）	四四	五五	

魯大炭坑―山東省灘縣淄井縣
博東炭坑―〃博山黃家大窪
華豐炭坑―〃寧陽縣
天源炭坑―〃章邱縣
永源炭坑―〃
開灤炭坑―河北省唐山外四
正豐炭坑―〃井陘縣
中華炭坑―河北省磁縣
柳江炭坑―〃臨榆縣
臨城炭坑―〃臨城
楊家垞炭坑―〃宛平線
保晉炭坑―山西省大同縣
建昌炭坑―〃平定縣

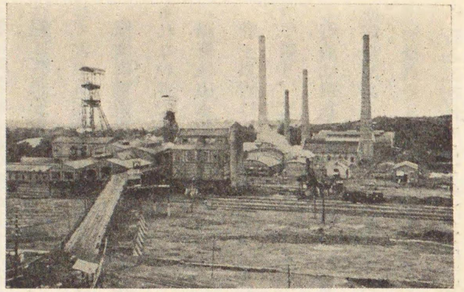
中興炭坑―山東省嶧縣
禹村炭坑―〃泰安縣
華塢嶺炭坑―〃魯大公司管
通裕炭坑―〃章邱縣
旭華炭坑―〃
井陘炭坑―河北省井陘縣
怡立炭坑―〃磁縣
磁縣炭坑―河北省磁縣
長城炭坑―〃臨榆縣
門頭炭坑―〃平門支路
保晉炭坑―山西省平定縣
同　分坑―〃晉城、壽陽兩縣
晉化炭坑―〃大同縣

華塢嶺鑛（淄川南定）	二七			
中興煤鑛（嶧縣棗莊）	三五五	七六二	九九三	二七
華豐煤鑛（寧陽磁窰）	四五	四六	六八	
禹村煤鑛（泰安沈禹）	一二	一五	一一	
博東煤鑛（博山八徒）	七一	八二	六三	
其他	五四八	六一二		
山東省計	一、四五八	一、五七四	一、六八五	二七
開灤鑛務局	五、三二七	五、三五六	五、二二〇	
井陘鑛務局	四七二	六〇八	六四三	
正豐煤鑛公司	二四〇	三五〇	二二〇	
門頭溝中英公司	一六〇	一〇六	二四〇	
柳江煤鑛公司	二〇六	二五五	一五〇	
長城煤鑛公司	一五〇	一六〇	一五〇	
怡立煤鑛公司	一三一	一四七	一三六	
中和煤鑛公司	五	一		
臨城鑛務局	—	一五	五九	
楊家垞煤鑛	三八〇	三六〇		
垞里友溝嶺	六〇	五〇		
齋堂板橋外	一八〇	二〇〇		
門頭溝外	四	五		
磁縣外	四五	四五		
遵化興隆山	四五			
河北省計	七、三六三	七、六六〇	七、三五〇	

炭坑名（所在）	民國一九年	〃二〇年	〃二一年
保晉煤坑（平定、晉城）	二三四	二九五	二九一
同　上（大同、春陽）	一四二	一九一	二一五
晉　北（大　同）	一〇八	一〇八	二四三
同寶煤鑛（大　同）	八〇	六四	三三
建昌煤鑛（平　定）	七九	九二	四五
其　他	一、五五九	一、五一四	一、七六九
山西省計	二、二〇四	二、二六六	二、六〇〇

開灤炭坑　この炭田は開灤鑛務局の經營に屬する。開灤鑛務局とは開平鑛務公司と灤州鑛務公司とが合併して成立したもので、所有炭坑の埋藏量は一億六千萬瓲又は六億九千萬瓲と稱せられる。開平鑛務公司は東山・北西・林北の三炭坑をもつて居り、一九〇四年義和團事件の際支那から我が國に賣却されようとしたが、我が國が拒絶したので、英支合辦となり、しかも英國會社として香港に登記された。同社は後民國元年に馬家溝・趙各莊・唐家莊の三炭坑を有する灤州鑛務公司と合併して開灤鑛務公司となつたもので、北支に於けるイギリスの利權としては最も重要なものであつた。然るに滿洲事件後日本の勢力が北支に進出したので、これらの炭坑は日本の勢力圈内につゝまれてしまつた。その上日本が北支の炭坑開發を企ててゐるので、炭坑の將來は非常な打擊を被るべく豫想され、剩さへ炭坑自身の將來性が餘りないので、數年前イギリスはこれを滿鐵に讓渡すべく交涉したことがあると傳へられてゐる。

淄川炭坑　山東炭田中の最大なもので、膠濟線にて張店から一七粁六にある淄川驛の東南六粁五、同炭礦支線の終點にある。ワシントン會議の山東懸案細目協定の結果、日支兩國資本團により成立した支那政府の特許會社たる魯大公司が大正十二年八月に日本軍部から繼承して今日に及んでゐる。埋藏量は八億トンと稱せられ、出炭量は年七―八十萬トンに及んでゐる。



博山炭坑　膠濟線にて張店から三八粁九、青島より三二二粁一の地に位し三億トンと云はれ、現在の年產額は四―五十萬トンであるが、時には淄川炭坑を凌駕することもある。

淄川炭坑は南北三十支里、東西十五支里に亙る廣大なもので、埋藏量は

南定炭坑　膠濟線の博山支線にて張店より三哩程にあり、我が大倉商事會社の經營で、埋藏量は五千萬トンと稱せられ、現在の出炭量は年約八萬トン、炭質は良好で、骸炭製造用、一般汽罐用として賞揚せられてゐる。

豐富な鐵鑛資源

石炭のほかに、鑛物資源としては鐵鑛がある。今日の所ではこの推定埋藏量は河北省三千九百萬トン、綏遠省七十萬トン、山西省三千萬トン、山東省一千四百萬トン、合計一億七千四百萬トン許りで、石炭程ではないが、それでも支那全體の埋藏量の半分に當つてゐる。これもまた今日では殆ど全く採取されずにゐる。現在有名な鑛區としては察

北支鐵鑛埋藏量

（單位千噸）

河北省	三九、〇〇〇
山東省	一四、〇〇〇
山西省	三〇、〇〇〇
察哈爾省	九一、〇〇〇
綏遠省	七〇〇

哈爾省の龍煙、山東省の金嶺鎭等である。

その他　石炭・鐵以外の鑛物資源としては金・銀・銅・鉛・滿俺・礬土頁岩・油母頁岩・石綿・天然曹達等がある。

金は河北・山東の兩省を主とする。河北省では密雲の桃源地方その他で金鑛が採取され、山東省では招遠縣その他で山金・砂金が採取され、最近の產金額は北支全體で二噸半位である。

銀は河北省の遵化縣の東北部その他に相當なものが埋藏されてゐると云ふが、これ等は全く未開拓である。

銅は河北省の宛平縣・完縣等に、山東省の歷城縣、山西省の垣曲縣その他に埋藏されてゐるが、今後開發の對象として大なる期待を持つことはできないのである。

鉛は山東省の膠縣や淄川・博山兩縣、山西省の文水縣、大同縣等に埋藏されてゐるが、これもまた大なる期待が持たれないのである。

滿俺は山東省の卽墨縣の勞山にあるが、これも未採掘である。

礬土頁岩は山東省の淄川・博山兩縣一帶に二億三千萬トン、張博鐵路沿線に二億七千萬トンと云ふ莫大な埋藏を持つて居り、又河北省にも大鑛床があり、今後の開發が期待されてゐるのである。

石油は現在までの所では未だ發見されない。たゞ山西省の西に接した陝西省には十三萬七千五百萬バーレルと云ふ埋藏量があると推定されてゐるが、これも今の所では殆ど全く開發されてゐないのである。

油母頁岩は河北・山東・山西・察哈爾の四省に埋藏されてゐる。殊に大同附近の渾源の埋藏量は撫順のそれに三倍すると云はれてゐるのである。

石綿は河北省の漆源・密雲の兩縣や山西省・綏遠省等にも埋藏され、河北省の年產は百八十トンばかりで全支生產額の大部分を占めてゐる。

天然曹達は山西省に一萬三千トン、察哈爾省の多倫諾爾附近に九千トンを始め、綏遠省にも採取されてゐるのである。

六　工業の發達

工業概觀

工業の將來性　北支那の工業は今日の所では全く不振と云ふほかないのであるが、七千七百萬の大衆を包擁するこの一帶は巨大な市場を有するわけで、今後相當の發展が期待されてゐる。殊に資本に乏しいこの地方のことて必要な資本は主に日本に仰ぐほかなく、明朗北支那政府の成立と共に日支合辦の開發事業が次々に目論まれつゝある。而もこの地方の開發には何としても、交通機關の發達を第一とせねばならないのである。大正年代に於て、福昌公司が建設權を得てゐた滄石鐵道が新規に具體化するほか、北京・秦皇島間の鐵道の敷設が有望視されてゐるし、更に、現在の青島・濟南間の膠濟鐵道は河北省の順德へ延長し、京漢鐵道へ聯絡する等の計畫も傳へられてゐるのである。更に天津港・青島港の整備を完全にし、所謂工業港としての面目を發揮せしめようと企てられてゐるのであるから、今後この一帶の農・鑛・工業の開發に、交通機關と國土の開發とは形影相離るべからざる關係にあるのであるから、

當つてはこれ等鐵道の開設や北支那各港灣の整備等は焦眉の急を告げてゐる建設事業であり、而もこれ等が目下着々として具體化されてゐるからして北支の工業はその將來が期待されるのである。

北支那の工業地帶　北支の工業地帶といへば天津・青島・芝罘・北京・濟南附近等であるが、北支那の工業には家内工業が比較的に多く、近代的な工場が存するのは天津と青島とである。しかしこの二工業地帶のうちでは天津の方が總生產に於ては多いのであるが、工場の規模から見れば青島の方が大きいのである。又芝罘附近には製絲工場がある。將來北支の工業化の進展と共に一大工業地帶の建設が必要となるであらうが、その候補地として最も有望視されてゐるのは青島と天津とである。

工業發達の條件　今日の世界が何れも資本主義經濟組織を基礎として大規模生產に進んでゐるのに對して、支那は依然として舊態をとゞめ、大工業の行はれてゐるのは僅かに數箇の都市に限られ、それも多くは外國の資本によつて營まれてゐる狀態である。支那に於ける工業の發展に不利なる條件として、次のやうなものが擧げられる。

一、農業國の常として國民が保守的であること。
二、政治的統一が缺けて政情が不安なこと。
三、國内に資本が缺乏してゐること。

併しながらこの國將來の工業的發展に對して有利な條件としては、

一、豐かな工業原料及び動力資源のあること。
二、安價な勞働力が極めて豐かに存すること。
三、購買力の增大を條件として製品の市場たるべき人口が大なること。

等があげられる。これによつても、支那の工業の將來は確かに發展の素地をもつて居り、民國の工業的な訓練と政治の改善と資本の注入とを條件として、將來工業は發展すると結論することが出來るのである。

北支那の主要工業

紡織工業　綿絲紡績業は割合に發達し、日本人經營のものとしては、青島の内外綿紗廠や、富士綿紗廠、公大綿紗廠及び隆興・寶來・大康等の各綿絲紡績工場がある。支那側の工場も著名なものだけでも約二十工場を數へられてゐる。支那の各紡績工場の紡綞數は最近七千三百餘萬綞と推定されるが、成績は良くなく、北支那の各工場に於ても、原料高、製品安、それに日本品其他との競爭に堪へることができず、經營の困難なのが少くない。而して支那紡績勞働者の多くは日本のそれと異なつて男子工である。

紡績工場統計　（華商紗商聯合會、昭和九年）

省別	工場數	綞數(千)	綿絲(千俵)	綿布(千疋)
山東(日)	六	三七四	二三三	二、八九五
〃(支)	四	一〇九	四七	
河北	九	三〇六	一七九	一、〇〇五
山西	六	七一	四九	二七七

カーペット工業は割合に進み、天津は著名なカーペットの産地であるが、近時不況に陷り、十數工場に過ぎない。又北京に約三十工場が操業してゐる。

飲食工業　天津に十工場、北京に十工場、青島に二十二工場があるが、天津・濟南が中心となつてゐる。其他青島・北支那古來の磨房の機械化したものが多く、北支那地方では

製粉業は

京・芝罘等にも工場がある。天津の十工場の一ケ年の生産高は七百五十萬袋、濟南の十一工場のそれは三百七十萬袋であるが、未だ北支那地方の需要を充すに足らず、天津港に於ては最近七百萬擔の麥粉を移入又は輸入してゐる。

機械工業　機械工業は天津に八工場、北京に六十四工場、青島に三十五工場あり、更に其他の地方にも工場が散在してゐる。

窯業　これも各地に行はれ天津に六工場、北京に四十九工場、青島に十七工場等がある。又秦皇島の硝子工場は支那第一と云はれる。

マッチ工業　主として濟南・天津を中心として發達してゐる。工場は山東省に九、山西省に三、河北省に六を數へられ、生産高は二十八萬箱である。

化學工業　天津に十四工場、北京に十六工場、青島に二十五工場、其他山東河北兩省の地方に二十四工場を有する。

高陽の綿布工業　高陽とは保定の東南に位する一邑である。附近は綿布の產地として有名であり、大規模な工場生產が行はれてゐる一方、小規模な家內工業的生產も廣く行はれてゐる。

河北省各地には綿布製織地があつて、其生產は年二千四百萬反程を示してゐるが、其の中で一番盛んなのが高陽地方で、年產は五百五十萬反に及んでゐる。元來此の地方の製織業は民國革命前までは全く農家の副業に過ぎなかつたのであるが、其後次第に新しい織機がもたらされ、現在では企業として經營されるものが次第に多くなつて來た。滿洲事變前までは織機二萬數千臺に達したが、事變後滿洲市場を失つた打擊で、今日では一萬六千臺に減じてゐるといふ。原料としては一九三二年には一千萬封度の綿絲、四千箱の人絹を使用してゐるが、此等は天津・青島・上海・唐山・

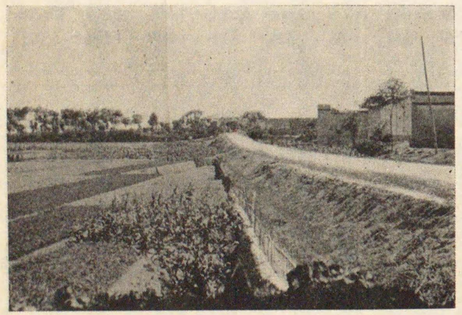
（河北省）・榆次（山西省）等から購入してゐる。

製品の販賣に當つては支那各地に支店や代理店を設けてゐる。かくて一九三二年には河北・山東・河南・山西等の北支五十七都市に九十四萬反、陝西・綏遠・甘肅・察哈爾の西北支九都市に十八萬反、湖北・湖南・江蘇の中支六都市に三萬反、四川・貴州・廣東の西南支四都市に四萬反、合計百二十萬反の販賣高を示し、其販路は支那の全土に及んでゐるのである。

七　北支那の交通

公路の建設

不完全な道路　北支那の交通は元來陸路を主としたもので、南船北馬と云ふ言葉がこれを示してゐる。それにも拘はらず、北支那の道路は極めて不完全なもので、雨季には車輪はぬかるみに沒し、乾季には黃塵萬丈を免れない有樣である。南京政府の成立以來は全支那統一の手段として北支那にも公路つまり道路が盛に建設されてゐるし、そのうちには自動車の通行するものさへ數へられるのである。殊に北支那の平原は道路の建設に極めて有利な條件を提供してゐるのである。併し、今日の所では北支那は大體



山西省太原南方の自動車道路

一輪車

としては昔ながらの馬車や一輪車や轎や駱駝が悪い道路の上を緩慢な交通を續けてゐる光景が見られるのである。

道路の普及　北支那の道路は北京が中心であることは今も昔も變りがない。現在既設の幹線道路は約一萬二千粁、これに支線の五千三百粁が加はつて居り、その他無數の小徑があることは云ふまでもない。面積が廣大で、しかも水路の殆ど利用されない北支那にとつてはこれだけの道路では不充分であることは云ふまでもない。

道路のうちで最も重要なのは南京と山東とを結ぶ線であり、又張家口から外蒙古のウランバートルに至るものや、包頭から新疆に至るものなども重要なものである。自動車も最近は少しづゝ利用されるやうになり、北支五省で自動車・オートバイを合して約六千六百臺數へられてゐるのである。

北支各省公道里程　（單位粁）

路線別		河北省	山東省	山西省	河南省	陝西省	察哈爾省	綏遠省	計
幹線	全省延長	1,366	3,745	2,452	3,359	4,156	3,798	1,440	20,321
	既成道路	588	2,007	1,904	1,602	771	3,798	1,229	2,899
支線（縣及鄉道）	全省延長	1,833	751	3,578	1,605	1,364	1,256	2,421	12,718
	既成道路	1,616	751	156	655	823	100	1,171	5,271

北支に於ける自動車

種類別	河北省	山東省	山西省	河南省	陝西省	察哈爾省	綏遠省	計
乘客用	2,536	890	40	40	2	7	15	4,530
バス	248	353	242	113	188	32	27	1,203
トラック	49	196	168	11	—	81	11	616
オートバイ	169	127	10	—	—	—	—	306
合計	4,102	1,566	460	164	190	120	153	6,655

北支那の駱駝交通　新疆や外蒙古を通じてソヴィエト聯邦の武器が南京政府の手許に送られて、抗日戰に役立つてゐる。この新疆・外蒙古と支那本部との交通機關としてこれまで絶對的意義を持つてゐたのが駱駝である。この駱駝交通は今日北支と云はれてゐる地方でも重要な役割を果してゐる。内蒙古に屬する察哈爾・綏遠の兩省に於てである。察哈爾では張家口とウランバートルとの間に駱駝が往來して荷物の運搬に當つてゐる。この運送業務にあたつてゐるのが德華洋行と云ふ運送會社である。が、察哈爾よりも綏遠省はもつと盛大である。主に新疆との間に物資を輸送するもので、これに從つてゐる駱駝は約七萬と見られてゐる。そしてこの駱駝隊の通過する道路に沿つて宿場が發達してゐるのであつて、同省には綏遠・百靈廟以下二十一の宿場が數へられてゐる。たゞ最近は新疆の内亂や、外蒙古のソヴィエト化によつてこの駱駝交通は大打撃を被つてゐるのである。

北支の鐵道

鐵道の發達　北支は支那では鐵道が比較的によく發達してゐる。支那自體の鐵道は未だ幼稚な發展段階にあるのであるが、南船北馬の北支那のことゝて陸上交通の發達をはかることが必要であつたことや、これまで支那の政治的中心であつたといふやうな關係で、鐵道延長は割合に長いのであつて、殊に河北省の如きは延長に於ては全支第一に位し

北支那主要鐵道粁數（昭和十一年申報年鑑）

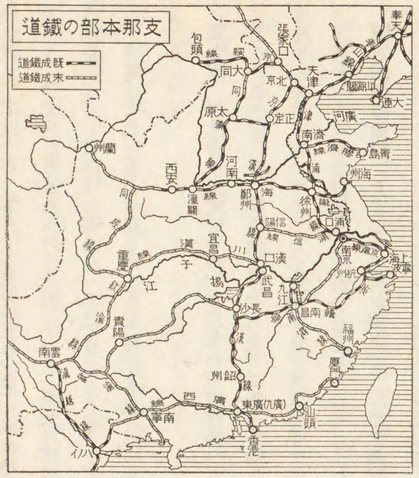
線名	幹線	支線	第二軌道	其他	合計
京漢	一、二一四粁				
北寧	四二九	一〇五粁	粁	四二二粁	一、七四二粁
津浦	一、〇〇九	三七	一三一	三一五	九一二
京綏	八一八	九六		二五六	一、三六一
正太	二四二	五九		二四九	一、一二六
隴海	八九四	三六		一〇三	三八二
膠濟	三九五	三一	五	一、〇九三	
		五八		一六九	六六〇
				二〇一	

省別に見た北支那の鐵道（昭和八年鐵道部調査）

省名	幹線	支線	第二軌道	合計
河北省	一、二二八粁	二一〇粁	一三一粁	二、一一八粁
山東	八一七	一三一	五	一、二五〇
山西	三二二	五七		四六一
察哈爾	二一八			二八〇
綏遠	三九六			四六五

京漢線　北京の正陽門外前門車站から漢口の玉帶門車站までの一、二一四粁と豐臺支線（長辛店・豐臺門間）・同口店支線（琉璃河・同口店間）・西陵支線（高碑店・梁格莊間）・臨城支線（鷄鴿臺・臨城間六十二哩六）とで全長一、三一九粁、てゐるのである。而して主要な鐵道としては北京から漢口に向ふ京漢線、北京から山海關に向ふ北寧線、北京から包頭に向ふ京綏線、天津から浦口に向ふ津浦線、濟南から青島に向ふ膠濟線、石家莊から太原に向ふ正太線等がある。これ等の鐵道は國有鐵道となつてゐるのである。

津浦線　北寧・京漢の二鐵道と共に支那の三大鐵道の一で、その線路は天津から江蘇省の揚子江岸浦口（南京の對岸）までの一、〇〇九粁である。開業したのは天津から韓莊までが一九一〇年、韓莊・浦口間が一九一一年であるが、黄河の鐵橋の竣工して全線の開通したのは一九一三年である。資本は前者はドイツ、後者はイギリスに仰いでゐる。



の鐵道である。沿線は所謂中原の地で、河北・河南の二省を縫ひ、湖北省を南北に貫いてゐる。開業したのは一九〇五年（明治三十八年）で、全建設費は一億百六十一萬七千圓、主としてベルギーの資本によつて出來たが、後支那政府が買收したのである。

京綏線　蒙古西域と北京とを結ぶ唯一の鐵道で、現今は北京豐臺車站より、八達嶺・張家口・大同府・豐鎭・平地泉・厚和豪特を經て甘肅省の包頭に至る本線と、それに北京附近の支線を併せて延長八一八粁に達する。尙本鐵道の豫定は包頭より、更に西域へのび、烏喇特部の五原まで延長する豫定で、かくして蒙古横斷鐵道を實現せんとするのである。

膠濟線（山東鐵道）　青島を起點とし、山東省の首府濟南に至る幹線三九四・六粁及び博山支線三八・九粁その他合計四四五・九粁の廣軌鐵道で、一八九七年にドイツが敷設權を獲得し、一九〇四年に竣工したものである。一九一四年の日獨戰爭で我が國がこれをドイツより收めて、約八ケ年委任經營した。しかしワシントン會議の結果一九二三年に賠償金四千萬圓を以てこれを支那に還付した。沿道には淄川や博山や、その他有數の鐵山があり、所謂山東の物資

も豐富であるから、貨客は却々多く、更に河北・河南に延長することともなればその經濟的價値は高まる譯である。

北寧線　舊の京奉線で支那に於ては最も一番早く敷設せられた鐵道で、開業は一八八一年、北京の正陽門外正陽車站を發して天津を經て灤州・山海關に至り、更に滿洲國の奉山線に連絡して錦州・新民府等を經由して奉天に至るものであり、又北京から通州へ行く支線がある。全長は四二九粁で、イギリスの資本によつて建設されたものである。この鐵道は北京・天津間の輸送を一手にをさめてゐるし、天津では津浦鐵道と連絡して上海方面の連絡に當つてゐる上に、沿線には北支第一の貿易港たる天津があり、且つ北支第一の開灤炭坑のあるため營業成績に於て支那鐵道中第一である

正太線　河北省の正定府の南、京漢線の石家莊驛から、平定州内の平潭地方の諸炭山を經て、山西省の首府の太原に至る全長二四二粁の狹軌鐵道で、石炭の運輸を目的として出來た鐵道である。この鐵道は一九〇三年にロシヤの資本を以て着手したのであつたが、後フランス人の手に歸し、一九一二年に支那資本家の手に歸し、今は私設鐵道として經營せられてゐる。

滄石鐵道の建設　北支那の天然資源中で、本邦工業原料として最大の價値をもつものは山西省の石炭である。山西省の石炭は一千二百七十億トンといふ莫大な埋藏量をもつてゐるのである。ところがこの無限の富源も今の所では殆ど全く開發されてゐない。これは交通の未發達に原因してゐる。何しろ井陘の石炭は山元トン當り原價は二・二五元と云ふが、これを漢口まではこぶのに運賃だけでも六元もかゝるのである。そこで鐵道の整備と云ふことが北支石炭資源開發の第一の前提となる。そしてこの敷設されるべき鐵道のうち一番重要なものはこゝにかゝげた滄石鐵道であ

る。石家莊と滄州とを結ぶ鐵道であり、これによつて津浦・滄石・正太の鐵道によつて山西省と太沽港とを連絡しようと云ふのである。支那政府と滿鐵・三菱等の日本資本家との間には滄石鐵道の借款契約の假調印もできてゐるのであるが、今日に至るまで敷設されずに來たものである。明朗北支の建設とともに恐らく眞先に敷設されるのがこの鐵道である。今日ではこの鐵道は天津・石家莊間の津石鐵道と變更した方がよいとも主張されてゐるが、滄石にせよ、津石にせよ、この鐵道が北支那、殊に山西の石炭資源の開發に資する所は蓋し甚大なものがある。

支那鐵道をめぐる列國資本　支那の鐵道は一般に外國の資本により外國の督促によつて敷設して支那の國有とした所謂借款鐵道が多いので、これを借款官辦鐵路と呼んでゐる。いふまでもなく、對支鐵道借款は列國が支那に勢力を扶植するための最も有力な手段であるから、各國は何れもこの對支借款の獲得のために競爭したのである。かくして借款鐵道の敷設順序と關係諸國とを見れば自ら支那へ勢力を扶植しようとした列國の關係を理解し得るのである。

最初の鐵道は一八七六年イギリスの資本により、上海からその外港の吳淞に至る間に敷設された。このイギリスの利權先取に對して一八九五年にはフランスは雲南鐵道の建設權を獲得した。かくしてイギリスが中支那及び北支那を勢力範圍としてゐるのに對して、フランスは南支那をその勢力範圍下に置いてゐる。次いで一八九五年には北からロシヤが當時の東清鐵道の敷設權を得た。ロシヤが關東州を租借して不凍港を求めて南に進出するのに對抗してイギリスは威海衞を租借し、開平炭坑内の鐵道を延長して天津・北京に通ぜしめ、更に北は奉天まで延長してロシヤの東清鐵道と交叉せしめたのである。やがてロシヤはフランスと連繫して北京・漢口間の鐵道敷設權を得るに及び、イギリスはドイツと結んで津浦鐵道の權利を得た。ドイツの東洋進出はこれらイギリス・フランスにおくれたため、ドイツ

は支那を南北に貫く最も重要な鐵道の敷設權を獲得することが出來なかつたが、山東鐵道を敷設してイギリス・フランスと對抗した。次いでアメリカ合衆國が對支鐵道借款の割込み運動を行ひ始めたが、これは既に支那各地に勢力範圍をもつてゐたイギリス・フランス・ロシヤ等の反對に遭つて實現されず、今尙アメリカ合衆國は種々なる方法を以て支那に勢力を扶殖しようと努めてゐるのである。かくて支那の主要鐵道幹線は列强の投資による列强勢力線のシンボルであると云ふことが出來るのである。

北支那に敷設されてゐる鐵道のすべてが外國からの借款によつて建設されたものであつて、唯一自國資本で建設に着手した京綏線すらも後になつて外國資本を入れたものである。最初は日本・イギリス・ドイツ・ベルギー・フランス・ロシヤ等が關係をもつたのであるが、今日では日本・イギリス・フランス・ベルギーが關係を持つてゐる。日本の關係のあるのは北寧・京漢・京綏・膠濟の諸線である。

航空路の發達

國土が尨大な割合には近代的な交通機關の發達して居らない支那にとつては遠距離交通機關として航空機は絶大な價値を持つて居り、又それだけに比較的に發達してゐる。北支那に於ても航路は割合に發達してゐるのであつて、支那事變前は次表のやうな北京・上海間が二線、北京・廣東間、包頭・蘭州間に航空路があり、又最近では天津・東京間にも航路を通じたものである。而してこれ等の航空路を經營してゐる中國航空公司・歐亞航空公司は共に外國の資本經營で、前者は米國系、後者はドイツ系である。

北支に於ける航空事業一覽

航空路			
滬平線	上海―海州―青島―天津―北京	一四二七哩	中國航空公司　一九三一年四月開業
歐亞線	上海―南京―天津―北京		歐亞航空公司　一九三一年五月〃
京粵線	北京―鄭州―漢口―長沙―廣東	一二〇〇哩	歐亞航空公司　一九三一年五月〃

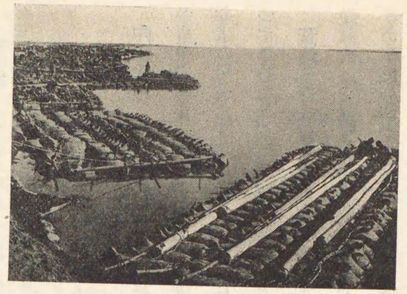
內陸水路

內陸水路　北支那の內陸水路は中南支に比較すれば著しく振はない。これは南船北馬と云ふ言葉があることでもわかるのである。併し日本に比較すれば河川は利用されてゐる。北支那の河川のうちでは黃河・白河・灤河・小淸河等は舟運の便があり、これに加はるに例の大運河があつて、都市と農村間の貨物運搬などに大なる役目を果してゐる。從つて旱魃の結果河水が減水すると、貨物の運送が妨げられ、生產者・商人に大打擊を與へることがあるのである。

黃河　四千粁の長さを以て揚子江に次ぐ黃河は、僅かに北支那平野に出てから緩かな流路を呈するが、北支那の乾燥氣候に支配されて水量が定まらず、河底に堆積する泥土で流路が絶えず變遷するのでその船運には危險が多く、水運の便は少い。從つて揚子江が大汽船を浮べて全國的な交通路となつてゐるに過ぎないのである。現在開封の東方蘭封から山東省の津浦鐵道附近に至る間が最もよく方的な交通路となつてゐるのに對して、黃河は小船を通はしめて地利用され、又包頭の附近も盛んに利用されてゐる。

黃河の上流には木で造つた船が甚だ少く、獸皮製の筏が一番普通の河川交通機關となつてゐるのである。この皮筏

の原料となる獣皮には牛皮と羊皮とがある。牛や羊の骨肉を取り去つた自然の皮袋を利用するのである。この牛皮や羊皮を油で浸した後で頭尾四肢を充分に緊束して内部に空氣を吹き込んで膨らませ、これを浮袋とするわけである。この浮袋を數箇、十數箇、又は數十、數百を平面の長方形に編成して連絡する。しかしてこの上に木架を裝置し、この木架の上に貨物や乘客を搭載する。時にはこの筏の上にテントを張り、旅客はこの中にあつて、沿岸の風景を鑑賞することも出來るのである。



獸皮の筏

同じ皮筏でも羊毛とか、葉煙草等の大量的な貨物を運搬するには大抵牛皮筏を用ゐる。牛皮筏のうちでも大きいものになると數萬斤の積載量をもつてゐるものがあると云ふから、相當な大船に匹敵出來るわけである。又羊毛や駱駝毛を運搬する際に、この毛を皮袋の中に詰めこんだ上、この皮袋で筏を作る事もある。何故こんなことをするかと云ふに、かうすると、筏の上の積載物を輕減することが出來るからである。

白河　北支那で汽船の航行し得る河川は白河のみである。河口から六〇粁の天津港までは浚渫した河路を通じて二千噸級の汽船を通はしめる。併し水深は天津の埠頭で四米から八米、その外港の太沽で三米乃至七米、しかもその川幅が狹いため、これ以上の汽船は通れない。また十一月の下旬から十二月の末までは結氷によつて全く航行は杜絶する憾がある。とまれ白河は河北省水運の大動脈として重要な河川である。

大運河　北京の東方通州から北運河と稱せられて天津に至り、天津から南運河の名を以て德州・臨清を過ぎて黃河を横切り、淮河の水を切つて揚子江岸の揚州に至る。更に揚子江を横切つて鎭江から蘇州を通つて杭州に至るまで、全長一千三百粁に及ぶ世界最長の運河である。これは隋の煬帝の開鑿したものと、天明の時代に開鑿したものとで、主として南方の米を米產に乏しい北支那に廻送する目的で作られたものである。昔はこの通路はかなりよく利用され、これがため運河に沿つて臨清・淸河・杭州等の多くの運河港が發達した。その後津浦鐵道が開通してから、これらの市場は鐵道に奪はれ、臨淸の代りに濟南、淸河に代つて蚌埠（バンフ）、杭州に代つて浦口が興つた。丁度滿洲に於てかの遼河の水運が鐵道によつてその繁榮を奪はれたものとよく似てゐるのである。

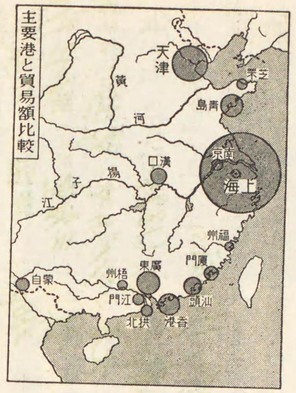
今日では山東省の一部には船楫を通じ得ない個所もあるが、中支那の部分は船運の便があり、殊に江蘇省の淸江浦以南には汽船航路も營まれてゐる。また天津から臨淸に至るまでは小汽船が通ひ、北支那の平野の物產殊に棉を天津に集めるのに利用されてゐるのである。

港灣

北支那の沿岸には本邦汽船を始め、イギリス汽船・支那汽船等が貨客の運搬に當つてゐるが、これ等の汽船の寄港する港として有力なものは天津を第一として靑島・芝罘・秦皇島・龍口・威海衞の六港がある。支那の港として重要なものの三分の二までは河港であるのに拘はらず、北支那には水運の大なる河川がない關係で、河港としては先づ天津があるのみである。しかもこの天津すらも、白河河口の塘沽・太沽を外港としてゐるのである。

八　北支那の貿易

北支の貿易　北支那の貿易は最近では輸出が一億三千五百萬圓、輸入が一億六千萬圓で、全支那の貿易の約一割八分内外に當つてゐる。連年入超を示して居り、この入超額は南洋や滿洲國に出稼した人々の送金によつて決濟されて來てゐるのである。



主な輸出品は棉花・皮・毛皮・落花生・鷄卵・乾製品等の原料品や食料品が多い。これに對して主な輸入品は綿布・小麥粉・砂糖等の工業品が最も多い。農業を第一の生業とする北支那が大量の小麥粉を輸入してゐるのは注目すべきことである。

外蒙古との貿易　北支那の貿易のうち外蒙古との貿易は張家口をへて送られ、外蒙古からは羊毛、北支那からは張家口製の蒙古靴を主とする。併し外蒙古がソヴィエト聯邦と結合してから、張家口と外蒙古との貿易は衰へたのである。

九　北支那に於ける帝國の權益

北支那に於ては我が國は古くから各種の權益を獲得してゐる。これを性質によつて分けると次の如くである。

第一は、軍隊駐屯權である。これは一九〇一年に北清事變の結果得たもので、今日我が天津駐屯軍が天津・北京・山海關等に駐屯するのはこの條約上の權利に基いてゐるのである。

第二は、軍事上の特殊權益で、これも亦北清事變の結果得たのである。天津駐屯軍の地域から二十支里以内に支那兵は接近出來ぬとか、北京・山海關間の支那砲臺の撤回と云ふやうな義務がこれによつて支那に負はされてゐる。又最近では冀東・察北の非武裝地帶の設定や、支那中央軍の河北省進入禁止等もこれに加はつてゐるのである。

第三は、居留地及び公使館區域を設定する權益である。我が國は天津に專管居留地をもつてゐる。又北京の公使館區域には支那人は居住出來ず、その警察・行政等は列國の行政委員會が當つてゐる。又濟南・青島・芝罘・張家口等には商埠地として我が國人の居住營業のために開放された土地がある。

第四は、借款に基く權益である。その第一は天津・青島を主とする企業投資である。天津には電力供給・紡績・屠殺等、青島には紡績・燐寸・屠殺・麥酒等の企業に投資する權益がこれである。第二は鐵道借款である。北支に於て帝國の關係してゐる鐵道は次の通りである。卽ち京漢線に一千萬圓、京綏線に六百萬圓、膠濟線に四千萬圓、山東の高徐・濟順の二未成線に二千萬圓の投資がある。第三に鑛山投資である。山東省の金嶺鎭の鑛山、山東省の坊子・淄川・博

山・章邱・河北省の石門塞の炭田等の投資である。第四に交通・通信に關するものである。卽ち、帝國は佐世保・青島間大連・芝罘間の海底電線を持つてゐる。又惠通公司と云ふ日支合辦の航空會社は天津を中心として北京・張家口・山海關・大連間の航空路を經營してゐる。

これ等を合して帝國が北支に投じてゐる資金總額は約十一億五千萬圓に達し、列國中第一位を占めてゐる。滿洲國建國後は帝國の北支投資は積極的となり、資本金一千萬圓の興中公司は北支經濟活動の中心となる國策機關である。

かくの如くに、帝國は北支那に於て列國に冠絶する權益を持つて居るのであり、在住邦人の數も四萬三千人の多きに達してゐる上に、この地方は滿洲國の接壤地帶として軍事上、政治上重要な關係にあるのであつて、この地方が反日滿工作の策源地となり、又赤化されて共產軍の活動地となることを斷じて許容し得ないのである。

一〇　北支那をどう開發する

支那事變は愈〻長期戰となつてしまつた。併し日・支間に媾和條約が締結されようがされまいが、北支那が我が勢力圈となつてしまひ、而もそれが永續するであらうことは少しも疑ひをさしはさむ餘地がない。そこで今後の問題はこの北支那をどう經營すべきか、と云ふ點に集中してゐる。而もその中心は無限とさへ云はれる北支那の天然資源を如何に開發するか、と云ふ經濟工作にある。かくてこの頃では北支經濟工作に關する見解を新聞雜誌上に發表するものも少くない。次にこれらの諸見解のうち主なものを取り出し而もそれを綜合して述べることとする。

北支那の經濟建設、資源開發が日滿支經濟ブロックの建設を最高の目標とすべきことは云ふまでもない。それ故日滿支を通ずる綜合的な經濟建設プランを確立しなければならぬし、又このプランの建設の衝にあたり、且つそれを施して行くところの特殊な機關が設立されなければならぬ。支那事變がなかつたならば、昭和十二年九月に開催する筈であつた大陸會議のやうなものが常設の機關として設立されるのではないかと考へられる。

次に日滿支を綜合する經濟建設は北支那の犧牲に於て日本の利益をはかると云ふのであつてはならぬ。北支那を日本に從屬する植民地化しようと云ふのであつてもならない。あくまでも北支那の自主權を認め、北支那大衆の利益をはかると云ふことを立前とすべきである。日本政府がこれまで屢〻言明してゐるやうに、日本の支那に求めるものは領土的主權ではなくて、經濟的提携である。ほんたうの意味に於て日支の共存共榮をはかることを最高の目標としなければならないのである。

かくの如き指導原理に從つて行はるべき北支經濟建設は勿論日本の指導によつて行はれなければならない。そこで、北支に於ける日支協同の經濟建設の指導に當るべき日本側の特殊な機關を是非創設さるべきものと云はれてゐる。この機關の組織を如何にすべきか、又それを日本政府の機關とすべきか、民間機關とすべきか、については色々と議論があるかも知れないが、この種の機關の必要なことは何人も認めるであらう。

さてかうした日本側の機關の指導の下に建設される北支經濟を實際に行ふのは昭和十二年十二月北京に成立した中華民國臨時政府である。こゝで北支政權と南京政府との關係が問題になつてゐたのであるが、昭和十三年一月帝國政府は南京政府を對手とせずと聲明したのであるから、この北支政權が北支那、更に全支の正當な政權となつたわけで

ある。この北支政府には日本人が入つて行く必要があることは云ふまでもないが、滿洲國に於けるが如くに多數の官吏を送りこむことはさけるべきであると云はれてゐる。北支人の北支と云ふやうな立場から少數の顧問を送る程度にとゞめられるのではないかと考へられる。

北支の新經濟建設は勿論統制經濟の立場で進められなければならないが、滿洲國に於けるが如くに徹底したものであつてはならない。重要な事業を除いて他は自由企業としても差支へない。これは土着支那人や外國人の資本投下と云ふやうな點を考慮して云はれてゐるのである。つまり北支の企業を日本資本の獨占下におかうと云ふことは今日では反對されてゐるのである。次にどんな企業を統制するかと云へば、交通・金融・治水・港灣・鑛業・發電・棉花・鹽・石炭液化と云ふやうなものが最も重要なものとされて居り、これ等については完全な統制をうけるやうにする。又同じ重要な事業でもこれら程に重要でないものはある程度まで統制をうける半自由企業とすべきであると主張されてゐる。

北支に於ける各種企業の統制機關・投資機關として一つのホールディングコンパニーの設立も考へられてゐる。滿洲國重工業經營に日本產業が乘り出したやうに、この種の會社が必要であることは云ふまでもない。北支那では滿鐵がこれに乘り出すか、或は滿鐵の別働隊の興中公司がこれに當るか、又は全然別種の會社から設立されるかは今のところでは明かでないが、かうした目的の特殊會社が早晩出現することと思ふ。

この投資會社として、東電の小林一三氏が北支興業組合と云ふやうなものの設立を提唱してゐる。氏に從へば、先づこの度の支那事變關係者に交付さるべき金額の代りに公債を交付し、この交付公債を集めて北支興業組合を作る。この組合は所有公債を擔保として北支の中央銀行から資金を借入れる。中央銀行はこの公債を擔保として紙幣を發行し、これを組合に貸す。組合はこの紙幣をもつて北支の各種の事業に參加する。その際組合は設立される企業の資本の二分の一を出資し、この會社に監督者を出し、事業は全部會社に一任する。組合はかくして得た株式か又は出資證券を擔保にして中央銀行から借金する。かくて組合は莫大な資金を利用することが出來、從つて實に多數の企業に參加することが出來る。小林氏に從へば、この方法は資本主義・國家社會主義・共產主義との各〻が有する長所を合せ有し、未だかつて試みられない統制經營であり、今日の資本主義の害を免れ、支那事變に參加した國民大衆に利益を分與する方法であると云ふ。

小林氏の提案に於ても豫定されてゐるやうに中央銀行つまり金融機關の整備と云ふことが北支經濟建設に不可缺である。現在では河北省の中樞機關として河北銀行があり、上海を中心とする支那の三大銀行の中央銀行、中國銀行、交通銀行の支店が天津にあり、又イギリス系の銀行も活躍してゐる。そこで中央系の三銀行を閉鎖し、河北銀行を北支中央銀行とし、別に北支興業銀行を起すべしと云はれてゐる。又朝鮮銀行を重要視する者もあり、現に鮮銀券は相當北支に流通してゐる程である。小林一三氏の如きは全然新たに北支中央銀行を設立し、北支を日本圓の延長區域とすべきであると主張してゐる。つまり新設の中央銀行が圓にリンクした新法貨を發行して、これを北支に强制的にでも流通させ、南中支とは緣を切らしめようと云ふのである。この要求に應じて近く中國聯合準備銀行が設立されることとなつたやうである。

この北支中央銀行には日本資本が參加すべきことは勿論であるが、その他各種の重要事業に日本資本が參加すべきである。但し日本資本の獨占とせずに、土着支那資本は勿論のこと日本の手を通して外國資本も參加出來るやうにし

なければならない。

次に具體的に先づ着手さるべき事業としては交通の整備で、自動車道路の修築・新築、鐵道の改良・新設、港灣の新設・改修、航空路の經營等がなければならぬ。工業化の基礎として電氣事業の發展が必要であり、又天津・青島等に工業港又は重工業地帶を建設しなければならない。察哈爾省その他の鐵鑛資源、山西省の石炭資源の開發、石炭の液化等は眞先になさなければならぬ。又北支棉花の栽培や製鹽業の擴大を行ふ必要もあり、更に公共事業としては治水事業、殊に黄河の治水事業を斷行する必要もある。

第三章　北支那地方誌

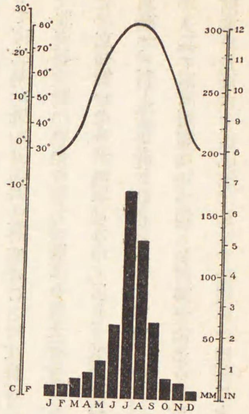
一　河　北　省

河北省概觀

支那本部東北隅の省で、萬里の長城によつて滿洲國と境を接してゐる。面積は約十四萬方粁で、我が本州より少し小さい。これに對して人口は三千二百萬人以上で頗る多く、これがために人口密度も著しく高く、一方粁二百二十二人に達し、我が内地の百八十四人よりも遙かに高い。首都の北京と大貿易港の天津とをもつことが本省の特徴で、從つて商工業が盛んで工業の繁盛なことは江蘇省に次いでゐる。殊に製粉・紡績・皮革・燐寸工業が著しい。

北支那平野の中心に位し、豐沃な黄土層地帶にあつて、氣候も惡くないので農耕はよく進んでゐる。農産物では棉花は支那第一の多産地域となつて居り、又高粱・粟・玉蜀黍の産も全支第一又は第二位にある。果物では杏・葡萄が全支第一、梨・林檎・棗も全支第二位に當つてゐる。畜産の羊の百三十萬頭、豚の百五十八萬頭、騾・驢の百五十六萬頭、馬の二十四萬頭等はいづれも全國第一位を占めてゐる。水産では年産四百萬石に上る鹽がある。又鑛物でも石炭の採掘量が七百六十萬瓲餘に及んで全支那の四割以上に達してゐる。そのほか鐵・石炭・磁土等がある。工業では紡績・絨氈・製粉・皮革・マッチ・セメント等が行はれてゐる。交通も首都北京がある上に平原が廣いのでよく發達し、省内には

京漢・北寧・津浦・京綏・正太の五幹線と幾多の支線とが通じてゐる。かくして天津港はこれらの産物の取引港として上海に次ぐ殷盛な貿易港となつてゐるのである。



北支那平原の雨量と氣温

河北省は滿洲國の後衛地帶として重要な地域であるから、一九三四年五月に日支塘沽軍事協定が締結されて以來、本省の北東部一帶數縣に非武裝地帶が設けられ、次いで又冀東政府、冀察政權等が作られ我が國は天津及び北京附近の地域に特殊な地位をもつに至つた。更に今次の事變によつて明朗北支の中心地域となり本省の開發に日支提携の氣運が次第に強くなりつゝある。北境、北京の背面には萬里の長城が二重になつてこれを取巻いてゐる。この地が古くから土地肥沃、物產豐富、しかも氣候溫和で北支那第一のユートピヤをなしてゐたために、朔風の吹き荒れる北西の瘦地から屢〻北狄匈奴が侵入し來つたので、これを防がうとして二重に築いたものである。これを見ても如何にこの地方が古くから豐かな土地であつたかがわかるのである。

冀東地域概觀

冀東政府、より正確に云へば冀東防共自治政府は昭和十年殷汝耕氏を中心として成立した河北省東北隅つまり滿洲國に接した所謂非戰地域及びその西に續く縣境界に至るまでの地域を管轄する親日滿・防共の政治組織である。冀東は元來昔の支那の九州の一つの冀州を指す。かつての冀州は今の河北・河南・山西・滿洲國に跨る地域であつて、「冀北の馬」と云ふ言葉があることでもわかるやうに、馬の產地として有名であつた。しかし現在では冀と云へば河北省のみを指してゐることは冀東とか冀察とか云ふ名稱によつても知ることが出來るのである。

昭和八年初頭我が關東軍は熱河作戰を實行し、更に長城を越えて關內作戰を敢行した。支那側は竟に屈服して同年五月塘沽で停戰協定を結んだ。その際設置されたのが非戰地區であつて、この地域には支那軍隊は駐屯することが出來ず、治安は專ら巡警によつて維持されてゐたのである。

越えて昭和十年十月非戰地域の香河縣に北支自治の農民運動が起つた。蜂起した農民部隊は香河縣人民治安維持會を組織し、國民政府の否認、赤化防止、租稅の輕減の三項を標榜として自治宣言を發した。この農民運動は我が天津軍と河北省政府との妥協によつて一時小康を示した。が次いで十一月南京政府が幣制改革を發表して現金南送を企てるや、北支の反南京熱が煽られ、密雲・懷柔などでも農民が蜂起して自治運動を起した。

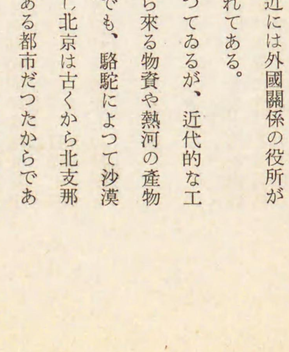
こゝに於て非戰地區行政督察專員の殷汝耕氏等は北支の自治政權樹立の要求を通電した。そして宋哲元を中心として北支の三省の自治宣言の發表を見さうになつたが、南京政府の策謀に妨げられて北支自治は挫折してしまつた。そこで殷汝耕氏等は非戰地域を中心として冀東に自治政府の樹立をはかり、遂に同年十一月に「中央より離脫し、防共自治を實行し、赤化の防止に努力し、積極的に諸政を刷新し、實業を起し、以て財政を豐かにし、共匪を防ぎ、無辜の人民をして安居樂土を得しめ、模範政治を實現するの宏望」を以て冀東防共委員會を組織し、更に十二月には冀東防共自治政府と改めた。而して同政府は通州に設けられ、殷汝耕氏はこれが長官となつたのであるが、昭和十二年八月池宗墨氏が長官になり、首都も唐山に移されたのである。

冀東政府の管轄地域は非戰地域の十八縣とこれに續く準非戰地域の四省を加へた二十二縣から成り、この面積は約一萬五千方哩といふから、大體我が九州に近い大いさをもつてゐる。これに對して人口は六百萬餘と云はれてゐるので、九州の一千萬人よりは大分少いが、面積に比して相當に稠密である。とにかくこれだけの面積と人口とをもつて居れば、ヨーロッパではスウィス級の獨立國となり得るのであるから、單に冀東政府と云つてはゐるが、相當な實力を培ふことが出來たわけである。

冀東政府の政治的運命はその管轄地域の地理的位置によつて規定されてゐる。地圖を見てもわかる通り、冀東地域は河北省の東北隅を占め、滿洲國の接壤地域となつてゐる。卽ちそれは滿洲國、從つて日本と中華民國の接觸する中間の地域にあたつてゐる。この中間的位置こそ冀東政府が親日滿の自治政府として成立した所以であり、又日滿支三ケ國勢力の緩衝地帶として存立してゐる所以であり、更にまた北支に於ける廣大な緩衝地帶設定の母體たるの役割を果した所以でもある。

河北省の都市

北京　遼の中都、金の燕都、元の大都、明及び清の京師であつたところである。從つて北京は世界に於ける城郭都市の最も著しい例をなし、市街地は內城と南の外城とから成つて居り、城壁を以て完全に包圍されてゐる。城壁の高さは十二米、厚さは二十米、頂上には道路があり、五十米毎に衞兵の屯營所が設けられてゐる。內城の周圍は東西七粁、南北九·五粁、外城は東西八·五粁、南北三·五粁で內外城の面積は八十方粁となつてゐる。而してその中に百三十萬の人口を擁してゐることを見ても如何に大規模な都市であるかがわかる。南壁の正面永定門から內城の南門卽ち正陽門を潛ると皇城があり、その中に宮城紫禁城がある。その廣大なことと建築の壯麗なこととは比類がない。今はこの紫禁城內に百般の政治機關が設けられ、附近には外國關係の役所がある。尙內城內には治外法權の外國人租界が置かれてある。

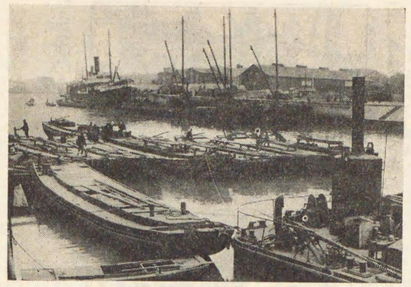


かくして北京は純粹の政治都市・學術都市となつてゐるが、近代的な工業も最近次第に興りつゝあり、蒙古・西域方面から來る物資や熱河の產物の集散は古くから行はれ、京綏線の敷かれた今日でも、駱駝によつて沙漠地方から物資の運ばれて來るものが少くない。蓋し北京は古くから北支那平野の農耕地帶と蒙古の草原沙漠地帶との境界にある都市だつたからである。

北京の公使館區域　北支に於て列國が持つ權益の一つで、北平城內東南の一隅を占め、東西一千二百米、南北六百五十米、面積二百エーカーばかりの一區劃である。一九〇一年の北淸事變に關する最終議定に基いて設定されたもので、この地域は公使館警察權下にあり、支那人の居住が禁止され、又必要な時は防備の狀態におくことが出來るし、護衞兵が常置されてゐる。つまり、支那のうちにあつて、しかも支那の主權の及ばない地域である。北淸事變の苦い經驗から、あの災害を二度と被らないやうに設置されたもので、この地域の外郭の東西北には幅四十米の隙地がめぐ

らされてゐる。この地域の行政は一九一四年の北京公使館區域規則によつて、三名の官選委員と二名の民選委員とを以て組織する行政委員會が管掌し、官選委員は北清事變最終議定書調印國代表者がその公使館員中から任命し、民選委員は公使館區域在住の會社、及び二十一歳以上の個人のうちで不動產所有者、又は稅金二十五弗以上を支拂ふ者から選擧されてゐるのである。

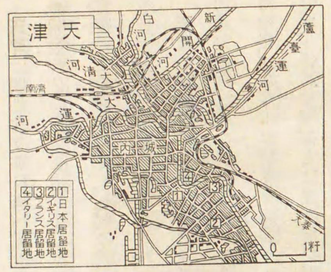
天津　明朗北支那は滿洲國の接壤地帶として我が國と特殊な關係をもつてゐる。日支の經濟提携は先づ北支那の經濟開發から力强く開始されてゐる。而してこの北支那の關門となつてゐるのが天津である。



天津港

天津は北京の東南を去ること鐵道で百三十八粁、白河の沿岸の低地、河口から四十浬溯つた地點にある。この地は白河・大運河・西河の會合點に當つて居り、黄海方面から北支那、特に北京に入る自然の通路に當つてゐる。天津の發達はそれがもつてゐるすぐれた地理的位置に負うてゐる。更にこの地が津浦線・京奉線卽ち今の北寧線との會合點になつたことが更に天津の發達を促進した。

天津が開港場となつて外國に開港されたのは一八六一年のことである。江戸が東京となつて横濱が繁昌し始めたのと同樣に、天津は明朝が北京に都を定めてから榮え始めた町である。今日熱河及び蒙古から來る物資を集める外、數多の水陸交通路を放射して、中原の北部を商圈とし、貿易も上海に次ぐ活潑な港市となつてゐる。卽ち鐵道は、北寧線の北京から一三八粁の地點にあり、津浦線の起點となつてゐる。なほ白河及びその支流の集合點となつて居り、更に北運河と南運河との會合點に當つてゐるので北支那の船運の中心をなしてゐる。但し白河の上流から流下する黄土の量が多いため、河床が淺くなる憾があり、港は深さ四米内外で二千噸級の船が溯行するのみで、しかも十二月から二月下旬にかけては河水が氷結して碎氷船を使用せねばならない。かくて天津は世界的な港にはなれないが、華北水運の樞地であるに變りはなく、沿岸の各地に航路を有するばかりでなく、我が近海郵船・大阪商船・大連汽船・日清汽船等も天津と滿洲國・日本との航路を經營し、その貿易額も一九三四年度には一億七千八百萬元を以て全支那貿易額の一一・三%を占めてゐる。卽ち上海の五五・四%に次いで支那第二の地位を占めてゐるのである。



しかして天津のヒンターランドは廣い。北支那平野は勿論、西北の諸省、蒙古から新疆にまでも及んでゐる。滿洲事變前の數字によれば、天津からの輸出品の生產地は河北省が四〇%、蒙古・甘肅・新疆の三地方が三〇%、山西省が一〇%、滿洲が一〇%であり、輸入品の消費地は河北省が四〇%、山西・陝西の兩省が二〇%、熱河・察哈爾・甘肅・新疆の各省が一七%、山東・河南の兩省が二五%、滿洲が八%であつた。輸出品は棉花・獸毛・獸皮等であり、輸入品は工業品が多い。又天津港の特色は萬年入超たる點にある。これは廣大なヒンターランドも面積・人口の割合に物資が豐かでないからである。

尙天津は北支最大の工業都市で、その盛大さは上海には到底及ばないが、近時紡績・毛織・製粉・製油等の工業が起

つてゐる。殊に明朗北支の建設が進行するにつれて、本邦工業家にして天津に進出しようとする者が續出してゐるので、天津工業の將來は期して待つべきものがある。かくしてその人口は近年急速に增大し、一九三四年の人口は百三十八萬人を以て上海に次いで支那第二の大都市となつてゐる。

天津は特別市で又最近河北省政府の所在地となつたのである。

天津にも支那の開港場にはつきものの租界がある。租界は白河の本流の兩岸に沿つて日・佛・伊・英四國の專管居留地（租界）がある。租界の街衢は整然とし、洋風の建物がある。治外法權が實施されてゐるために、近來支那の高官・富豪のこの地に來住するものが少くない。河岸一帶の紫竹林バンドには埠頭や倉庫が多い。ほかに支那人街があることは云ふまでもない。

天津の特別區　天津には尙特別區と云ふ區域がある。天津に始めて外國租界が設けられたのは一八五八年の事で、世界大戰前は日・英・佛・伊・白・獨・露・墺の八ケ國の租界があつたが、大戰中に獨・墺・露の三ケ國の租界が回收され、その後ベルギーの租界も回收され、これ等が特別區となつてゐるのである。かくてこの地域の主權は支那に回收されたが、併し支那街とは違つて特別な行政が行はれて居り、各特別區には特別市政局を設け、局長が行政を管掌してゐるのである。

太沽（タークー）　天津より約六十粁の地點にある天津の外港であるが。潮汐干滿の差が一米で干潮の際は砂洲が出來るので船は沖合に碇泊せねばならぬ。また冬季結氷する時は不凍港の秦皇島が外港となる。

塘沽（タンクー）　天津の東南、白河河口北岸に位置し、對岸太沽と相對して宛然一市をなすの感がある。京津の關門海口で、北支那に於ける主要海港の一である。海洋方面より北支那各地に入る旅客中特に太沽沖より汽艇に轉乘して來るものが上陸して北寧線列車に乘換へる地點である。

通州　白河の上流、大運河の北の地點にあり、鐵道開通前までは江蘇・浙江の米穀を北京に輸送する關門であり、又海路天津から北京に入る要路に當つてゐたので、かつては繁華な城地であつたが、鐵道の開通後衰微した。然るに冀東政府成立後はこゝに政府が設けられた。

開平　北寧鐵道の要地で、交通が便利である。附近に馬家溝・唐山等の炭坑があつて、開灤鑛務局の中心をなしてゐる。

唐山　北寧鐵道に沿ひ、北は鐵道及び運河によつて山海關を經て滿洲國に通じ、南は鐵道及び運河によつて天津に通ずる。河北省東部の物資の集散地であり、又セメント・陶磁器・紡績等の工業も行はれる。又かの開灤鑛務局が設けられ、この地及び附近の石炭を採掘してゐる。現在の人口は約十三萬である。

秦皇島　開港場で、開灤炭の輸出港として有名である。渤海海岸の小島であつたが、開平鑛務局が築港し、後にこれが開灤鑛務局となるや、同局の經營に屬したのである。從つて人口約七萬のうち千二百人の開灤關係者が居り、開灤鑛務局事務所のほか、その經營にかゝる硝子會社も設けられてゐる。

山海關　昭和九年關東軍が關內に進入した時以來滿洲國の手にあつたが、塘沽停戰協定と共に支那側に引繼がれた滿支間の國境都市で、市中には日・滿・支三國の機關がある。人口は三萬二千六百で、在留日本人は八百八十人に及んでゐる。

南苑　北京の南約十一粁の所にあり、明代から民情を講ずるの意を以て設けられ、土地は廣濶で、結構は頗る壯大である。

南口　北京から京綏線を北へ四十粁、約二時間半の行程の所にあり、有名な八達嶺山脈の南麓に位し、京綏線中張家口に亞ぐ要地で、附近物産の市場であるが、更に古來三關の一として著名な居庸關はこの北にある。

長辛店　京漢線に沿ふ都會、北京の南二十一粁、京漢線の車庫・工場・材料庫があり、北寧線豐臺に支線を出す。

高碑店　京漢線上北京から八十四粁の都市、かつて燕趙の國境に位し、燕南趙北の高牌があつたのでこの名がある。西陵支線の分岐點である。

易州　高牌店の西方の都市、石炭・石綿・藥草・農產物を出す。側の易水は荊軻の故事で名高い。人口は一萬餘。

良鄕　京漢線に沿ひ、北京から三十粁の地點にあり、附近の垞里は石炭を產する。

琉璃河　北京の南方五十粁の京漢線の都市、同口店に至る運炭鐵道がある。尙同名の川は或時は南流し、或時は東流して流離常ないのでこの名が生じたと云はれてゐる。

石家莊　京漢鐵道にて北京より南へ二百七十五粁四にあり、市街は人口一萬位の都會に過ぎぬが、山西省太原府に至る正太鐵道の基點に位し、山西河北兩省交通の中心をなすので、附近物資を集散し、商工業が發達してゐる。

順德　京漢鐵道で北京から三百八十七粁二にある。古の鉅鹿の地で、河北省最南の大都會である。商業が繁榮し、羊毛皮・麻・蓆・竹器・油・棗・果實等の物產を集散し、又緞通・石器細工は名物である。人口は約十萬である。

大名　河北平野の中心的都市で附近物產の集散地である。

青縣　津浦鐵道にて天津から九十三粁三南にある。渤海にのぞみ、茫々たる部落に過ぎないが、見る限りの鹽田で、有名な長蘆鹽の產地である。

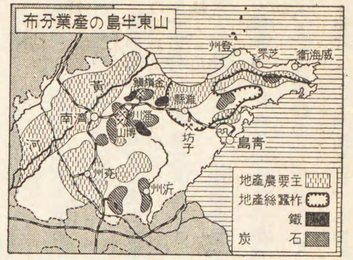
馬廠　天津の南方約七十粁、津浦線上の要地。大運河に沿ひ、保定に道路を通じ、附近の馬廠川も水運の便があり、軍事上の要地である。

滄州　津浦鐵道にて天津から南へ百二十五粁の所にあり、大運河に沿へる都會で、附近農產物の集散地である。人口は一萬五千である。

二　山　東　省

山東省の概觀

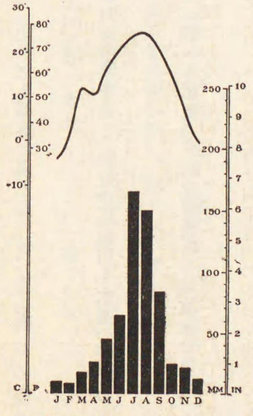
支那北部から東方に突出する一大半島の山東半島から成り、面積は約十五萬方粁、人口は約三千六百萬人の多きに達し一方粁の人口は二二二人で、北支那では最も人口が稠密である。面積は北海道・九州・四國を合せたものに略ゝ等しく、昔島嶼であつた山東半島が黃河の沖積作用によつて大陸と連絡して半島狀となつた地域である。半島部は幾つかの傾動地塊から成つた三角形の山地と海岸山脈とその間にある波狀地帶とに區別される。黃河以西は黃河の沖積地で、北支那平野の一部は肥沃である。海岸は出入に富み、そこに威海衞・芝罘・青島等の良港を作つてゐる。土地は一般に非常によく開拓され、小麥・高粱・大豆等の產額は全國の首位にあり、落花生・煙草・棉花・山東牛・鷄卵の產が少くな



い。又東部の山地には山繭絹絲を出し、海岸では鹽の生産が一ケ年に二百四十萬石乃至六百九十萬石に達する。山地の北側には有名な淄博炭田・金嶺鎭の鐵山があつてこの地方の工業の原動力を供給してゐる。津浦線は西部を南北に貫き、膠濟線は津浦線から分れて東方に向ひ、山東半島の動脈となつてゐる。工業としては麥酒・酒等の醸造業や窯業・製粉業等も行はれてゐるが、紡績業・燐寸業が最も有力である。紡績業は青島・濟南で行はれるが、青島にあるものは概ね邦人經營であり、濟南のものは全部支那人經營である。燐寸は青島を中心としてその產額は支那の過半を占めてゐる。

山東省は大正四年五月、日支兩國間に結ばれた山東省に關する條約及び交換文書により「支那國政府は山東省内若くはその沿岸一帶の地または島嶼を、何等かの名義を以てするに拘はらず外國に租借または讓渡することなかるべし」と約定されて居り、我が國はもとドイツがこの地に所有してゐた一切の利權を承繼し、今日膠濟鐵道・鑛山等に利權を有してこの地に特殊な利害關係をもつてゐる。

山東省に於ける我が權益　元來山東省に於ける我が國の權益は大正三年青島を占領し、ドイツの權益を受繼いでから扶植されたものである。第一に山東省不割讓がある。かつてのドイツの權益の大部分を支那に返還した代りに支那は省内の土地を如何なる名



山東省の雨量と氣温

儀でも他國に割讓又は租借せしめないこと、日本は必要な土地建物を所有し、又青島市政に參與し、青島稅關は日本文の文書を以て往復し得ることとなつてゐる。

山東省内では本邦人は南埠地以外に高密・坊子・青州・長店・博山・淄川・周村等に居住し得る。かくて省内に居住する本邦人は青島一萬三千人、濟南に二千人、芝罘に五百人等を主とし、總計一萬七千人に達してゐる。

交通では膠濟鐵道がある。此の鐵道の幹線は青島・濟南間三九五粁、之に張店・博山間、金嶺鎭・鐵山間、淄川・炭坑間、黃臺・黃臺橋間の支線を合して四五六粁、經濟上軍事上の重要線である。最初ドイツによつて建設され、日獨戰爭の結果我が經營に移り、更に大正十二年一月一日支那に還付されたもので、帝國政府は四千萬圓の證券を得てゐる。此の外例の西原借款の一部として高密・徐州間、濟南・順德間の鐵道布設の權益を有してゐる。

產業方面では中日實業會社は省政府に三五〇萬圓の貸付を、又東亞興業・大倉組・東洋拓殖等も銀行・鑛山・工業等に貸付を行つてゐるのである。

資本金一千萬圓の日支合辦魯大公司は淄川・坊子の炭坑、金嶺鎭鐵山を經營し、又博山炭田・招遠金坑等も更に青島の屠殺場・發電事業も日支合辦である。又青島鹽は大正十二年から十五ケ年間毎年一億斤乃至三億五千萬斤宛日本に輸入し得ることとなつてゐる。

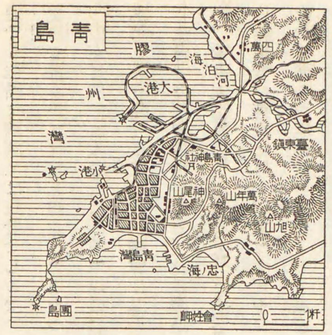
山東省第一の投資事業として、紡績業がある。鐘紡・大日本紡・内外紡・日清紡・富士紡・長崎紡・上海紡・豐田紡・同興紡の九社があり、綞數は五十二萬に達し、投下資本は六千三百萬圓を突破してゐる。

其の外大日本麥酒・日本ゴムを始めとし、製絲・製氷・マッチ・窯業・化學工業等の工場があり、投下資本は一千萬圓に

達し、此外の夥しき權益を合してすべての投下資本は二億五千萬圓の巨額に達するといはれてゐる。

山東省の都市

芝罘　煙臺とも呼ばれ、山東半島の北岸にあつて渤海海峽を隔てて旅順・大連に對し、これらと共に渤海の咽喉を扼してゐる。もと一漁村に過ぎなかつたが、一八六三年の開港以來繁榮し、交通の要地となつてゐる。大連・青島の經營が進み、膠濟鐵道が開通して以來、多少衰へた傾向があるが、絹紬・絹レース・果物・落花生の輸移出が行はれ、又滿洲國に對する移民の出發港となつてゐる。近時外人の指導によつてこの地にはヘアーネット製造及びレースの編物工業が興つてゐる。



威海衛　一八九八年にロシヤが關東州を租借する期間イギリスに貸與された處で、一九三〇年十月一日イギリスは支那にこれを還付した。また日清戰役當時こゝは北洋艦隊の根據地となつてゐて、一時我が軍が占領したこともある。

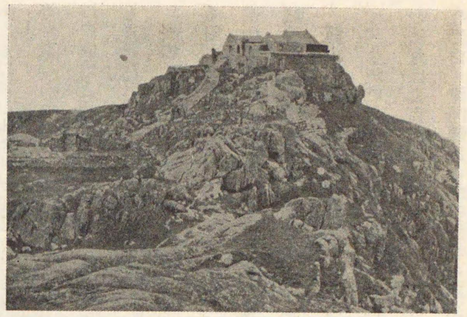
青島　一八九七年山東省に於て二名のドイツ人宣教師が土民に殺害されたことを機會として、ドイツ東洋艦隊が占領し、九十九ヶ年間の租借地となつたところである。その後十七年間ドイツはその經營に努めたが、世界大戰の結果我が國がドイツの利權を繼ぐことになり、今日は青島は支那に還付され、膠濟鐵道は支那の借款鐵道として日本から四千萬圓の借款を得たことになつてゐる。

港は膠州灣に面し半島の北西側にあり、港内は干潮時も八・五米の水深があり、埠頭には六千噸級の汽船十數隻を横付けにすることが出來、港は天津の河港よりも遙かによい。かくして青島は中原の雜穀や豆油・山東牛・鷄卵・鹽・鑛物等の輸出港で、その貿易額は凡そ天津の半ばとなつてゐる。始め純ドイツ式の都市として作られた町であるが、日本占領以來日本文化が進出して日本人も一萬五千人位在住し、日本人のビール會社や紡績工場・ゴム工場・絹絲工場等が設けられた。北支那大平野と中支那とを後背地とし將來大いに發展の素地のある港である。尙この地は支那第一の健康地と稱せられ、夏季冷涼であるから、上海や南支那から外人の避暑に來るものが少くない。白砂・青松の風景もまた勝れてゐる。

濟南　古くからの政治都市で、市街は城壁を繞らして八門を備へうちに繁華な市街を擁してゐる。水脈に富んで古來百井の稱があり、これらが合して小淸河に注ぎ、ジヤンクによつて渤海と往來することが出來、黃河・大運河と相俟つて水運の便が多い。更に膠濟・津浦兩鐵道の會合點で、麥稈眞田・落花生・棉花・牛骨・牛皮の輸出が盛んに行はれ、城外の新市街には紡織・製粉等の工場が設けられて居り、將來有望な都市である。

博山　山東省屈指の鑛業都市で、附近に淄川・章邱・坊子の諸炭坑があり、これらの埋藏量は十數億噸以上と推算され、なかでも淄川は年產七十萬噸內外を出してゐる。また附近の金嶺鎭には磁鐵鑛及び赤鐵鑛が採掘されて居り、その鑛量は九百萬噸と推定されてゐる。

泰山　津浦鐵道の泰安驛から頂上まで約二十四粁で、登山に約六時間を要する。頂上に道敎の玉皇廟があるほか、

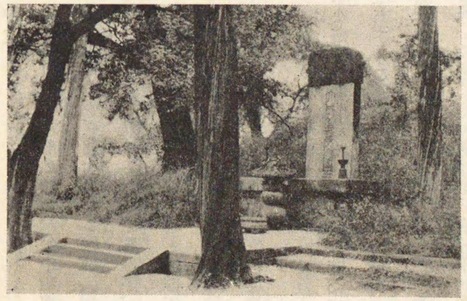


泰山

孔子や秦始帝の遺跡が少くない。東に渤海、西に黄河、南に洪澤湖を望む省内第一の名山である。

曲阜　泰山の山麓で、孔子の生地である。こゝに孔子廟があり、北門から凡そ十六粁の地に至聖林（孔子林孔林）がある。孔子の墓の所在地で、墓碑の高さ約四米、その表には大成至聖文宣之墓と刻んである。

濰縣　山東省中部の都會で、膠濟線で青島より一八五・六粁、濟南より二〇六・四粁の地點にあり、鐵道開通以前より青島・芝罘の二方面より濟南に至る主路にあり、市況が殷盛で、人口は十四萬である。



孔子の墓

臨淸　山東省西北部の重要都市である。

德州　山東省北部の都會で、津浦鐵道にて天津より二三七粁、濟南へ一一五粁八の位置にある。大運河に沿ふ大商業地で、鐵道開通前の水運による繁榮は今は見られぬが、附近は大豆と棉花との產地で、商工業が盛大である。

人口は約三萬である。

兗州　津浦鐵路にて濟南より南へ一五六粁二にあり、城は驛を去る二哩半、名高い泗水の北部にあり、この驛より分岐し、濟寧州に至る三〇粁四の支線がある。

靑州　膠濟鐵路線に於ては濰縣に次ぐ大都會で、山東省の中央部に位置し、附近一帶は果實の產地である。

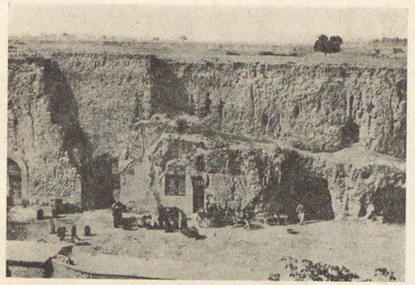
三山西省

山西省の概觀

北支那の西部の所謂山西山地の地を占め、面積は約十六萬二千方粁で、我が本州よりは少し小さい。人口は約一千二百萬であつて、北支那では河北・山東に次ぎ、人口密度は一方粁につき七六人である。東は大行山脈によつて、西と南とは黄河の河谷によつて、北は萬里の長城によつて限られて、まとまつて地理的地域をなしてゐる。山西モンロー主義と云ふ政治的孤立主義もかゝる地理的孤立性によつて條件づけられてゐるのである。一帶は厚い黄土層に蔽はれた山地で、クレッシーの所謂黄土臺地の中心にあたつて居り、汾水の地溝と大同盆地に至る一帶の地域とがこの省の文化の中心となつて居り、人口がこゝに集中してゐるのである。

地理的・政治的孤立性の故に、產業の發達もおくれ、經濟的疲弊が甚しかつたので、山西省經濟建設十ケ年計畫が實施されてゐたのである。

農産物には小麥・高粱・粟・大豆・玉蜀黍・甘藷等がある。最近農村救濟として棉花の栽培が奬勵され、生産高も八十萬擔を示すやうになつた。この省の富源としては一千三百億噸に達すると云ふ莫大な石炭の埋藏であつて、これは本省の經濟的發展を約束する最大の要素である。炭田は全省殆どいたる所を蔽ひ、實に支那全省の石炭の五割はこの省に埋藏されてゐるのである。しかし現在は未だ全く開發されず、僅かに一ヶ年に二百六十萬トン位を出してゐるにすぎない。又鐵の埋藏も三千萬噸に及んでゐると云はれてゐるが、これまた未だ殆ど全く開拓されずに殘されてゐるのである。鐵・石炭のほか金・銅も埋藏されてゐると云ふ。工業として製粉・紡織・製革・製紙・陶器・燐寸等があるが、何れも未だ幼稚な狀態にとゞまつてゐるのである。かくの如くに鑛工業が未發達なのは交通の不便といふことに因る所が大きいのであつて、今日まではこの省には正太鐵道・京綏鐵道が通ずるのみであるが、最近は同蒲鐵道の一部として寧武・風陵間が完成したのである。ほかに約三千五百支里の自動車道路がある。



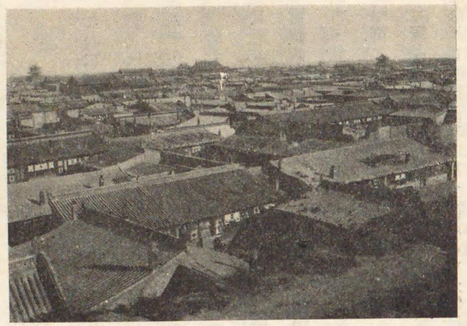
穴居する山西住民

山西省の都市

太原　ほゞ省の中央で、東・西・北の三方を山で圍まれ、南に汾水の盆地を控へてゐる要害の城市で、山西省政治・教育の中心都市である。また附近の各縣は全省の富の三分の一をもつて居り、山西の出稼商人の故郷である。かくして太原は全省の商業的中心ともなつてゐる。

大同　大同盆地の中心で、羊皮の取引が行はれ、高粱・粟・麥粉を北京に出してゐる。また附近の石佛は名高い。

大同石佛　支那古代美術の粹として世界に名高い。石佛は今を去る一千六百餘年前北魏時代(三百六十八年―五百三十二年)につくられたもので、寺のうしろの天然の岩石に彫刻せられてある。大小無數、而も孰れも精妙巧緻を極めて稀有の偉觀を



古都大同

大同石佛

呈し、その中の大なるは高さ七十五尺に達する。實に河南省洛陽の城外にある龍門の千佛崖と共に、支那古代美術の代表作物である。

四　察哈爾・綏遠兩省

內蒙古の地

この二つの省は大體萬里の長城の北方の土地で、殆ど全く內蒙古の地に屬して居り、從來は特別區として支那本部の省とは異なつた制度が施行されてゐたのであるが、昭和三年に省に改められたのである。面積は察哈爾省が二十五萬八千方粁、綏遠省が三十萬方粁ばかりである。人口は察哈爾省が二百萬人、綏遠省が百十萬人ばかりである。

內蒙古とは元來ゴビ沙漠以南の蒙古の領域を稱し、支那本部から見て內側の蒙古に當るので、この名稱がある。前清時代の區劃で云へば、哲里木（チョリムト）・卓索圖（チョウソト）・昭烏達（シリンゴガ）・錫林郭勒の東四盟、烏蘭察布（ウランチャップ）・伊克昭（イクチョ）の西二盟二十四部四十九旗と察哈爾部八旗の總稱である。東は滿洲國內の南滿洲鐵道、南は萬里長城を境とし、北は北滿洲・外蒙古に接し、西は外蒙古・甘肅に及ぶ地域である。これを今日の行政區劃で云へば、滿洲國の興安四省の殆んど全部、熱河省の大部分、察哈爾・綏遠兩省の大部分を占めてゐる。

內蒙古は興安嶺・陰山山脈によつて東西に二分され、東部內蒙古と西部內蒙古となつてゐる。熱河省や興安四省の大部分は東部內蒙古の土地であつた。而して現在上述の東部四盟のうち哲里木・卓索圖・昭烏達三盟の十四部二十六旗は滿洲國の範圍に入つて居り、錫林郭勒盟・察哈爾部は特別區として中華民國の主權の下に呻吟してゐたのである。尙この察哈爾部は昭和十年四月以降盟と改稱したのである。

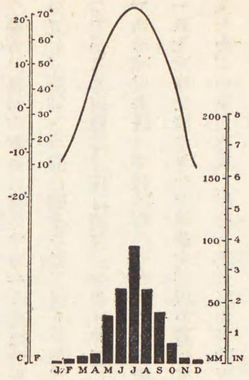
內蒙古の全部が蒙古人の居住地帶ではなく、蒙古地帶といはれるのは面積では大體その十分の八位に當つてゐるが、蒙古人は三十萬に足りないと云はれてゐる。從つて今日世界の視聽を集めてゐる內蒙古獨立問題は僅かに三十萬人の蒙古人の運動なのである。

蒙古民族が內蒙古に居住するやうになつたのは成吉思汗の時代だと云ふ。元の滅亡後內蒙古の地には多數の王公が分立し、明朝との間に鬪爭を繰り返したが、明朝中葉以後は兩者の關係が緩和し、交易が行はれて居つた。清朝になつてからも同樣で、殊に蒙古が清朝に歸順してからは漢人が盛に蒙古に出入した。併し最初の間は商人が出入したのであつて、農民の移住はなかつた。これは清朝の蒙古懷柔策と對帝政ロシヤ緩衝地帶設定の目的からであつた。が、一八七六年に清がロシヤの蒙古征服を恐れてこの地に漢人の移住を强行奬勵してからは漢人は潮のやうに內蒙古に流入した。中華民國成立以後も漢人移住奬勵策は持續されたので、土地の不足・生活の困難に苦しんでゐた漢人は續々と內蒙古に移住したのである。

漢人は農業民族であつて、遊牧民よりもより高度の經濟文化階梯にあり、しかも政府の保護奬勵があつたのだし、內蒙古各旗の王公が財政困難緩和のために盛に土地を賣却したりしたので、漢人は蒙古人を驅逐し、廣大な土地を獲得してこれを農耕地化したのである。しかも漢人の進出振りは恐ろしい程であつて、一八七二年には漢人部落は張家口の北方三、四哩の地點にあつたに過ぎないが、一九二一年には張家口の北方百哩までは殆んど全部が漢人部落で、

張家口から二百哩も北方に行つて始めて耕地がなくなる程である。それだけに蒙古民族の遊牧地域が狹められて、その生活が脅かされ、蒙古民族對漢人の對立はこれがために激化されるやうになつた。

このやうに今日の內蒙古には北方の蒙古民族、南方の漢人とがならんで居住し、北方の牧畜・南の農耕が二大產業となつてゐるのである。



內蒙古の雨量と氣溫

牧畜は蒙古人の生命であるが、漢人のために北方に驅逐されるにつれて牧地が減少して來る上に、氣候も不良となり、牧草も少くなつて來るので、最近は家畜は段々と減少してゐる。現在の家畜數は羊・山羊の四百十五萬、牛の百四十萬、馬の百三十八萬、駱駝の十六萬、合計六百九十八萬と計上されて、羊毛・皮革等は輸出されてゐる。

蒙古人遊牧生活の生んだ喇嘛教の「鋤を以て土中の蚯蚓を切ると眞福を得ない」と云ふ教へに盲信してゐる程で、農耕とは緣が餘りない。尤も內蒙古南部には半農・半牧の蒙古民族はゐるが、內蒙古の農業はやはり漢人の獨占といつてよい。內蒙古の農耕地帶は主に陰山山脈の南側にあり、殊に綏遠省では黃河と陰山山脈との間の東西に細長い地域に限られてゐる。陰山山脈の南部では夏季に降雨が比較的に多いので、農耕が開かれてゐるが、やはり雨には乏しく、殊に北に進むにつれて少くなるので、人工灌漑が進んで、井戶や用水運河が發達してゐる。井水灌漑は河川を利用することの出來ない地方、殊に張家口以南に普及してゐる。歸綏平野では地下十五呎乃至二十呎の淺い所で地下水が得られるので、察哈爾省だけで井水灌漑地は一萬二千畝に達する。

併し灌漑上重要なのは河川で、苟くも河川を利用し得る處では努めて用水路を作つてゐる。この河川利用の灌漑設備として天下に有名なのは河套水利事業である。

清朝の道元卅年に黃河が氾濫したために塔布河が生じ、そのために自然に灌漑が行はれ、土地が肥沃になつた。それで移民がこの地に集中し、耕地を開き、更に移民が協議して用水路を設けて、灌漑に供するやうになつたのが河套水利事業の嚆矢である。かくの如くに水利事業は最初は私人の事業として經營されたのであるが、光緒廿九年(明治卅六年)から官營として水利事業を始め、河套灌漑は大飛躍を遂げた。民國となつてからは經營を怠つたために荒廢に向つたが、最近は南京政府が修築するほか、新用水路も開設したと云ふ。かくて東西約四百支里、南北約百支里位の間では十一の幹線用水路のほか無數の用水路が開設され、黃河の水を利用して百萬畝の土地を灌漑してゐるといふ現狀である。

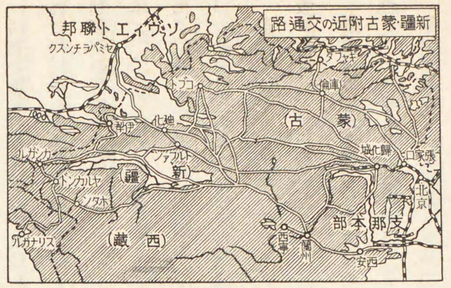
農產ではやはり米が一番多く、八千萬斤位の年產を示し、そのほかに大麥・小麥・高粱・粟・大豆・玉蜀黍・馬鈴薯等の產がある。

林產はないかと思ふと、さにあらず、タンニンの原料植物である櫪や栗があると云ふ。又藥草である甘草や麻黃を產し、一ケ年に夫々百萬圓以上も輸出されてゐる。

鑛物資源の第一は鐵鑛である。察哈爾省の宣化・龍關卽ち龍煙には九千萬トン以上の鐵鑛を埋藏し、埋藏量の多い點では支那第一である。最近漸く開拓に着手されることになつた。石炭は察哈爾省五千萬トン、綏遠省四億トンと云はれてゐるが、年產は二十萬トンに過ぎない。次にタブスノールやオルドス地方の鹽湖からは鹽や天然曹達を產し、

內蒙古の重要資源となつてゐる。

原始産業がこんな狀態だから工業の發達する餘地は先づない。主要な都市に雜貨の製造が僅かに行はれてゐる。たゞ張家口・厚和豪特・包頭等の主要都市に皮革工業・毛織工業・製粉業が行はれ、又豐鎭では植物油製造が行はれてゐる。



內蒙古の都市

張家口　萬里の長城の關門で、察哈爾省政府の所在地である。古來蒙古貿易の中心に當り、家畜・羊・皮等その他の農産物や畜産物を集散し、天津・ウランバートルとの取引が盛である。

宣化　北京より京綏線にて一六九粁、張家口より三九粁手前にあり、明代には對蒙防備の要地であつた。海拔二五〇〇尺の高原にあるが、農産物の集散地として市況が殷盛である。對蒙貿易は最近張家口に移つたので昔日の觀がない。

多倫諸爾　內蒙古の中央にあり、張家口から東北四六〇支里にある都會で、內蒙政治商業上の中心であるばかりでなく、二大喇嘛廟あつて活佛を戴いて居り、外蒙古の庫倫の活佛と相對して、宗教的にも二大中心をなしてゐる。張家口との間に自動車の便がある。

豐鎭　大同の北、京綏線に沿ふ都市で、綏遠省にある。農・畜産物の集散地で、人口は約五萬と云はれる。

平地泉　豐鎭の北方、京綏線に沿ふ都市、十年前までは無人の境であつたが、今は人口約一萬、附近物産の集散中心で、又ウランバートルに自動車道路を通ずる。

厚和豪特（ホホコト）　かつて歸綏とも稱された所で、今は蒙古聯盟自治政府の所在地である。鐵道をへだてて對立する歸化城と、綏遠城とから成り、人口は十萬と稱せられる。うち綏遠城にあるものは四―五千人で、他は歸化城と稱せられる部分に居住する。歸化城は附近及び外蒙古の物産の集散地で、商況が活潑である。

百靈廟　厚和豪特の北方に位し、ラマ教の廟地で、新疆省に至る道路の要地に當る。昭和十一年の綏遠事件で有名になつた地である。

包頭　北京からの京綏鐵道現在の終點で、北京から八一八粁、塞外西方の大都會である。黃河上流左岸を距る五支里に位し、土城を繞らす。人口は五―六萬、山西の移住民が多い。附近は新開の農耕地であり、農産物が豐かで、黃河埠類も鐵道車站も常に荷物山積の盛況である。

五原　內蒙古最西の都會で、包頭鎭の西方約二百哩の地點にある。蒙古沙漠の北部に位置し、附近一帶は土壤が肥沃で、開墾は漸く緖についた。附近農畜産物の集散地である。

內蒙古獨立運動の展開

支那事變を契機として內蒙古の獨立運動は活潑な展開を示すやうになつた。昭和十一年秋の所謂綏遠事件に於ては內蒙古の獨立運動は一大打擊を被つたのであるが、今回、卽ち昭和十二年十月二十八日を期し、國民政府より分離獨

立し、親日滿・防共の自治政府「蒙古聯盟自治政府」を樹立し、多年の宿願が達成されるに至つたのである。

遊牧民族たる蒙古人は嘗て成吉思汗に率ゐられて舊世界の大部分を征服したことがある。が清が起るに及んで、この慓悍な蒙古民族もとう〳〵その支配下に屬することになり、それが清朝滅亡まで續いた。其後中華民國になつても支那では內蒙古を自己の領土と主張して來た。これに對して內蒙古が中華民國の羈絆から脫しようと云ふのがこの內蒙古獨立運動である。

內蒙古獨立運動は結局遊牧民族の蒙古民族が農業民族の漢人の支配から脫しようと云ふ運動である。

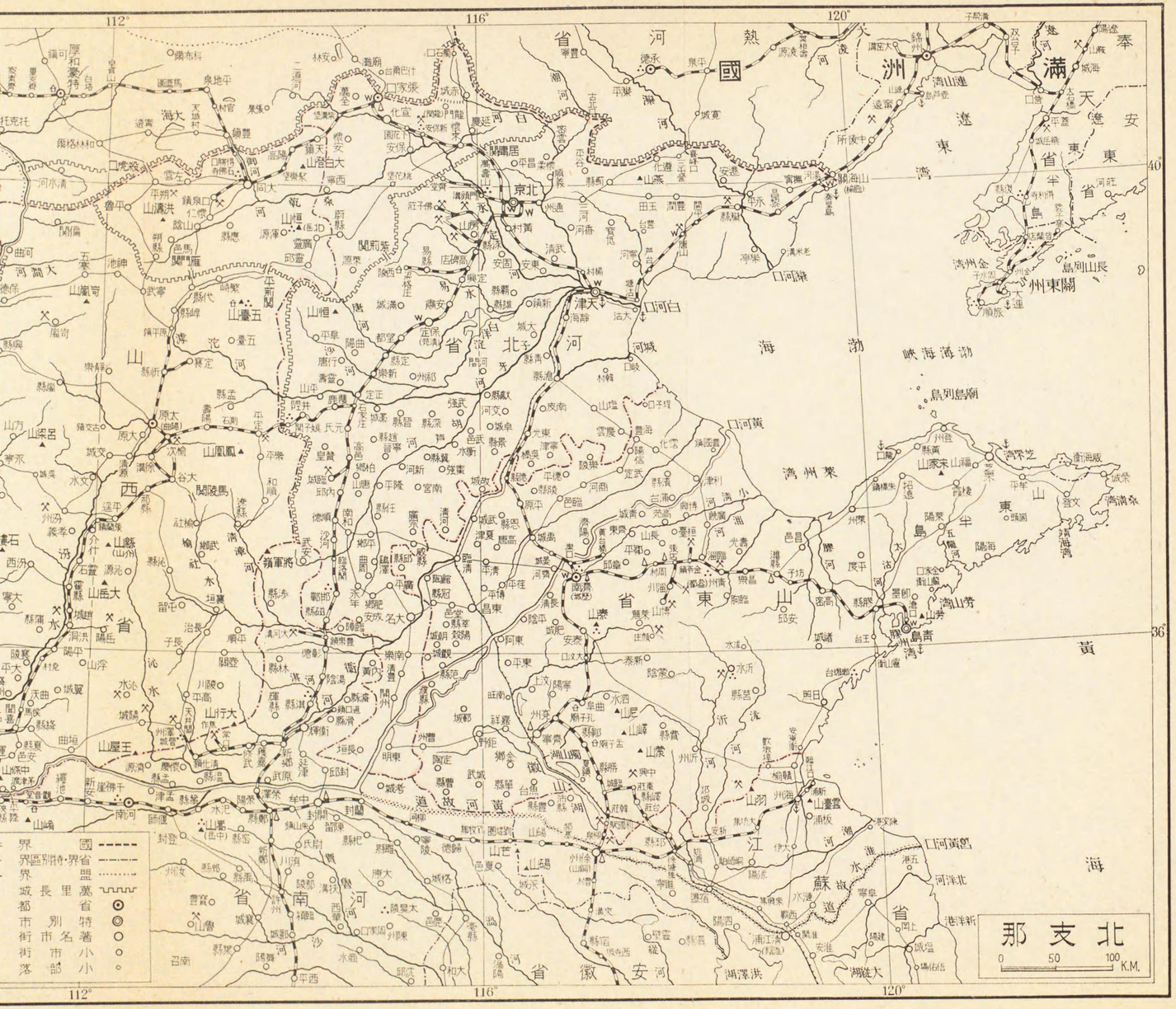
漢人農民の移住が增加するにつれて、蒙古人の遊牧地域が狹められ、それでなくても決して豐かではない蒙古人は漢人に追はれ北方に移るにつれて、土地の自然的條件が不良となり、それにつれて彼等の生活手段たる家畜は減少した。蒙古人のあるものは農耕を行ふやうになつたが、豐沃な土地は殆ど全く漢人に獨占されて居つたので、農耕知識に乏しい彼等は磽瘦な土地で僅かな作物を栽培しなければならなかつたのであつて、從つて蒙古人の遊牧地域は狹められ、彼等の生活の基礎が脅かされるに至つたのである。

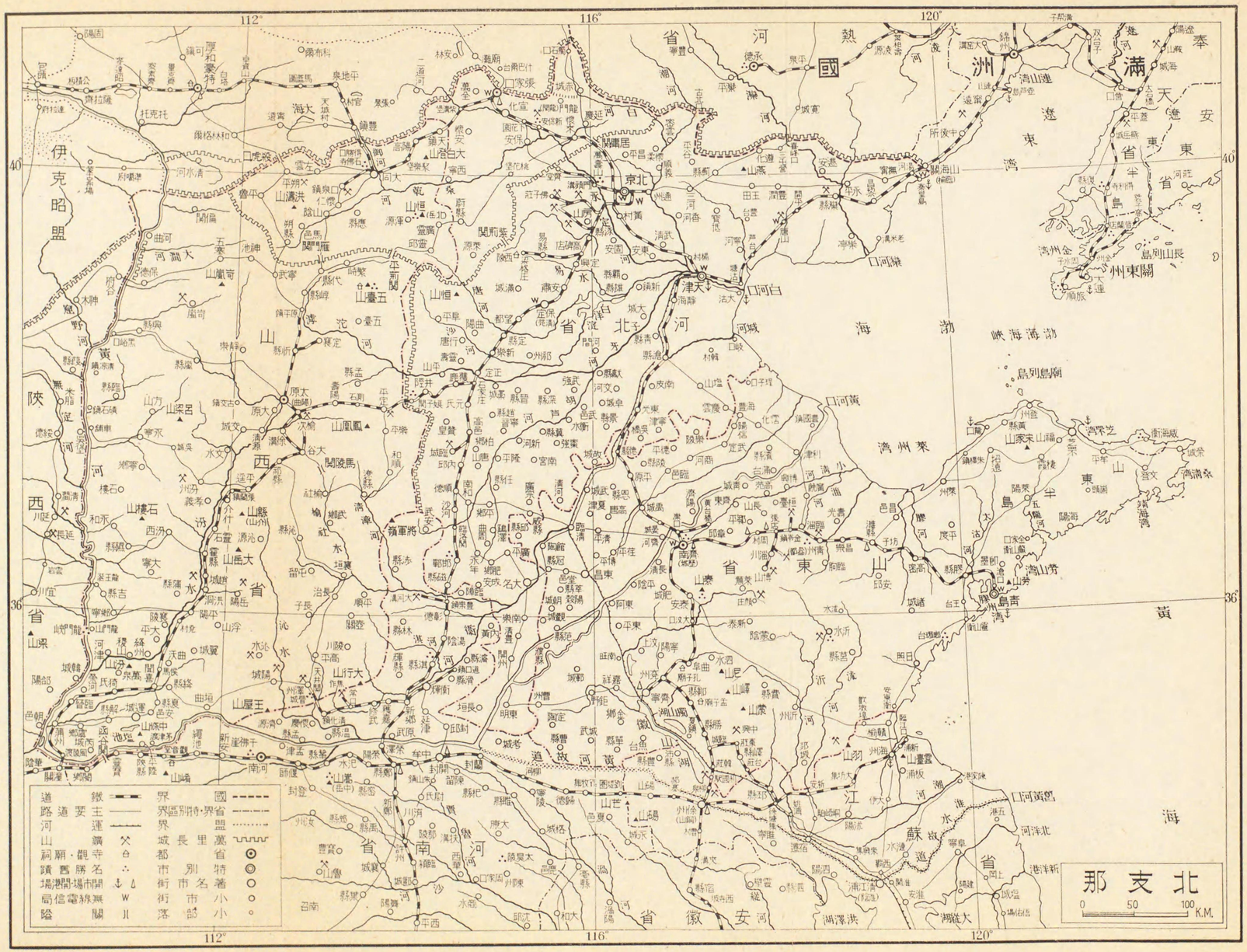
このやうな狀態にあつたので、蒙古人の漢人に對する反感が次第にたかまり、これが遂に自治獨立運動となつて展開するやうになつた。つまり內蒙古の自治獨立運動は永い歷史的な基礎と深い民族的な反感とを基礎とする民族運動にほかならないのである。而してこの內蒙古の自治獨立運動を促進したのが一九一一年及び一九二一年の外蒙古の獨立宣言である。一九一一年の獨立宣言の際には袁世凱の壓迫のために內蒙古の自治獨立運動は表面にはあらはれなかつたが、一九二一年の獨立宣言の際には內蒙古の青年達は續々と外蒙古に行き、外蒙古の先例を研究して、これに倣つて內蒙古の獨立を完成しようとした。然るに、外蒙古はソヴィエト化され、內蒙古自治獨立運動に活躍する青年達は共產革命に轉向するやうになつたので、內蒙古の王公達は自治獨立運動を却つて壓迫するやうになつた。丁度その頃支那には國民政府が勢力を得るやうになつたので、內蒙古の王公達は國民政府の指導下に內蒙の自治を達成しようと努めた。然るに、一九二九年に國民政府は內蒙古の自治を取消し、こゝに省制を施行したので、これが內蒙古の激しい反感を買ふこととなり、自治運動は完全な獨立運動にまで發展したのである。

更にこの內蒙古の自治獨立運動を刺戟したのは一九三二年の滿洲國の獨立、東部內蒙古三盟二十六旗の滿洲國への參加であつた。これによつて西部內蒙古は云はば取殘された形となつたのであつて、ここに於て彼等は日滿兩國の好意的な援助の下に南京政府から獨立することに決意したのである。そこで、一九三三年七月には內蒙古の王公は協議して內蒙自治政府の組織を決定し、同年九月には德王の名で南京政府に高度の自治を要求した。この高度の自治とは實質的には獨立にほかならなかつたので、南京政府はこれに驚愕し、極力蒙古王公の威嚇と懷柔とに努めた結果、一九三四年四月には兩者の間に妥協が成立し、南京政府は內蒙古の自治を原則として認めることになつた。ところがこの原則は南京中央會議で大修正が加へられ、蒙古の自治は全く骨拔きとなつてしまつた。そればかりでなく、南京政府は蒙古の王公や喇嘛僧を買收したり、威嚇したりして自治政府の成立を妨害したのである。併し一方では蒙古側の要求を納れて內蒙古自治原則八條を制定した。そしてこれに基いて一九三四年四月に蒙古地方自治政務委員會が組織されて烏蘭察布（ウランチャップ）盟々長の雲王が委員長に、錫林郭勒（シリンゴル）盟々長の索王、伊克昭（イクチョ）盟々長の沙王が副委員長に、德王が次席委員祕書長に任命された。この德王こそ內蒙古獨立運動の指導者である。

河
省
北
京
津
天
河
省
徽
安
河
白河口
河城
山
山
山

皇軍が北支・内蒙古に作戦するに及んで内蒙古軍もこれに呼應して軍事行動を起し、着々と戰果を收め、内蒙古人の内蒙古と云ふ彼等の宿願達成が約束されるに至つたのである。




112°
116°
120°
40°
36°
伊克昭盟
西
省
山
陝
河
北
京
津
天
海
渤
灣
島
半
東
遼
寧
滿
洲
國
熱
河
察
哈
爾
綏
遠
黃
海
江
蘇
安
徽
道
鐵
界
國
路道要主
界區別特界省
河運
界盟
山嶺
城長里萬
祠廟寺台
都省
蹟舊勝名
市別特
場港閘場市開
街市名著
局信電郵無
街市小
陰關
落部小
那支北
0 50 100 K.M.

第四章　シベリヤの自然と住民

一　シベリヤへの關心

日蘇の對立　滿蘇蒙の國境紛爭を契機として日蘇の對立關係は今や正に風雲を呼ばうとしてゐる。一觸卽發の危機とは正にこれをいふのであらう。かくて極東赤軍の擴充は加速度的に增大しつゝある。既に三十萬の大軍、一千二百臺の戰車、六百臺の裝甲自動車、一千二百臺の飛行機が滿蘇國境に接して集結せられ、又ウラヂヴォストックには潛水艦・軍艦數十隻の艦隊を建設してゐると傳へられる。そして一代の猛將ブリュッヘル元帥は滿洲國への前哨地點たるハバロフスクにあつて、この大軍を率ゐて日滿兩軍を攻擊し、滿洲國を赤化し、更に支那全土にまでその魔手を伸ばさうとして、虎視耽々その機會を窺つてゐるのである。

凡そ大軍を完全に維持するためにはその背後に强固な經濟的基礎がなければならぬ。經濟的基礎の薄弱な大軍は結局玩具の兵隊みたいなものである。しからば極東赤軍の經濟的基礎は如何。最近に於けるソヴィエトのシベリヤ經濟建設は極東赤軍の經濟的基礎の確立に重心をおいてゐることはいふまでもない。ではその經濟的建設が現在どの程度まで進行してゐるか、いやしくも日蘇關係の將來に關心をもつものは何をおいてもシベリヤの今日の經濟地理に正しい認識をもたなければならないのである。

一　シベリヤへの關心

日蘇關係沿革　元來シベリヤは我が國内地と接近し、且つ朝鮮と樺太とに於て境を接して居り、最近滿洲國成立以來は、これを介して彼我の關係は政治上・經濟上また軍事上益〻緊密の度を加へてゐる。彼我の政治上・經濟上・軍事上の關係は、極東に於てソヴィエト聯邦の勢力圈と我が國の勢力圈とが接觸してゐることから生ずるのである。かつて帝政ロシヤ時代に彼の勢力がシベリヤから更に南下して滿洲・朝鮮の地に及ぶに至つて、我が國の生存上死活の危險を生ずることになつたので日露戰役が勃發した。また大正七年にロシヤの内亂がシベリヤ一帶に波及するに及んで我が國は北樺太を一時軍事的に占領したことがある。その後國交が恢復して我が軍はシベリヤから悉く撤兵したが、大正十四年以來、所謂尼港事件の代償として我が國は北樺太の石炭・石油の採掘權をもつてゐる。また我が國は夙に條約によつて豆滿江の江口からベーリング海峽に至るシベリヤ沿海の漁業權をもつてゐる。年々夏季には多數の邦人漁業者がオホーツク海・カムチャツカ沿海等に出漁し、所謂北洋漁業として知られてをり、この地方は我が國北方の海の生命線となつてゐる。貿易も漸く盛んに行はれ、我が國は漁網・鐵製品・砂糖等を出し、木材を買つたのである。かくして我が國はウラヂヴォストック・ハバロフスク及びアレキサンドロフスクに領事館をおいてゐる。尚最近、從來ソヴィエト聯邦が滿洲にもつてゐた北滿鐵道は我が國の斡旋によつて滿洲國が買收することになつたのである。而してこれと共に北滿洲に於けるソヴィエト聯邦の勢力が一步退却してシベリヤに復歸したのである。

對立の激化　これによつて日蘇の關係は一時緩和したかに見えたのであるが、これはソヴィエト側の戰略的退却であつて、その後五ケ年計畫の進行、これと並行して强化された軍備の充實に伴つてソヴィエト側の對日滿政策は積極化され、上述のやうな大軍を滿蘇國境に接して集中し、その日滿兩國に對する挑戰的行爲は露骨を極めるやうになつたのである。最近世界の耳目を衝動したカンチャヅ事件を始めとしてソヴィエト側の不法行爲は實に枚擧に暇がない有樣であつて、正に文字通り一觸卽發の危機をはらんでゐるのである。

二　シベリヤの範圍

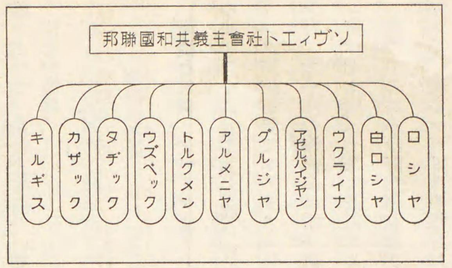
面積と人口　シベリヤはアジヤの北部を占め、西はウラル山脈によつてヨーロッパロシヤに境し、南は西から露領中央アジヤ・外蒙古共和國に接してゐる。その北は北極海に臨み、その東はオホーツク海及び日本海に臨み、又ベーリング海峽を隔てゝアラスカに對してゐる。外蒙古及び滿洲國との國境は約七千五百粁、北極海の海岸線は約一萬六千粁、太平洋の海岸線は約一萬二千五百粁である。緯度では大體北緯五十度以北を占め、その最北端のチェリュースキン岬は七七度三七分に及んでゐる。

從つてこれらの海岸線も餘りに北方的な位置を占めてゐるために、他國の場合のやうに重要な役割を果し得ない憾がある。卽ちシベリヤの海岸はロシヤに海への出口を與へないのであつて、このことはロシヤの國民經濟と政治文化との發達に消極的な作用を及ぼしてゐるのである。また南の國境は多くは山地と沙漠とになつてゐる。かくしてシベリヤは大體アジヤの北部といふ位置によく纏つてゐると同時に封鎖的な地理的地域をなしてゐるのである。

その面積は約一千三百萬方粁で、人口は大體千二百萬人となつてゐる。人口密度は一方粁に付一人餘で、極めて人口の少い地域である。人口が疎な上にその自然的條件たる北方的位置、寒冷な大陸性の氣候及び平原と臺地性とその

地形等に左右され、今日ソヴィエト聯邦が開發に絶大な力を注いでゐるにも拘はらず、この地域の開拓は未だ十分に行はれず、比較的貧弱な産業經濟が行はれてゐるのである。

行政區劃　シベリヤは今日ではすべてソヴィエト聯邦の盟主であるロシヤ共和國に屬して居り、その行政區劃は次のやうに分かれてゐる。



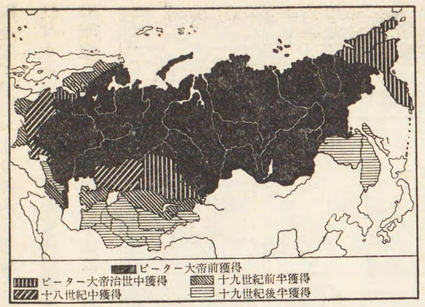
㈠直轄地域
1オムスク州　首府オムスク
2西部シベリヤ地方　首府ノヴォシビルスク　オイラート自治州もこれに屬する。
3クラスノヤルスク地方　首府クラスノヤルスク　ハカッス自治州もこれに屬する。
4東部シベリヤ地方　首府イルクーツク
5極東地方　首府ハバロフスク　ビロビヂャンユダヤ人自治州もこれに屬する。

㈡自治地域
1ヤクート自治共和國　首府ヤクーツク
2ブリヤートモンゴル自治共和國　首府ウランウダ

このほか地理上でシベリヤといはれてゐる地域にはスヴェルドロフスク州、チェリヤビンスク州があるが、この二州は一部分はヨーロッパにも及んでゐるのである。

三　帝政ロシヤのシベリヤ侵略

侵略の端初　帝政ロシヤのシベリヤ侵略は一五五八年にイヴァン四世がグレゴリー・ストロノゴフにウラル山脈の東麓の土地を與へたのに端を發してゐる。而してストロノゴフはヴォルガ河沿岸地方のコサックの酋長のイェルマク・チモフェヴィチに命じて兵を率ゐてシベリヤ侵略の途に上らしめたのである。

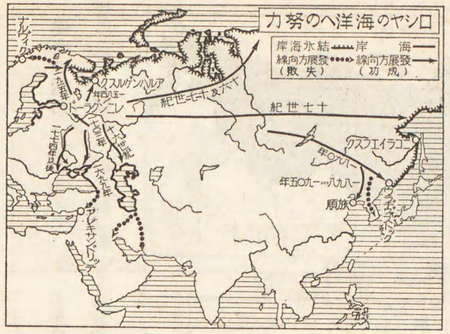


帝政ロシヤの擴大

當時シベリヤのオビ・イェニセイ兩河の地方はクチュム汗の支配下にあつた。このクチュム汗は蒙古の拔都（バツ）の弟の昔班（シバン）の後裔に當つて居り、今のトボルスクの上流十六露里のイルチシュ河に沿つたシビルと云ふ町に都を構へて居つた。シビルはイスケルとも云はれ、シベリヤと云ふ名稱はこのシビルから起つたと稱されてゐる。

イェルマクはウラルから東に進んでシビルを占領し、クチュム汗を亡ぼし、この地方をイヴァン四世に獻上した。而もイヴァン四世はイェルマクの要請を容れて援軍を與へ、更に東へ東へと兵を進めてシベリヤの侵略を續けて行つたのである。卽ち一五八七年にはトボルスクの町を建てて東方經略の策源地とし、更に清朝の初期にはトムスク・イェニセイスク・ヤクーツクと云ふやうな

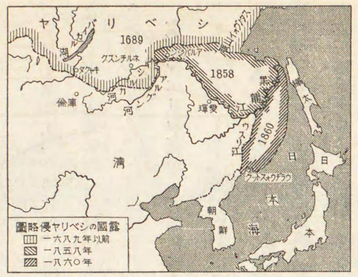
町を建て、シベリヤ經營の根據とし、遂に一六三三年頃にはロシヤの探檢隊はカムチャツカ半島に達した。これからはロシヤは更に南に下つて今の滿洲に向つたのである。卽ち一六四三年にはロシヤの探檢隊は黑龍江、卽ちアムール川流域に現れ、一六四九年にはハバロフがこの地方に遠征を行ひ、更に一六六三年にはアルバジンに到達し、こゝに築城して滿洲を經略しようと企てるやうになつたのである。



露清の交涉　この時は清朝の康熙帝の時代であつた。清ではロシヤに對してアルバジンから退去することを要求したのであるが、ロシヤではこれに應じなかつた。そこで一六八五年に清では兵を派してアルバジンを包圍し、遂にこれを陷れ、ロシヤ兵をネルチンスクに退かせた。併し清軍が引下つたので、ロシヤ兵は早速再びアルバジンに入つて築城した。そこで清は再び兵を派遣してアルバジンを攻めたのであるが、城が陷らないうちにロシヤ・清の間に國境協定を行ふこととなり、清は兵を撤した。そしてその結果成立したのが、一六八九年のネルチンスク條約で、この條約によればロシヤ・清の境界はケルベチ川の水源から東方海に達するまでの間に延びてゐる大興安嶺と黑龍江に入るアルグン川とを以て劃することとなり、それ以北はロシヤに、それ以南は清に屬することとなつたのである。

ロシヤの侵略　これによつて露・清の國境は一應確定したのであるが、領土的侵略主義の權化とも云ふべきロシヤは

これに滿足するやうなことは絕對になかつたのである。卽ち一八三九年に阿片戰爭が起り、その結果イギリスが支那に於て種々なる權益を得たのを見て、ロシヤの皇帝ニコラス一世は强壓的な對清政策を取ることに決し、ムラヴィヨフをシベリヤ總督に任じて、東方の經略に當らしめた。そこでムラヴィヨフは清が長髮賊の亂に苦しんでゐるのに乘じて清に國境の改訂を迫り、遂に一八五八年に愛琿條約を結び、アムール川以北の土地を清から奪取し、又アムール川の支流のウスリー江以東の土地の沿海州を露・清の共同管理とし、國境河川のアムール川は露・清兩國の船舶の自由航行が認められることとなつたのである。



次に一八六〇年には露シヤは清と北京條約を結び、清をして愛琿條約を確認せしめると同時に、愛琿條約では露・清共同管理となつて居つたウスリー江以東の沿海州をロシヤ領とすることを承認せしめたのである。かくして陸續きに不凍港を求めてひたすらに領土侵略に邁進し續けたロシヤは遂に日本海に出口を獲得することとなり、一八六一年には烟春條約を結んで愛琿・北京條約による國境を確認せしめたのである。

かくて、十九世紀後半を以て今日ソヴィエト聯邦領とされてゐるシベリヤは全くロシヤの領土となつたのである。而して上に述べたことによつてわかる通りに、ロシヤのシベリヤ侵略は常に實力を以て行はれたのであつて、殊に清

に對する政策は非道を極めたものである。かくて今日日滿と關係の深い極東地方の如きは全く清から奪取したものにほかならないのである。

四　シベリヤの地勢

南の臺地、北の低地

シベリヤの地形の特徴は、南部に高くて北部に至るに從つて低くなることを第一とし、イェニセイ川の斷層谷を境として東の山地と西の平原とに區劃せられることが第二である。卽ち地形上シベリヤは西部シベリヤと東部シベリヤとに分けて見ることが出來るのである。

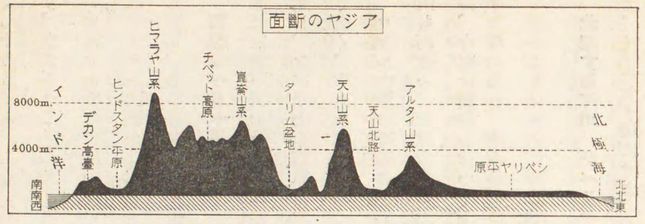
東部シベリヤ臺地　東部シベリヤ臺地は南部に高く、北部に漸次低下する傾動地帶であると見ることが出來る。そしてレナ川・ヤナ川等の大河がこの臺地を浸蝕して北流してゐる。南部の高地には北東から南西に走る多くの斷層線があつて、數多の地壘・地溝及び斷層谷を生じてゐる。かのバイカル湖は二つの地溝が重なつた所に水がたまつて出來た湖である。南西部には略ゝ東西に走るアルタイ山脈と東西兩サヤン山脈とが連なつて居り、その東緣から北東にかけてはヤブロノイ高原がある。

アルタイ山脈は支那との國境にあり、金が豐かであるので金山とも稱せられる。南アルタイ・中央アルタイ・サイリュゲム・蒙古アルタイの四部に分れるが、蒙古アルタイは支那に屬するのでこれを除き、ソ聯邦領のアルタイつまりロシヤアルタイは三部に分かれるわけである。南アルタイの最高峰はキイトキンの四、五〇〇米、中央アルタイは二千三百米内外ばかりであるが、その一脈のカトウンスキー山脈はソ聯邦アルタイ中の最高山脈で、平均高度が三、〇〇〇米、全山脈を通じて山頂は萬年雪に蔽はれてゐる。サイリュゲム山脈は支那との國境にある。この山脈は古代の褶曲山脈が一度準平原となり、それが隆起したものである。

アルタイ山脈に連つてシベリヤと蒙古への境にはサヤン山脈が連なり、ムンクウ・サルドキクの如き三千四百米ばかりの高峯が聳えてゐる。

ヤブロノイ高原の東緣はヤブロノイ山脈で、この山脈は蒙古との國境に起り、レナ川と黑龍江との分水嶺をなして北東に走つてゐる。脈中のソホンド山は海拔二、四五〇米に達してゐるが、併し一般に斷續せる高原性丘陵の觀を呈してゐるのである。

このヤブロノイ山脈の東に大興安嶺とスタノヴォイ山脈とが南北に走つて階段狀の山地を作つてゐる。スタノヴォイ山脈は南西部のヤブロノイ山脈から起り、極東地方とヤクーツク國との境をなしてチュクチ半島に至り、北極海斜面と太平洋斜面との分水界をなしてゐる。又ヴェルホヤンスク山脈はこのスタノヴォイ山脈から起つて弓狀にレナ川に沿うて北西に走り、レナ河口の東で海に沒してゐる。スタノヴォイ山脈とゼーヤ川との中間にはアムールゼーヤの高原が出來て居り、ブレーヤ川の東には小興安嶺が延び、オホーツク海まで



及んでゐる。この小興安嶺の東は黒龍江下流の平野である。更に黒龍江と日本海との間にはシホタアリン山脈があり、ウラヂウォストックと黒龍江との入江の間に連亙し、その西斜面にウスリーの平野を殘してゐる。

次にオホーツク海沿岸の北方にはアルダン山脈が海岸近く走つてその北にコリマ山脈が續き、アナヂル川の上流にはアナヂル山脈が北極海とアナヂル灣との分水嶺をなしてゐる。カムチャツカ半島には中央を南北に脊梁山脈が走つて居り、その東海岸にも東部山脈があつて幾多の火山を作つてゐるる。

西部シベリヤ平原　シベリヤの西部を占め、西はウラル山脈に限られた一帶の大平原、南部は肥沃な草原であるが、北部は地下五十米まで凍結する凍土帶となつてゐる。オビ川がその大動脈をなして北流して南部に肥沃な黒土帶を展開し、シベリヤの寶庫をなしてゐる。西部シベリヤ平原は地形上所謂準平原で、殊にセミパラチンスク附近では極めて低く、その生成も新しく、世界にも珍らしいものである。

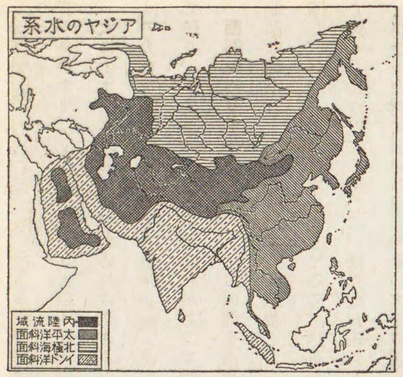
ウラル山脈は歐亞の境界に亙つて走り、南北の長さは凡そ二、四〇〇粁ある。高度は極めて低く、最高峰のテルポス山も高度一、六五六米に過ぎない。この山脈は古生代の二疊紀に褶曲を行ひ、その後の侵蝕によつて平坦化したものが、今度は斷層を伴つて上昇して出來たものである。

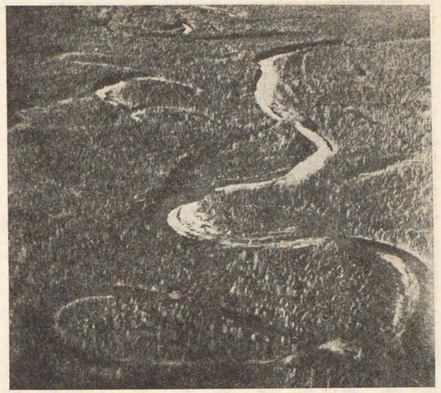
北流する河川

北流する河川　シベリヤの河川は何れも南部の山地に發源し、北に向つて流れ、北極海に注いでゐる。オビ川にせよ、イェニセイ川にせよ、レナ川にせよ、皆然りである。たゞ一つの例外をなすのは滿蘇の國境河川として天下に有名なアムール川卽ち黒龍江のみで、この川は東流してゐるのである。廣大な面積をもつシベリヤの大平原を流れなければ海に注ぎ得ないことゝて、この地方には大河が頗る多いのである。

オビ川はオブ川ともいふ。上流は主として小アルタイ山脈に發するビヤ川・カッニヤ川から成り、北西に流れて北に轉じ、大きな三角洲をなしてオビ灣に注いでゐる。全長五、二〇〇粁、流域面積は二九五萬方粁となつてゐる。支流にイルチシ・チュリム・トム等の諸河がある。不凍結期は上流では一七〇日乃至一八五日、下流で一四〇日乃至一六〇日である。夏秋はビイスクまで、盛夏には河口まで航行の便があり、一九一九年以來小型汽船による定期航通が行はれてゐる。尙この川は長さ九粁の運河によつてイェニセイ川に通じてゐる。

アムール川（黒龍江）の上流は興安嶺の北部ハイラル邊に發源するアルグン川とシベリヤを灌漑するシル川との二分流に分れて居り、この二川が合して、滿洲國北境を流れ、ゼーヤ川及びブレーヤ川を合し、次いで臨江の附近に於いて南西から來る松花江を合せ、更にハバロフスク附近で南方より來るウスリー江を受けて北流し、間宮海峽に注いでゐる。全長は四、四八〇粁、河水は黒土を含有して灰黒色を呈するため、古來黒水の稱がある。十月より翌年五月まで凍結するが、水運の便が大で、汽船の可航距離は三千粁に達してゐる。尙この河川は滿蘇國境として係爭を生じ易く、軍事上重要な意味をもつて居り、滿洲國はこゝに江防艦を





シベリヤの大森林と曲流する河川

浮べてゐるのである。

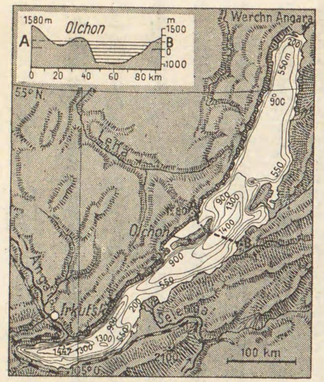
イェニセイ川の上流はタンヌツウァ共和國に於てヘイケム・ファケムの二源流に分れ、これが相合してウルケム川となり、サヤン山脈を横切つて北西流し、クラスノヤルスクからシベリヤ平原に出でイェニセイ灣に注いでゐる。全長五、二〇〇粁、流域面積は二五九萬方粁である。河口から二、九六六粁の上流ミヌシンスクまで河用汽船が溯航する。併しこれは六月乃至十月の凍結しない期間にのみ限られる。

レナ川はバイカル湖の西方に起り、始め北東流して北に折れ、四十五派、七主派に分れて面積二萬八千方粁の大三角洲を作つてノルデンショルド海に注いでゐる。全長四、六〇〇粁、流域面積は二三八萬方粁である。支流にビチム・オレクマ・アルダン・ビリウイ川等がある。キレンスク・ヤクーツクの間は夏・秋の五―六ケ月に亙つて汽船を通はしめる。

河川の長所と短所　シベリヤの大河は大平原中を緩流し、水量も多いので、古くから交通路として利用されて來た。鐵道の敷設されない時代は勿論のこと、敷設された後に於ても盛んに利用されて來たのである。が、その缺點としては第一に冬季凍結することである。上に述べたやうに半年も凍ることがあるのである。それに大河が皆氷の海の北極海に注いでゐることも大きな缺點である。つまりシベリヤの河川は世界の海との連絡がないと云つても差支へないのである。尤も最近北極航路の開設に力が注がれてはゐるが、依然としてこの連絡は不充分なのである。

このやうに缺點をもつてゐるので、シベリヤの河川は長大な割合に交通の發達に、産業文化の發展に資する所が割合に少いのである。

湖沼



バイカル湖

バイカル湖　湖沼として著しいのは南部の山地にあるバイカル湖である。バイカル湖はバイカル山脈又はプレモリスキー山脈の東方に位する陷沒湖である。長さ八一粁、幅八粁、面積約三萬三千方粁、世界第七位、東半球最大の淡水湖で、我が臺灣島位の大きさである。最深所は一、六一〇米に達し、世界最深の湖である。セレンガ川その他の河川を受け、アンガラ川によつてイェニセイ川に排水してゐる。冬季は十一月中旬から五月中旬まで結氷し、氷の厚さは一・五米に及び、しかも極めて堅く氷結するので、かつて氷上に鐵道を敷設したことがある。湖の附近はシベリヤ鐵道沿線中最も景勝の土地である。

閉ざされた海岸

北極海方面　海岸の出入は大體に於て多い方と云ふことが出來よう。先づ北極海から見るに、元來北極海は大西洋の一部と見られることがあり、又五大洋の一つとして北氷洋と呼ばれることもある。面積は凡そ一、四〇九萬方粁で、平均水深は一、二〇〇米となつてゐる。この海の西端にはヤルマル山半島が突出し、その西にカラ海、東にはオビ川の三角江のオビ灣が南に向つて入り込んでゐる。その東方に突出してゐる半島がタイミル半島であり、その東にはノルデンショルド海があり、更にハタンガ灣・ヤナ灣・チヤウン灣等も彎入してゐる。東端はチュクチ半島となり、ベーリング海峽を隔てゝ、アラスカに對してゐる。ベーリング海は面積二二七萬方粁に近く、水深は最大五、七〇〇米（北緯五四度五〇分東經一六三度四六分）で、平均一、四四〇米ある。ベーリング海峽と共に探檢者のデンマーク人ベーリングに因んで命名したものである。

又北極海上の島としてはノルデンショルド海の東を限りて新シベリヤ諸島・リアホフ諸島は北と南とに並んで居り、この兩者を合してニューシベリヤとも稱されることがある。最大島はコレルニ島で、その最高點はマラカチンタス山で、海拔一千二百呎である。褐炭の埋藏があるといはれてゐる。又ウランゲル島は面積四千六百八十方粁の島で、一八六七年にドロングが發見したもので、米・加の間に領有問題が起つたことがあるが、ロシヤが自國領としてしまつたのである。

太平洋方面　ベーリング海峽を通つて太平洋方面に入ると先づカムチャツカ半島が突出してベーリング海とオホーツク海とを分つてゐる。ベーリング海峽は北極海とベーリング海とを連ね、アジヤと北アメリカとの間にある。長さ六〇粁、幅三五粁で、可航部に於ける深さは最大五七米、最小三七米となつてゐる。

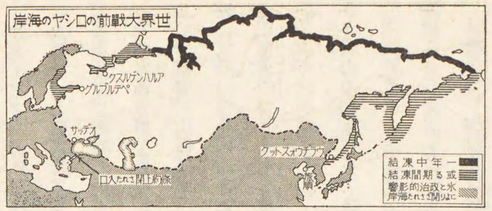
オホーツク海の面積は凡そ百五十三萬方粁、水深は最大三、三七〇米で、平均一、二八〇米である。

カムチャツカ半島はアジヤ大陸東北部の大半島で、オホーツク海とベーリング海との間に横はり、域内は山嶽が重疊してゐるのである。即ち中央カムチャツカ山脈が半島の中央部を南北に走つて、半島を東部と西部とに分つ脊梁山脈となつてゐるのである。更に半島の東部にあつては、東山脈が中央山脈に並行して走り、又多數の支脈を派生してゐるのである。山岳は三千呎乃至五千呎と云ふから、夫程高いわけではないが、著しく嶮岨である。しかしてカムチャツカには我が千島列島を走る千島火山帶の延長である火山帶が走つて、數多の火山を噴出させて居り、現に活火山が十七、休火山が五十七も數へられるのである。活火山のうちではアワチンスカヤ・クロノツカヤ（三、三三二米）・クリュチェフスカヤ（五、〇〇〇米）等が有名であり、殊にクリュチェフスカヤ火山の如きはユーラジヤ最高の火山として有名である。又この火山帶に沿うて幾多の溫泉が湧出してゐる。

尙カムチャツカ半島の東方にはコマンドル島がある。コマンドル島はカムチャツカ半島の東約二百粁の地點にあり、面積は一、七三四方粁あつて、ベーリング島・ミエドニ島その他の二島から成り、海獸の棲息地として有名である。

オホーツク海沿岸は割合に單調であるが、その東部に一つの島がある。これが樺太島であり、樺太島と大陸との間には間宮海峽を狹んでゐる。間宮海峽は次第に南方に擴大して日本海に注いでゐる。日本海岸も又單調であつて、僅かに南にピーター大帝灣、北にソヴィエト灣（インペラトール灣）があるのである。

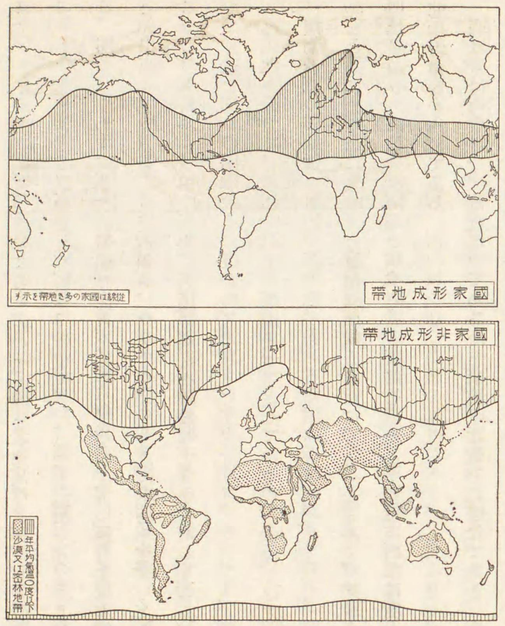
海岸の缺點　かくの如くにシベリヤは北極海及び太平洋に長い海岸線をもち、その延長は北極海が約一萬六千粁、太平洋が一萬二千五百粁に及んでゐるのであるが、北方的位置に伴ふ寒冷氣候の作用としてその海岸はすべて冬季凍結するのである。殊に北極海岸は甚だしいのであつて、殆んど一ケ年中船舶の航行を許容しない程であつて、この二―三年ソヴィエト當局がこの航路の開拓に力を盡し、夏季には船舶の往來を見るが、それは常に強力な探氷船の助けを借りてゐるのである。シベリヤを占領し、ウラヂヴォストックに軍港を建設した帝政ロシヤが關東州を手に入れ、旅順に軍港を、大連に商港を建設しようとしたのもこれによつて首肯できるのである。



五　シベリヤの氣候

寒冷な氣候　氣候はどうかといふに、シベリヤの氣候の特性は、要するに極寒といふことに盡きる。これは第一にその地方的な緯度上の位置により、第二にはその地形が南には南の風を防ぐ山脈の障壁があり、又北は北極海に向つて傾斜してこれに開いてゐるから、從つて北極海の寒流の影響を直接受けるといふことによる。かくてレナ川・ヤナ川の流域には世界最寒の地帶があり、零下五十度に及ぶ極端な氣溫を示してゐる。卽ちヴェルホヤンスクでは最低氣溫零下四八・八度、ヤークツクの一月の平均氣溫は零下四一・八度、七・八月には一七・三度である。シベリヤ全體としては一年の平均氣溫は大體零度以下となつてゐるのである。

西部シベリヤは東部シベリヤに比して幾分氣候が溫和で、その南方のキルギス草地やアラル海附近では夏季はかなり溫度が上昇する。この氣候がこの地方をソ聯邦の穀倉を作らしめる主因をなしてゐるのである。これに反して北部の北極海に面する地域は寒風を阻ぎる山脈を缺くので殆ど年中凍結する寒さである。而してその寒さの程度は海岸に沿うて流れてゐる北極圈からの寒流に左右されてゐる。殊にこの地方に一度び吹雪の荒れる時には旬日に亙つて實に暗澹たる光景を呈し、自然の威力の下には何物も抵抗し難いやうな暴威を振ふのである。次にシベリヤ中部に於ける氣候は高度が大なるため、その變化が激しく、處によつては降雨も相當ある。バイカル湖附近はシベリヤの高地では一年の平均氣溫の最も低い所である。東部沿海州附近は夏は海洋の影響で濕潤な氣候となつてゐるが、冬は大陸からの寒風を受けて乾燥寒冷な氣候となる。要

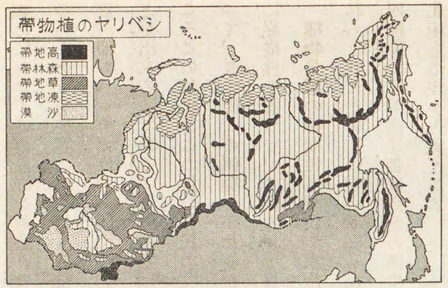


するにシベリヤの氣候は極端な寒冷と大陸性がその特徴となつてゐるのである。かくして夏が短くて冬が長く、九月には既に冬が始まつて寒風が肌を裂き、白雪皚々たる光景となり、河川はすべて十一月には結氷して、犬橇や馴鹿橇またはトロイカの良好な通路となる。そして人間はシュウバを着て辛うじて寒さを防ぎ、また住家の中にはロシヤ特有のペーチカを裝置して寒氣に對抗せねばならない。寒氣が嚴しいのでロシヤ人は特殊な暖房裝置を作りあげたのである。卽ちペーチカは朝一回又は朝夕焚けば終日華氏六—七〇度に溫度を保つので、よく零下何十度の寒さをも防ぐことが出來るのである。この嚴寒はシベリヤに於ける人間の活動を著しく不活潑ならしめることは爭はれない。さればこそこの氣候はこの地の住民の文化建設、國家建設の營みに對して著しい妨害と困難とを與へてゐることも明瞭であつて、長い間この困難の下に置かれて來たロシヤの住民は、今日では丁度印度人がモンスーンの威力に對すると同樣に忍從性を養つて、これを以て民族性の一つとしてゐるのである。

植物景觀の帶狀性　氣候の寒冷性が與へる作用はこればかりでなく、同時にまた南から北への傾斜により、更にこれらと共にその上に支配する氣候的要因の變化によつて高地帶・草地帶・森林帶・凍地帶の四地帶が出來てゐる。この四地帶のうち高地帶は南部の國境附近の東部を占め、草地帶は西部に廣く、森林帶は地域の大部分を占め、凍土帶は北極海沿岸を占めてゐる。

高地帶は南東部で、高度が大であるから氣候が比較的に寒冷である。森林は少くないが、沿岸地方又は大河の流域を除けば交通が不便で利用價値がない。併し高地帶の重要さはその鑛物資源にある。尙アムール川の沿岸やバイカル湖附近には若干の農業地帶がある。

草地帶は北緯五七度以南のバラバ・ミヌシンスク等の平野をいふ。殊にバラバ草原は地味が肥沃で、雨量は相當にあるが、氣溫が割合に高いので比較的に乾燥して草原となつたものである。短い夏季にも日照時間が長いので高溫となり農牧に適する。殊に夏の降雨によつて春小麥の栽培が行はれ、この地方は世界の小麥產地たるべく約束されてゐる。かくしてシベリヤ中最も農牧の盛んな地方となつてゐるのである。



森林帶は大體北緯五七度から六二度に至る東西四千粁以上、南北は約千粁の廣大な地域で、タイガと呼ばれてゐる。雨量が多く夏季の濕潤が激しいが、冬は土地が堅く結氷して狩獵人の運動を便にする。主な樹種は松・樅・落葉松等で、樺・赤楊・柳等がこれに混つてゐる。併しこれらは鐵道と水運との便のある僅かの地帶を除いては殆ど開發されてゐない。今日この地帶の重要さは寧ろ森林を棲家とする黑貂・栗鼠・兎・熊・貉等の獵獸で、狩獵人がこれらを狩獵して獸皮をとり、この地方の主要な產物としてゐるのである。

凍地帶は大體北緯六二度以北、北極海の海岸に至る地帶である。寒氣が嚴しいのと雨が少いのとで森林を生せず、冬は土地が凍結してその層は北極海岸では二百米にも達する。そして夏季はその表面一米內外が融けて濕潤となり、僅かに蘚苔の類が生じ、凹所の水の溜る處には水蘚が生じてゐるに過ぎない。この地方は土人が馴鹿の遊牧とか漁獵とかを行つてゐる最も原始的な經濟空間となつてゐるのである。

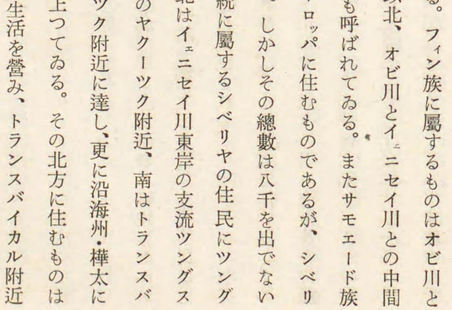
かくて氣候と地形とは凍地帶・森林帶・草地帶・高地帶の四つの地帶に夫々異つた經濟價値を生ぜしめ、殊に農林產物に豫めその種類と量とを限定して、この地方住民の經濟を一定の方向に向はしめてゐるのである。

六　シベリヤの住民

シベリヤ北部の土人の住家

シベリヤの人口は一千二百萬で、その九割はヨーロッパから移住したロシヤ人即ちスラヴ族が占めて居り、原住民は約一割に過ぎない。原住民は古アジヤ族・ウラルアルタイ族・トルコ族とに大別される。

古アジヤ族　この族はアジヤ最古の民族で、多くは凍地帶に住んでゐる。その總數は三萬前後に過ぎない。海岸・沿岸に占居する者は海獸等を狩獵して生活し、一部は馴鹿の遊牧をなしてゐる。大部分は北部シベリヤの東半イェニセイ川以東ベーリング海・カムチャツカに至る地方に住み、一部は黑龍江流域、沿海州にも分布する。カムチャツカ南半のカムチャツカ族の二千人餘、アナヂル半島附近のチュクチ族の約一萬人、アナヂル灣から南方一帶に住むコリヤーク族の一萬前後、ベーリング海峽中の島嶼に住むエスキモー族の二—三千人、イェニセイ川下流からその支流ツウングスカ川の流域にかけて分布するオスチヤク族の一千人前後、アムール灣沿岸から北樺太へかけてのギリヤーク族の二—三千人等がその主なものである。これ等はいづれも最も原始的な狩獵や牧畜によつて生活するもので、農業を知らない民族である。



古アジヤ族

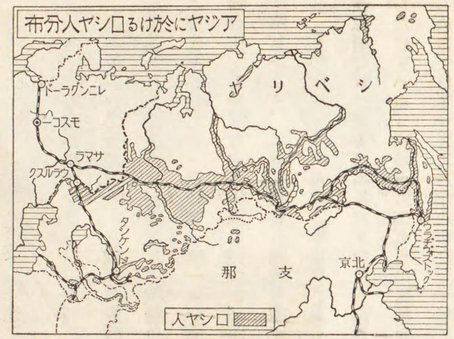
ウラルアルタイ族　この民族は蒙古族であり、フィン族とサモエード族とがこれに屬し、古アジヤ民族と同樣に凍地帶で、馴鹿の遊牧をなして生活してゐる。フィン族に屬するものはオビ川とイルチシュ川との會合點、トボルスク以北、オビ川とイェニセイ川との中間に占居して居り、オビ・オスチャク族とも呼ばれてゐる。またサモエード族はフィン族と同じくその大部分は北ヨーロッパに住むものであるが、シベリヤではウラル附近に多く居住してゐる。しかしその總數は八千を出でないといはれてゐる。ウラル・アルタイ系統に屬するシベリヤの住民にツングース族がある。その分布は甚だ廣く、北はイェニセイ川東岸の支流ツングースカ川流域の凍地帶から東はレナ川上流のヤクーツク附近、南はトランスバイカル及びアンガラ川上流のイルクーツク附近に達し、更に沿海州・樺太にも分布して、その總數は可成り多數に上つてゐる。その北方に住むものは馴鹿をもつて居り、半牧・半漁の原始的生活を營み、トランスバイカル附近及び東部では漁獵又は馴鹿等の牧畜を行つて居り、その一部には農業を營むものもある。この民族はヤクート族と共にヤクーツク自治共和國の中樞をなしてゐる。バイカル地方に住んでゐるブリヤート人も狹義の蒙古族に屬してゐ

て、これは草原の遊牧の民である。このブリヤート人は總數約二十萬を以て、ブリヤートモンゴル自治共和國を作つてゐるのである。

シベリヤ土人

トルコ族　次にトルコ族は西シベリヤのタタール族・キルギス族・ヤクート族等から成つて居り、何れも草原の遊牧民である。タタール族はアルタイ山脈からオビ川上流のトボルスクへかけて分布し、一部は定住して農民となつてゐる。キルギス族は主としてバイカル湖の西から中央アジヤに屬するキルギス草原にかけて多い。ヤクート族はレナ川の上流ヤクーツク附近に住み、商人となつて全シベリヤに分散してシベリヤのユダヤ人と稱せられてゐるのである。

スラヴ族　以上の原住民のほかに新來のスラヴ族卽ちロシヤ人がある。ロシヤ人がシベリヤに侵入し始めたのは一五八一年イェルマク(Yermok)がコサック騎兵を率ゐてオビ川の流域を占領したのに始まり、十七世紀には更に四方にその勢力を張つて諸族を懷柔した。かくて一六一八年にはイェニセイスク、一六三六年にはヤクーツク、一六五一年にはイルクーツクの地に要塞と町とを築いたのである。更に一六八九年のネルチンスク條約、一七二七年のキヤフタ條約によつて黑龍江に達し、十九世紀に至つて沿海州を掌握するに至つたのである。併しロシヤ人がこの地方に增加するに至つたのは一八九六年の農奴開放及びそれ以前から行はれた政治犯人の移住以來のことで、十九世紀の末にはシベリヤに追放された流罪者の數は十五萬人を算してゐた。更にこれ以後自由移民も盛んに移住するやうになり、世界大戰前には一千萬人に達してゐた。殊にシベリヤ鐵道の開通によつて移民は多くなり、今日では殆んど九百萬人近くの人口が大部分シベリヤ鐵道その他の鐵道沿線に住んでゐる。併し全體として見ればシベリヤの人口は未だ甚だ稀薄である。卽ちヤクーツク地方、カムチャツカ地方では每一〇方粁につき一人の割合に過ぎず、オビ川上流のトムスク地方でも一方粁四人前後であり、バルナウル地方では七人、最も人口の多いクルガンの地方でも每平方粁十五人前後に過ぎない狀態であつて、シベリヤ全體としては一方粁一人しか當つてゐないのである。



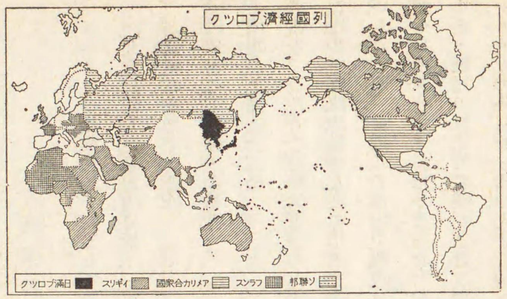
朝鮮族・漢族　これ等のほか外來の異民族とも稱すべき朝鮮族や漢族も相當にシベリヤ、殊に極東地方に居住してゐる。殊に朝鮮人は八萬七千人に達し、沿海州や黑龍州に居住して概ね農業に從事する。極東地方の水田は彼等の開墾したものである。又支那人は約九萬二千人ばかりゐる。

第五章　シベリヤの産業と交通

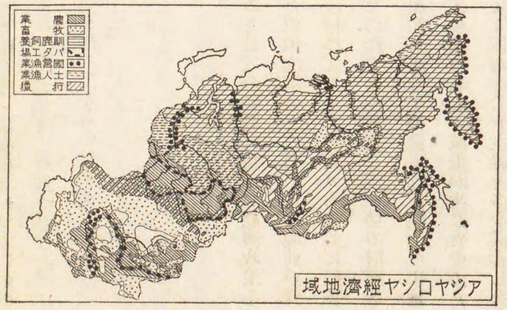
一　産業の社會的條件と自然的條件

産業の社會的條件

シベリヤの産業構成を見るに、先づその社會的條件として著しい役割を果してゐる最近のソ聯邦特殊な經濟政策を一通り述べる必要がある。ソ聯邦の經濟政策は世界大戰とこれを契機として起つた政治的革命とのために、戰前の資本主義から共產主義に轉換した。戰後に行はれた共產主義による經濟組織も時代の推移によつて形式・內容共に幾多の變化を經驗した。その第一は一九一七年に行はれた戰時共產主義政策で、極端な共產主義を實施し、一切の財產を國有化する極端な中央集權を行つた。かくして農民の穀物は無價値なるルーブル紙幣によつて徵發され、地主の土地は國有となり、工場も鑛產も鐵道も悉く國家に沒收された。併しこれによつて農工生產の著しい減退が生じたのである。それに加へて一九二〇年にヴォルガ川流域に大饑饉が起つたので、一九二一年には極端な共產主義を多少緩和した新經濟政策が實施されるに至つた。卽ちこれは農民に自作耕地の永久借地を許し、工業も國營のほかに個人經營を許したのである。更に一九二五年には新々經濟政策を行つてそれ以上の自由產業を認めて、個人の經濟活動を活潑ならしめた。併し一九二八年からは五ヶ年計劃が强行され、それに伴つて產業の徹底的國有國營制度が實行されるに至つ



た。元來五ヶ年計劃は從來の農本的な產業の構成を改めて、工業を躍進せしめようと行はれたものである。卽ち、一九二七年の第十五回の共產黨大會は五ヶ年計劃の大綱を決議して、(1)ソヴィエト聯邦の工業化　(2)農業の社會化　(3)國內の經濟組織內に於ける資本主義的分子の排除をその目標としたのである。これがために一九二八年から一九三二年までに資本六四億留を投じて生產設備を擴張した。かくして五ヶ年計劃は一九三二年に一先づ完成され、それによつてソ聯邦の產業は向上したが、その反面國民それ自身は苦痛を嘗めたのである。つまりその成功の反面には幾多の缺陷を生じたので、更に一九三三年から一九三七年に至る第二次五ヶ年計劃を樹て、その產業の開發をはかつたのであり、その結果ソ聯邦の產業、殊に重工業方面は著しい發展をとげたのである。併しソ聯邦の產業の發達は量的方面だけで質的方面に著しい缺陷のあることは一般に認められてゐる所である。



一　產業の社會的條件と自然的條件

かくてソヴィエト聯邦に於いては今日では一切の産業は社會化されてゐる。つまり國有化・國營化されてゐるのであり、これによつて計劃經濟が徹底的に行はれてゐるのである。この傾向はシベリヤに於ても同じであつて、このソヴィエト聯邦特有な國家組織はこの地方の産業發展の社會的條件として著しい役割を果してゐるのである。

産業の自然的條件

シベリヤの産業發達を規定してゐる自然的條件としては、

(一)北方に偏した地理的位置
(二)氣候の寒冷・大陸性
(三)地形の平原性・森林性
(四)豐かな鑛産資源等

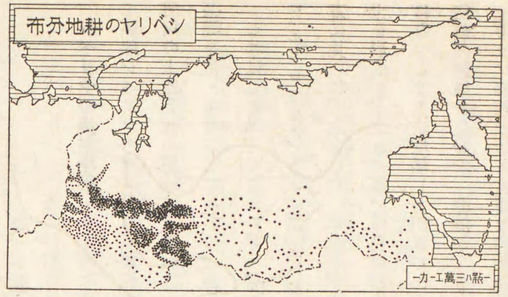
がある。これらの地理的條件の上に立つシベリヤの産業狀態は大體に於て未だ十分な開發を見るには至らない。たゞこれらの自然的條件と共に作用する社會的條件たる上述の政治組織、卽ちソヴィエト聯邦の社會主義的國家であるといふことが、最近この地方の開發に有力に作用しつゝあり、これらの自然的條件をよく利用して發展の途上にあるのが今日のシベリヤにほかならないのである。勿論今日シベリヤの産業は未だ工業を主とする狀態ではなく、農・牧・水産・鑛産の原始的産業が主となつてゐる。併し最近豐かな鑛産を開發して各地方に工業殊に重工業が勃興して今やシベリヤの面目を一新せんとしつゝあるのは帝國として絕大な關心を持たなければならないのである。

二　農業への展望

農業地帶

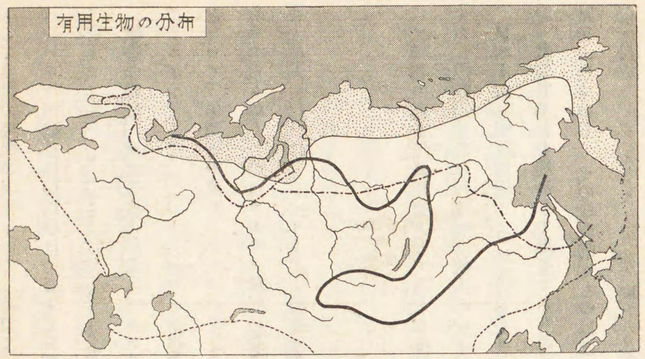
シベリヤの農業地帶　タイガの南邊、草地帶の北邊に當る一帶で、大體シベリヤ鐵道の沿線、殊に地形に左右されて西部シベリヤ平原が最も重要且つ廣大な農業地帶となつてゐる。中でもアルタイ山脈の西北方、イェニセイ・オビ兩河川の上流支流の灌漑する地域は土地がよく肥え、晩春乃至初夏の降雨が春蒔きの小麥・大麥・燕麥・稞麥・馬鈴薯・甜菜等をよく生育させてゐるのである。

これはこの地方にはかの黑土帶が延長してゐるからである。黑土帶は黑海沿岸のベッサラビヤ地方からウーファ・スウェルドロフスクに至る線以南に展開し、全面積は約二百九十萬方粁に達してゐる。黑土は溫帶の割合に雨が乏しい地方に見られ、主として一年生の草木が雨季にのみ繁茂し、これが年々枯死してその枯草が累積し、地表で分解して腐植土を形成し、これが厚い黑色の層をなしてゐるものである。ソ聯邦の黑土は腐埴土ばかりでなく、氷河堆石が粉末狀になつた漂土が堆積して出來てゐる。この黑土帶は雨が一般に少いので作物の要素として必要な石灰分が流出せず、空氣の流通も良好で、分解が十分に行はれ、土壤は酸性とならずに中性で、農業上の價値が極めて大きい。かくて黑土帶はソ聯邦の最も重要な穀物地帶となつてゐる。この地域は土地がよく開拓されてゐる結果、人口もシベリヤ中最も稠密である。殊に夏の高溫を利用して栽培される小麥は最も重要なもので、ヨーロッパロシヤの分と合せれば年額



三千萬噸餘を出してアメリカ合衆國をはるかに凌いで世界第一の小麥生産地帶をなし、シベリヤの穀倉といはれてゐる。この西部シベリヤの小麥は大部分シベリヤ鐵道によつてヨーロッパ及びシベリヤ東部に送られてゐる。今日シベリヤ全體の耕地は未だ四萬方粁で、全面積の〇・三%に過ぎず、時には旱魃と早霜の害とを受けることがある。併しソ聯邦の産業五ケ年計劃によれば、更に逐年耕地面積の增加を計るといふことである。

バイカル湖以東　この地方は農業が未だ充分に發達しない。我が日本との關係の深い極東地方について見ると、農業はこの地方の最重要の產業、少くともその一つであつて、夏季の比較的に高溫なのを利用して專ら滿蘇接壤地帶に行はれてゐるのである。黑龍江のゼーヤ・ブレーヤの平野は極東第一の農業地帶であつて、大規模な集團農場が多く、こゝに穀物取引の中心としてブラゴヴェシチェンスク市を發達せしめてゐるのである。又沿海地方では興凱湖沿岸の平野や、ウスリー江及びその各支流の溪谷地方は極東第二の農業地帶で、殊にウスリー地方の南部には朝鮮人が多く夏季の高溫を利用して大規模な米作が行はれてゐるのである。この地方の農業はゼーヤ川以東や沿海州の地方に點在する滿洲人の農業を除いては勿論移住民の食料供給を目的としたものである。その結果今日ロシヤ人の移住とともに始まつたのであつて、これは勿論移住民の食料供給を目的としたものである。その結果今日この地方の農業の特色は麥類の穀物栽培を中心とする點であつて、大戰前の統計では極東地方全播種面積の九〇%以



上穀物で占められて居つた程度である。これは勿論極東地方の平地が狹いと云ふ自然地理的條件が穀物以外の作物の栽培を妨げたことは云ふまでもないが、又工藝用の作物や畜產物の販賣市場の缺乏と云ふことも與つて力が大であつたのである。

次に極東地方の麥類の殆ど全部は春蒔であるのであつて、これは冬季寒冷で土地が凍結するといふ氣候的條件のためである。從來この地方の農法は粗放的なものであつたが、最近は著しく集約化してゐると同時に、農業の集團化が進展し、一九三四年では全農家の六三%がこれまでの分散的な個人經營をやめて集團化し、全耕地の八七・四%が集團農場化してゐるし、又農業の機械化も進み、トラクター・自動播種機の數も激增してゐるのである。現在極東地方の耕地は百二十三萬ヘクタールと云ふから一萬二千三百方粁となるわけである。主なる產物として小麥・燕麥・米・麻・甜菜・馬鈴薯・大豆等が擧げられるが、未だこの地方の地方的需要を充すには足りない程であつて、到底他地方への供給地となる能力はないのである。極東地方に於ける食料資源の獨立はソヴィエト聯邦當局の極東地方經濟建設の目標の一つではあるが、今までのところは依然

として食料の自給は出來ないのであつて、不足額は專ら西部シベリヤやヨーロッパからの輸入に俟つてゐるのである。

シベリヤの適農地の面積は今日未だ正確にわからないが、西部シベリヤ平原の農業上の可能性は莫大であつて、少くともヨーロッパロシヤまたはアメリカ合衆國のそれに比較し得るものであることは疑ひのないところである。

牧畜の現狀　次に牧畜に移るに、シベリヤの牧畜は牧牛が盛んで、その頭數は今日五百萬頭に及んでゐる。かくしてクルガン・オムスク・ペトロパウロフスク・バルナウル・ノヴォシビルスク等の小麥集散地はまた同時にバター工業地となつて、年額五千萬ルーブルのバターの生產を擧げ、今日ではバターやチーズはシベリヤの特產物となつてゐる。牧牛の最も盛んなのはキルギス草原の北邊からシベリヤ鐵道の沿線にかけての草原で、この地方には羊・馬の飼養もまた盛んに行はれ、シベリヤの大牧畜地帶をなしてゐるのである。

ソホーズとコルホーズ

ソ聯邦の農業經營形態として有名なのはソホーズ及びコルホーズである。卽ちロシヤでは農業のソホーズ・コルホーズ化運動が盛んに行はれ、個人の行ふ農業を排斥しようとしてゐるのである。

ソホーズ（國營農場）　これはソヴィエト政府が自ら經營する農場で、資本主義的な大經營を範として政府の代理者が、農業勞働者を雇傭して經營するものである。ソホーズは初めは極めて少かつたが、今日では全耕地面積の約一〇%を占めてゐる。その代表的なものは北コーカシヤのロストフから六十四粁餘の地點にあるヴェルブルード（駱駝の意）農場と、ヴェルブルードから同じく六四十粁程離れた所にあるギガンド（巨人の意）農場とで、後者は世界最大の農場といはれてゐる。こゝには約二百三十臺のコンバインド・ハーヴェスター、三百餘臺のトラクター、四百餘臺の自動車及び穀物トラック等があり、全面積は約一萬九千方粁に達し、穀物エレヴェーター・農場用發電所・學校・圖書館等が備へられてゐるのである。

コルホーズ（集團農場又は共營農場）　これは一九一八年以來發達したもので、五ケ年計劃によつて大いに增加され、最近では全耕地面積の七割以上を占めてゐる。コルホーズには共同耕作組合・農業アルテリ及び農業コンミューンの三種の形態がある。共同耕作組合は財產の共有を行はず、たゞ耕作のみを共同で行ふものである。これは初期に行はれたが、次第に農業アルテリといふのは、農業機械から役獸・家畜・建物・土地その他の種子に至るまで、すべての農業用の生產手段を共有として個人的には住宅とその附屬地のみを使用せしめるものである。この形態はコルホーズのうち最も廣く行はれてゐる。次に農業コンミュールは最も高度のコルホーズ形態で、すべてのものを社會化し、農民の生活も共同化し、住宅も食堂もすべて共同に使用するものである。

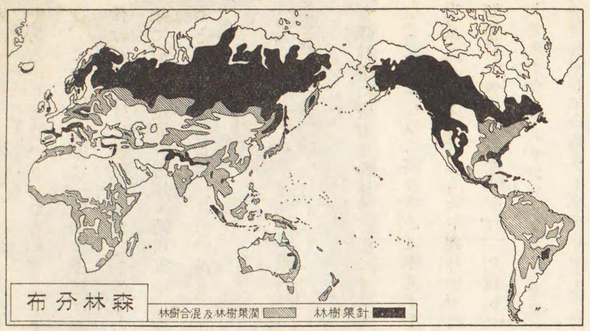
將來への展望

ソ聯邦の農業建設計劃が十分に成功し、農耕の機械化が圓滑に行はれ、コルホーズやソホーズの共同農業團體の形成が巧みに行くかどうか、また現に如何なる程度まで成功してゐるか、これは兎も角としてもしこれ等が計畫通り成功すれば、シベリヤはソヴィエト聯邦のみならず、世界の穀倉たる地位を占めるに至ることは確かである。但しシベリヤの農業に對して、その北方を鎖されて適當な海港を缺き、水運の便に乏しいといふ地理的條件は、大量の農產物

輸送にとつては極めて不利な條件となつて居り、將來もまたかくあることゝ豫想される。もし北極海が閉鎖された海である代りに開いた海であり、良港に惠まれてゐるならば、或はシベリヤの河川がヨーロッパ方面に流れてゐるならば、この地の農業は一層躍進を遂げたであらうと想像することが出來るのである。更に氣候が寒冷な氣候のために耕作は夏季だけに制限されてゐるのであり、又その作物も寒冷な氣候に適應するものに限られてゐるのである。この意味に於て、位置・海岸・河川等の地理的條件は地味や氣候と共に相協力してこの地方の農業に對して作用しつゝあることが十分に首肯されるのである。

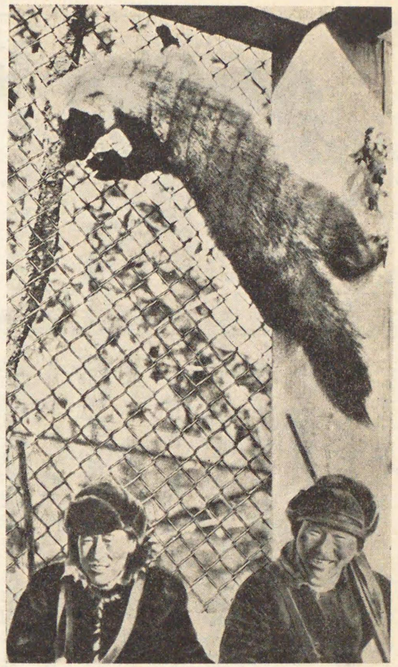
三　無限の森林富源

森林帶　廣大な森林帶が國土の一〇%を占めてゐる結果、極めて豐かな木材資源を包藏し、その將來は期待されてゐる。實にソヴィエト聯邦全體の森林は約九百五十萬平方粁で、世界の森林面積の二一%を占めてゐるのもシベリヤに廣大な森林帶をもつてゐるがためであると見ることが出來るのである。しかしてこの森林帶は寒帶性・亞寒帶性の針葉樹林・濶葉樹林であつて、用材としてパルプ原木として價値の高いものばかりである。併し交通が不便なため、尨大な森林帶の大部分は原始林のままに殘され、僅かに鐵道と河川との沿岸に於て伐採されつゝある狀態で、年々發育量の十五%乃至四十%が利用されてゐるに過ぎないのである。しかして黑龍江の流域はその中心となつてゐる。極東地方では年々約二千萬圓の木材が我が國に輸出されて、これが日・蘇貿易品の首位を占めてゐる。又最近はイェニセイ川流域の伐採も進められ、イガルカの如き森林都市がこゝに起つてゐる。



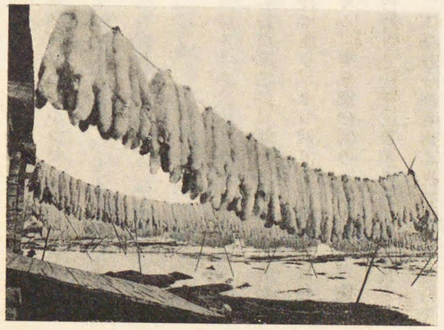
イガルカは五年前までは世界地圖には載つてゐなかつた。住民も百人位に過ぎなかつたのであるが、この天然の良港を選擇して經營してからは急激に發達して、今では人口が五千人もある都會にまで發達してゐるのである。町は川に沿つて一浬半に達し、四部に分れてゐる。上流の森林がイガルカの生命である。尤も冬季は寒氣の酷烈な地方だから、この町の仕事も自然季節的に制限され春と夏とに集中する。この時季には何千といふ勞働者がトランスシベリヤの穀物、森林地方からこのイガルカに集つて來るのである。解氷期の間のイガルカの埠頭の賑はしさは驚くばかりである。南方八百浬から一千二百浬の地方で伐採された木材は筏で運ばれて來る。筏の長さは四分の一浬もあるといふ。さうしてこの木材はこの町に來り、こゝで製材され、オーシャンスチーマーに積込まれて、ヨーロッパに運ばれて行くのである。イガルカの町は實にオガ屑臭い町だと云はれるのもさてこそと首肯されるのである。

オーシャンスチーマーは現在ではイガルカまで溯る。ヨーロッパからこゝまでは約三週間を要する。二年前までは三ケ月もかゝつたが、今では三週間に



シベリヤの狩獵民

して重要なものは寧ろそこに棲息する狐や貂や栗鼠や白熊等の毛皮獸の毛皮で、その産額は全ソヴィエト聯邦中ではシベリヤが第一位となつてゐる。帝政ロシヤがシベリヤの侵略を行つたのも一つは毛皮の獲得にあつたのである。ヤクーツクやヴェルホヤンスクはこれ等の毛皮の取引地として榮えてゐる。それのみならずドイツのライプチヒやイギリスのロンドンもソ聯邦の毛皮の取引市場として榮えてゐる。又シベリヤの毛皮類はソヴィエト聯邦の最も重要な輸出品と短縮されたことを思へば、人類による自然征服の偉大さがしみ〳〵と感ぜられるのである。



シベリヤに於ける毛皮の乾燥

毛皮獸　シベリヤの森林の資源との一つとなつてゐるのであつて、しかも今後大いに發展の餘地があると信ぜられるのである。又極北のツンドラ帶中にはマンモスの象牙を産するが、この象牙はこの地方の特産物で、世界の市場に供給されてゐるのである。

四　水産業の將來性

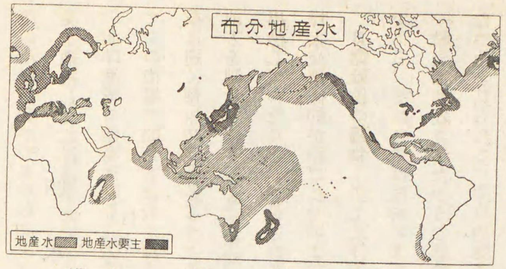
日本の努力で發達した漁業

シベリヤの主要な産業で、これはオホーツク海・カムチャツカ半島沿岸・日本海方面に行はれ、鰊・鱈・鮭・鱒・蟹等が獲れる。この地方の海岸線はベーリング海から朝鮮國境まで、延長實に一萬二千粁に達し、その低溫の海水中には魚族の飼料となるプランクトンが甚だ多いので魚族が甚だ豐富である。併しロシヤ人は漁業を營むに巧みではなく、殊に沖合漁業を餘り行はない。カムチャツカ方面の漁業はポーツマス條約によつて我が國の利權に屬することになり、この方面の漁業の開發は全く我が國人の努力によつて行はれたものといつてよい。この方面の漁業は我が國が借區料を支拂つて(近年約三百萬ルーブル)約三百四十の漁區を經營し、漁夫一萬五千人を以て盛んに漁撈に從事して、所謂北洋漁業の名を以て知られてゐる。カムチャツカ半島の東岸のペトロパウロフスク、黑龍江口に近いニコライエフスク、樺太のアレキサンドロフスク等は何れも漁港として有名である。

ベーリング海中のコマンドル諸島は臘虎と膃肭獸の繁殖地として知られ、その數は臘虎二五〇頭、膃肭獸は一萬五千頭に及び、そこで今日ではこの兩獸は一九一一年の日・英・米・露の四國條約によつて禁獵とされ、その保護繁殖を計

てゐるのである。

北極海にも魚族・海獣等も多いのであるが、この方面の漁利は目下のところでは捨てられてゐる狀態で、僅かにこの方面の土人がこれ等を採取し、或はその肉を食料に、或はその皮を衣服・住家等に利用してゐるに過ぎないのである。



シベリヤの漁業には海洋と共に河川が重要で、黒龍江・レナ川・オビ川等の大河には鮭や鱘魚（テウザン）や鱒等がとれる。併し河川漁業の大部分は土人によつて原始的な方法によつて行はれてゐるのであつて、土人の重要な食料品となつてゐるのであるが、人工的な繁殖を圖ることは殆ど行はれてゐないのである。

以上のうち鮭漁はロシヤ人にとつて最も重要な生業で、極東方面の漁獲は毎年約一億尾に達し、その五四％はカムチャツカの西海岸、一五％は東海岸、二五％は黒龍江、一〇％が樺太及びオホーツク海、一〇％が日本海で漁獲される。その八割は鹽漬にされ、また土人や支那人向の乾魚とされる。また罐詰とされるものも多いので、日本の罐詰工場が數多あつて、その年産額が四千五百萬圓内外にも達してゐる。

北洋漁業の現勢

北洋漁業の意義　大海原の中から一ヶ年に數千萬圓の富源を吸み出す北洋漁業は世界の水産王國たる我が大日本帝國を特徴づける一大産業である。北洋はいふまでもなく北の海で、津輕海峽以北の北の海はすべて北洋と云はれる。併し水産業者の立場から見れば北洋とはソヴィエト聯邦領シベリヤの日本海・オホーツク海・ベーリング海に面した一帶の沿岸と我が千島列島の占守・幌筵を含む一帶の水域を包括してゐるものであつて、この地域・水域で營まれる漁業を總稱して北洋漁業といふのである。

北洋漁業の漁場は世界三大漁業の隨一にある北太平洋漁場である。北洋漁場はカムチャツカを中心としてゐる。そしてこの漁場の開拓者は我が國人である。今日の盛況を示してゐる北洋漁業は我が國人の努力の賜である。我が北洋漁業は遠く德川時代に始まつたのである。寛政年間に近藤重藏が幕命を奉じて蝦夷地方を巡視したり、伊能忠敬が蝦夷地方を測量したり、又文化年間に間宮林藏が樺太沿海州を探檢したりしたことからしても、當時早くも日本人が北洋に出漁してゐたことが想像される。そしてこの地方のロシヤ官憲と血醒い抗爭を續けてゐたのである。明治初年千島・樺太交換條約が結ばれた頃までに日本人漁業家は北洋に於て確固たる地盤を築き上げてしまつてゐたのである。

日露戰役の賜物　併し北洋漁業のうちでもロシヤ領に出漁するのが條約上の我が權利となつたのは日露戰爭の結果である。それまでは條約の保護がなかつたので、出漁者は現地でロシヤ人と衝突し、互ひに打ちつ擊たれつ、中には一船全部鏖殺されたやうな悲慘な物語もある。この開拓者の流した血が結晶してポーツマスの講和條約中の漁業權となつたと見られる。同條約第十一條は「ロシヤ國はオホーツク海及びベーリング海に瀕するロシヤ領地の沿岸に於ける漁業權を日本國臣民に許與するために日本國政府と協定をなすべきことを約す」と規定してゐる。この規定に基いて直ちにペテルブルグで第一次の漁業條約が締結されたので、明治四十年以後からして邦人漁業家は條約上の當然の

權利として北洋に出漁し得るやうになつたのである。

日露の漁業條約實施後邦人漁業家の北洋に出漁するものが漸く多くなつたのであるが、當時業界の第一人者だつたのが堤清六氏の主宰とする堤商會であつた。堤商會はカム河口に漁區を租借し、經營が頗る良好で、常に第一位の獲成績をあげ、大正九年には商會の一部と二―三の個人漁區と合併して五百萬圓のカムチャツカ漁業會社を創立し、又

カムチャツカの鮭漁獲

商會を極東漁業株式會社に改組し、更にこれを輸出食糧品株式會社に合併した。

次いで大正十年に從來から北洋で雄飛してゐた日魯漁業會社と輸出食糧品とカムチャツカ漁業の三社が合併して今日の日魯漁業が成立した。大正十三年には同社は大北漁業株式會社を買收し、昭和七年には露領漁業を合同し、資本金五千三百八十一萬圓となり、從業員二萬一千人、生產額五千萬圓の世界最大の漁業會社となつたのである。

北洋漁業の發達　北洋漁業の主體は鮭鱒漁業であるが、そのほかに鰊漁業・蟹漁業がある。最初は沿岸だけで行はれてゐたが、次いで公海に於ける沖取漁業即ち母船式漁業が起つた。母船式漁業は最初蟹漁業として起つた。母船式蟹漁業は蟹の習性と漁撈方法とから見て製造工場が陸上に固定してゐるより、蟹群の移動に伴つて移り得る汽船の上にある方が經營上利益が多いといふので、世界大戰後の船舶界の不況の折に創始され、大正九年頃に試驗的に始められ、昭和五年頃に最盛であつた。昭和七年には斯業者が大合同して成立した日本合同工船株式會社が現在蟹漁業を獨占してゐる。その操業區域はカムチャツカ西海岸中部の公海であるが、昭和六年頃から東海岸の公海にも出漁するやうになつたのである。

この母船式蟹漁業にならつて昭和四年頃から始まつたのが母船式鮭鱒漁業である。蟹漁業と同じやうに最初はなるたけ陸上に近い公海で、陸上漁業と同じやうに建網を定置して漁獲して居つたのであるが、網の建込が容易でないので現在では專ら流網で漁獲してゐる。これも統制の必要から現在が獨占的に經營してゐるのである。

鮭鱒漁業　北洋漁業の主體露領沿岸に於ける鮭鱒漁業は鱒鮭が河川で產卵するために沿岸に押寄せて來るところを漁獲するのである。而して現在鮭鱒類が溯上する河川は大體上表の如くである。

以上の百餘りの河川の中で鮭鱒の蕃殖場となるやうな大河としてはオホータ・ギジカ・チギリ・コーリ・ウオロフスカヤ・ボリヤーヤ・アナドイリ等がある。

漁岸名	海岸線	河川數
オホトスキー	二、四三〇粁	二四
ギジキンスキー		四
イーチンスキー	八二二	二一
西カムチャツカ區	五〇〇	一六
東カムチャツカ區		七
カラギンスキー	二、七六五	
オリュートルスキー		一二
計	六、五一七	一〇四

沿岸漁業にあつてはかくの如く、鮭鱒の押し寄せて來る海岸に設けられてゐる漁區を借りるのである。これは毎年ウラヂヲストックで入札によつて落札者が借り受けることになつてゐる。帝政ロシヤの崩潰と內亂との時代には漁區は殆ど日本人の獨占に歸し、當時の生產は六千萬圓にも達した。其の後ソヴィエト政府が確立してからはこの邦人の漁業權に對して國權回收工作が計劃され、昭和三年に新たに締結された漁業權に關する新條約が實施される際ソ聯側は漁業國營機關を作つて邦人が經營して居つた優良漁區を回收したり、又は個人名義による準國營團體を作つて入札に際しては邦人經營の優良漁區を奪取したりしたために、一時邦人の獨占下にあつた露領沿岸漁業はソヴィエト聯邦のために侵略されて、今日では日蘇の勢力が相半してゐる。例へば昭和十二年に於ける借受漁區は日本三九二に對してソ聯は四三六となつてゐるのである。

北洋漁業の根據地　北洋漁業の根據地は函館である。五—六月頃に函館に勢揃して出かける。毎年二萬人の從業員が前年から準備しておいた空罐・食鹽・漁網等を滿載した三千噸乃至一萬噸の汽船數十隻に分乘して漁季に先立ち、函館を後にして一路漁場に向ふのである。

カムチャツカの漁季は六月に始まつて八月に終るので、八月末から九月末にかけて再び函館に歸還する。この間出漁期間は約三ケ月、而も鮭鱒漁場の如きは實際の漁季は僅かに一ケ月內外に止まるので、漁季になると殆ど不眠不休で全力を注いで漁獲に從事するのである。

漁獲方法　鮭鱒漁獲方法を簡單に述べると、一漁場毎に角網型の定置式の網があつて、陸から沖に向つて海岸線に直角に垣根のやうに手網といふ網を出す。その長いものは一里もあると云ふ。手網の先には胴網といつて蚊帳を逆にしたやうな網がつけてある。その大きさは長さ七—八十間幅二十五間、深さ十二、三間もある。鮭は障害物に突き當ると沖へ〳〵と向つて避ける習性をもつてゐるので、この手網に突き當ると、手網に沿うて沖へ〳〵と泳ぐのである。手網の先には胴網が口を開いて待つてゐるので、鮭は知らず〳〵の中にその中に入つてしまふ。胴網の側には保津船(ポツチ)といつて魚を收容する船が附いて居り、これに二—三人の漁夫が乘つてゐる。又他の一端には起船といふ船があつて、これに二十人許りの漁夫が乘つて居り、船頭の合圖で網を保津船の方に段々と繰つて行く。水面近くに引寄せられて跳ね狂ふ鮭を保津船の中に取込む。網を一回手繰り寄せると、盛漁季には七—八千尾もの鮭が獲れる。次に保津船の鮭は數隻の搬漁船に移され、ランチに曳かれて陸岸に運ばれる。それからエレベーターで高い塔上に上げられた上、頂上からウォーターシュートで罐詰原料は工場へ、新卷原料は鹽藏場に、冷凍原料は冷藏庫に送り込まれるのである。現に漁獲利用されてゐる鮭の種類は次の通りである。

一、紅鮭（べにさけ Red Salmon）體重六百乃至八百匁、肉が紅色なのでこの名がある。カムチャツカ西海岸南部地方が主產地で、殆ど全部が罐詰としてイギリスに輸出される。

二、銀鮭（ぎんさけ Silver Salmon）體重七百匁乃至一貫目位、外形全體が銀色を呈してゐるのでこの名がある。肉は薄紅色で、肉質は紅鮭よりも稍〻軟く、主に罐詰にされる。カムチャツカ河地方、オホーツク海地方が主產地である。

三、鮭（さけ Keta Salmon）體重四百匁乃至一貫二百匁、肉は淡紅色で、從來は鹽引にしたが、最近は新卷とされる。カムチャツカ東海岸、西海岸キシカ以北及びオホーツク海岸地方が多產地である。

四、鱒（ます Pink Salmon）體重三百五十匁乃至五百匁、肉は珊瑚のやうに桃色で、罐詰及び鹽魚とされる。カ

ムチャツカの西海岸、殊にその中部以上の地方とカムチャツカ東海岸北部とが主産地である。

五、鱒（ますのすけ King Salmon）　鮭の種類中最も大型で、體重は普通二貫五百匁位、時には八貫乃至十二貫、長さ六尺に達するものである。肉質は通常紅色で、主にマイルドキュアーといふ一種の鹽漬にする。カムチャツカ河地方が主産地である。

製品の罐詰は大部分一萬噸級の優秀船數隻を仕立てて、カムチャツカからパナマ經由イギリスに直輸されて居り、その額が約三千萬圓、本邦對英移出品中の大宗たる地位を占めてゐる。又內地間の罐詰・新巻・冷凍鮭は同社所有の冷藏船十隻及び四—五千噸級の傭船七—八十隻を以て輸送してゐる。全部を合して同社の產額は年五千萬圓に達する。

蟹漁業　北洋漁業では蟹漁業を行つてゐる。蟹の漁季は五月始めから八月末までである。目の荒い刺網で漁獲し、直ちに罐詰工場に運び、手早く甲羅を剝し、稀薄な鹽水で煮た上冷水を注いで數時間冷却させ各部の肉を離してよく洗ひ、パーチメントペーパーで包み、內面にエナメルを引いた罐につめて罐詰とする。これと同じ罐詰製造設備を汽船上に具へて、公海で漁獲した蟹を直ちに汽船上で調理してしまふのが母船式蟹漁業で、この汽船が有名な蟹工船である。この母船には刺網で直接漁撈を行ふ川崎船と川崎船の曳船又は漁場の調査を行ふ獨航船と稱する發動機船が十數隻附屬する。刺網は長さ二十五間、幅十尺、網の目は一尺七寸以上と定められ、工船一隻に十三、四萬反を積込む。この網は海底に連結されるのであるが、長さは一萬尺から一萬五千尺にも及ぶ。三—四日そのまゝ放置して置くと蟹が引つかゝるのである。四月頃から準備をして函館を出航する。その從業者數は約三千人、工船數は昭和五年の十九隻を最高として次第に減じ、昭和十一年には八隻である。蟹漁獲高も最近減じ昭和十年には一千百萬尾である。

工船式蟹漁業の蟹罐詰製造高は急激に增加し、昭和元年以來は陸上に於ける蟹罐詰製造高を凌駕し、昭和十一年には十八萬函を示してゐた。製品の殆ど全部は米國・イギリスその他に輸出される。

母船式鮭鱒漁業　母船式鮭鱒漁業の根據地も函館であつて、五—六月頃函館に勢揃ひして出漁するのであるが、漁業者の數は五千人、その設備・漁獲物の處理の方法はすべて蟹漁業の場合と同じである。その網は流網といはれ、母船に附屬する獨航船一隻についての流し網百反から二百反に及び、これを鮭鱒の來襲する魚道に配置されるのである。昭和十一年の出漁母船數は八隻で、獨航船數は二五〇隻であつた。現在許可されてゐる網を全部繋ぎ合せるとカムチャツカの沿岸を取り圍むことが出來る程であると云ふ。

以上のほかに北洋漁業に包括されるものに北千島漁業がある。舊來からの鱒漁業も行はれてゐるが、その中心は鮭鱒漁業である。これに活動してゐる漁船は二百隻、每年七千人位の人々が函館を根據にしてこゝに出漁してゐる。

又三—四年前から母船式漁業で、フィッシュミール工船といふのが一隻ベーリング海に出漁してゐる。これは最近注目されてゐるフィッシュミール卽ち魚粉とか魚糧とか云はれてゐるものを製造することを目的としてゐるものであるが、その經濟價値は未だ確固たるものがあると云へない。又アラスカのブリストル灣へも蟹工船及びフィッシュミール工船が出漁して公海で漁獲に從事しアメリカ合衆國業者との間に問題を惹起してゐる。

以上を合して北洋漁業全體の漁獲高は昭和九年には紅鮭千五百七十萬尾、鮭二千三百萬尾、鱒九千五百萬尾、蟹千九百萬尾であつて、これが製品價格は約七千萬圓、しかもそのうち約五千萬圓は海外に輸出され、殘りの約二千萬圓は國內で消費されたのである。

四　水產業の將來性

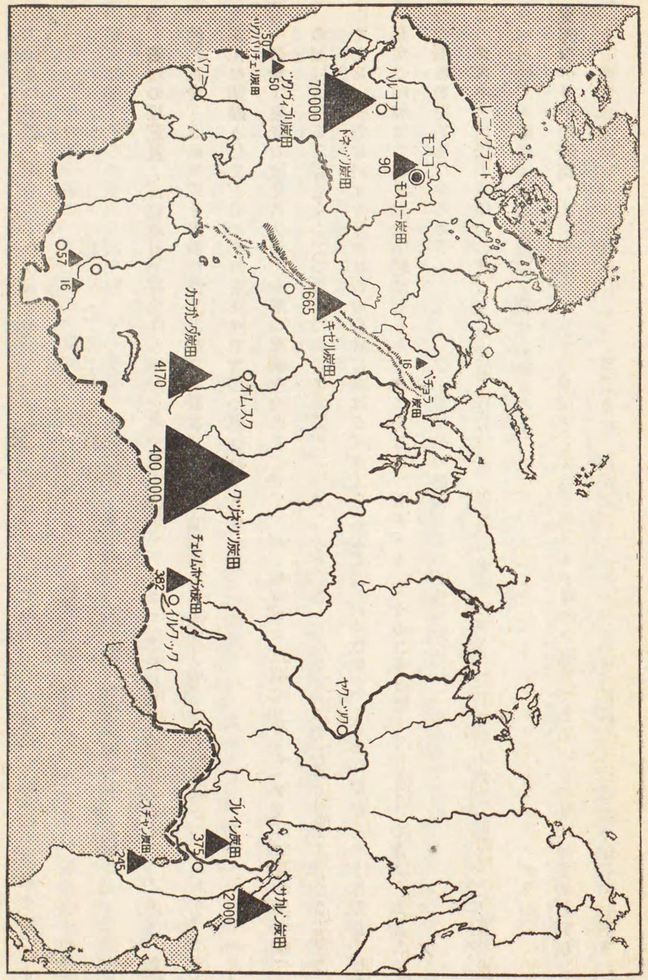
五　鑛物資源

豐かなる石炭資源

石炭の埋藏量　古い地質と臺地性の地形をもつた東部シベリヤには各種の鑛物が豐かに埋藏され、中でも砂金と石油と石炭とはその最も重要な資源となつてゐる。最近各地に鑛物が發見され、または採取されつゝあり、この地方工業化の基礎として次第にその重要性を增して來たのである。

石炭は東部ではウスリー江南部の流域を始めとして、アムール地方・北樺太・カムチャツカ等に豐かに埋藏されてゐる。西部ではシベリヤ平原から臺地に移る遷移點に當るクヅネツキーアルタイ山脈の西部斜面に莫大な埋藏量があり、サヤン山脈の北斜面も豐かな石炭を藏してゐる。ウスリー江流域の石炭は約一億六千七百萬瓲と計上され、北樺太の石炭の埋藏は十七億五千萬瓲に上るといはれてゐる。又クズネッツ炭田の埋藏量は四千億瓲と發表されて居り、最近その開發が進められつゝある。

クズネッツ炭田（クズバッス）　この炭田はソヴィエト聯邦に於ける最大の炭田で、ソヴィエト聯邦の石炭埋藏量の七一%はクズネッツに集中されてゐる。クズネッツはオビ川の上流に位し、サライルスキー及びアラタウ山脈に挾まれた盆地を占めてゐる。その總面積は二萬五千方粁に達し、炭田は不規則な四角形をなし、北西から南東の方向に延び、その延長は二百粁以上もあり、五十乃至七十五粁の幅員をもつてゐる。全鑛脈は七粁乃至八粁の深さを有し、この間厚



圖布分田炭るけ於にヤシロトエヴソ

さ一米乃至十四米の炭層が四十乃至六十も存在し、その内二十乃至三十層が採掘可能であると云はれてゐる。この炭田の埋藏量は最近の調査によれば四千億瓲といはれ、ヨーロッパロシヤのドンバッス炭田の約六倍の埋藏を持つてゐる。一九三六年の產炭額は一千七百八十萬瓲で、ドンバッス炭田はその埋藏量の豐富な點、その產炭の多種な點、その炭質の優秀な點、炭層產狀の淺い點、炭層の厚い點、炭層が互ひに接近してゐる點、凡てこれらの條件に於てはドンバッス炭田よりも勝れ、ドンバッスに代つて今後のソヴィエト石炭業、骸炭業、化學工業、石油業、その他の諸工業部門の發展に重大な意義をもつものと豫想されてゐる。クズネッツ炭田は一八九八年に開鑛されて、この石炭をシベリヤ鐵道に連絡する廣軌鐵道が敷設され、又ヨーロッパロシヤからアルタイ地方への植民運動の發達によつて一層の發展をなした。併し一九二四年頃まではこの石炭は鐵道にのみ供給されて居り、產業は大なる意義をもつてゐなかつたのであるが、一九二八年の第一次產業五ヶ年計劃の實施以來急激に發達したのである。一方シベリヤ・タイガの森林富源はクズネッツに豐富な坑材を供給し、オビ川航路、カラ海航路の開發等、凡てこれ等はこれまで地方的價値しかもつてゐなかつたクズネッツをして全ソヴィエトロシヤの最大の炭田たらしめつゝあるのである。かのウラル・クズネッツ工業地帶の建設はこの石炭を利用してゐるのである。

このクズバス炭田の東南方のイニセイ川の上流にミヌシンスク炭田がある。三百方粁の地域に亙り、二疊紀の生成と考へられ、埋藏量は百四十億瓲と稱せられてゐる。

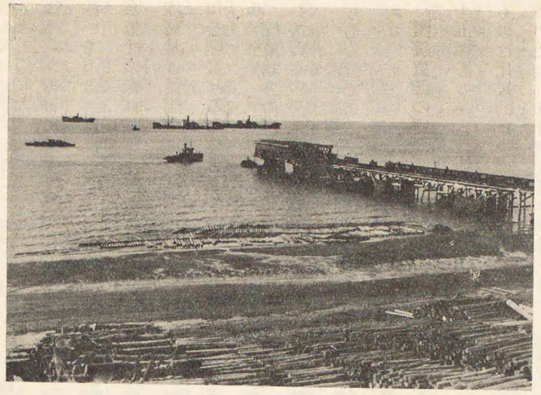
東部シベリヤの炭田　次に東部シベリヤの炭田としては先づイルクーツク炭田である。この炭田は尨大な面積を占め、その產炭地方はシベリヤ鐵道によつて貫通され、西部に於てはアンガラ川に接續して交通地理的條件に惠まれてゐる。この地方の豫想炭量は一千五百億瓲、實測炭量は十億瓲と見られてゐる。イルクーツク地方のうち最も早く開發された炭田はイルクーツクの西方に位してゐるチェレムホウ(Tscheremchowo)炭田であつて、その埋藏量は約三億八千二百萬瓲と見られ、かのアンガラ建設の基礎をなしてゐるのである。

次にトランスバイカル地方の含炭層はジュラ紀に屬してゐる。この地方の褐炭層はシベリヤ鐵道附近に集中し、その埋藏量は實測では約七千萬瓲あり、豫想では一億五千萬瓲となつてゐるのである。

極東地方の炭田　又黑龍江の主なる炭田としてはブレーヤ炭田がある。この炭田はブレーヤ川河畔に存在し、ジュラ紀層から良質の石炭が產出されてゐる。埋藏量は三億七千五百萬瓲であるが、千億瓲の石炭を埋藏するといふ人もある位である。一八四四年に發見された炭田であるが、最初は餘り注目を惹かなかつた。然るに一八六〇年にバッエヴィッチといふ技師が再びこれを探檢し、更に一九三二年にはロシヤの地質協會が詳細な調査を行つてから、この炭田の價値の絶大なことが判明したのである。ブレーヤ炭田はブレーヤ川の中流から上流にかけての一萬一千方粁の土地にわたつて擴がつてゐる。この附近は非常に寒く、樹木はブレーヤ川に沿うて僅かに落葉松・白樺・白楊が見られる位であるが、多くはツンドラをなしてゐるといふ。この炭田の炭層は平均二十米で、五十米に達する所が多い。一九三四年の八月からこの炭田の開發が始まつたのであるが、これは單なる石炭採掘ではなくして、こゝに一大工業地帶を建設せんとするものであつて、所謂ブレーヤ建設と云はれてゐるのがこれである。

南ウスリー地方の炭層は多くの點に於て黑龍江地方のジュラ紀層の炭田と類似してゐるが、面積は比較的狹小であ

る。この地方で重要なのはスーチャン（Sutschan）川の流域に存在し、アメリカ灣から僅か八粁の處に位してゐる。この炭層は北東の方向に急傾斜した褶曲中に存在してゐる。炭田はその石炭の性質によつて二つに分れ、南西部では準無煙炭を、北東部では骸炭を產出して居り、その埋藏量は二億四―五千萬瓲と見られてゐる。



北樺太に於ける本邦經營の炭田の石炭積出裝置

石炭の埋藏量は極東地方だけで三十億瓲以上に達すると推計されてゐる。スーチャン・アルチモフスク・タウリチャン・チェルノフ・キヴィデンスク・ブレーヤや北樺太等に多いのであるが、極東地方埋藏量の約二分の一は黑龍江の流域にあり、その產出の中心はアルチモフスクの炭田である。ソヴィエト聯邦當局は最近この地方の炭田開發に絕大な力を集中してゐるのであつて、その甲斐があつて產額は激增を示し、一九三〇年の百六十七萬瓲から一九三三年には二百萬瓲を突破するに至つたのである。

ウスリー地方の炭田で目下開發の進展してゐるのはウラヂウォストックの東方四十粁ばかりのアルチョムである。今日の產出高は二百五十萬瓲に達し、これがためにアルチョム市が發達してゐるのである。

北樺太の炭田　北樺太にも石炭が埋藏されてゐる。北樺太は面積は三七、九九〇方粁で、南半の日本領より稍〻廣く、中央に山脈が南北に並走してゐるが、最高峰チアラ山は僅か一、五五〇米の高度を有するのみである。河川にティム川（Tym）があり、約三百粁の長流で、北流してオホーツク海に注いでゐる。內部は平地に乏しく、ツンドラ的の濕地が少くない。しかも冬の寒氣が嚴しいので農耕は行はれないが、寒帶性の森林が廣く分布して重要な資源となつてゐる。併し北樺太の最も重要な資源は石油・石炭及び金で、石炭の埋藏量は實測によれば瀝靑炭二億六千萬瓲、推定によれば十七億五千萬瓲といはれてゐる。我が國は西岸のドゥェ炭田を開發する利權をもつてゐる。卽ち一九二五年の日蘇條約によりその石炭は全部我が國のものとなり、產額の五―八%をロシヤに納めることとなつて居り、又ドゥェの石炭は年產二十五萬瓲でこれは樺太のパルプ・紙の製造に用ひられてゐるのである。ソ聯邦側の北樺太產炭額は約二十七萬瓲である。

有望な鐵鑛資源の開發

鐵鑛資源の埋藏　鐵鑛資源はどうか、と云ふに、ソ聯邦の鐵鑛資源は百億瓲と推定され、更に含鐵量四十%乃至四十五%ものを入れると二千三百億瓲に昇ると云はれてゐるが、その大部分はヨーロッパロシヤにあり、シベリヤにあるものは比較的に少い。クズネッツ附近のテレベスの鑛床は目下活動中であるが、鐵鑛產額は割合に少い。最近シベリヤには十三億四千萬瓲の鐵鑛があると發表されたが、その大部分は東部にあるやうである。卽ち東部シベリヤには六億三千萬瓲の埋藏があり、これが旣述のチェレムホウォの石炭と結びついてアンガラ工業地帶を建設せしめ、又滿洲國境のヒンガン山脈卽ち、小興安嶺の東斜面にあつてウスリー鐵道に近接してゐる大鑛床であつて、約五十億瓲の鐵鑛

を埋藏すると云はれてゐる。鐵鑛は平均四八%の鐵を有し、なかには五二%を含むものもあると云ふが、南部のものは三四—四三%であると云ふ。しかもこの小ヒンガン及びこれに接近してゐる地方には建築用の鑛石や、花崗岩・斑石・耐火粘土・石灰岩等が豐富に存在してゐるので、これ等を利用してかのブレーヤ建設が企てられてゐる。

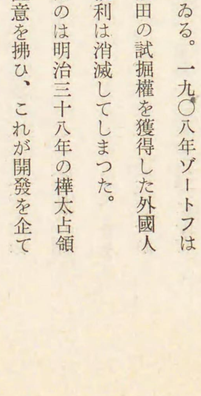
そのほか鐵は極東地方の最も重要な鑛物の一つであつて、鑛脈は各所に發見されて、既に百四十ケ所にのぼつて居り、その埋藏量も五億瓲以上と推計されてゐるが、就中ハリヤギンスク・ニコライエフスク・マロヒンガンスク・ホシェストスク・セルギエフスク・オリギンスク・スドズエの七鑛脈が有名であり、特に小ヒンガン、卽ち小興安嶺のそれが最も豐富で、且最も有名である。

西シベリヤ地方では約五千五百萬瓲の鐵鑛が埋藏されてゐると云ふが、大して重要ではないにも拘はらず、ウラル・クズバス綜合工業地帶として西シベリヤのクズネッツ附近に冶金重工業地帶が建設されてゐるのはウラル山脈中の豐かな鐵鑛によるのであつて、こゝには六億八千萬瓲の埋藏量があり、これが東方に運ばれて來るからである。ウラルの鐵山として有名なのはマグニトゴルスクの鐵山で、六五—七五%の良質鐵鑛を三億瓲も埋藏してゐるといふ。クズネッツ製鐵所は一九二九年に着手され、既に年產三十三萬の能力の設備が竣工し、更に將來二千萬瓲にまで擴張される豫定であると云ふ。クズバスの一部のスターリンスクにも製鐵所が建設されてゐる。

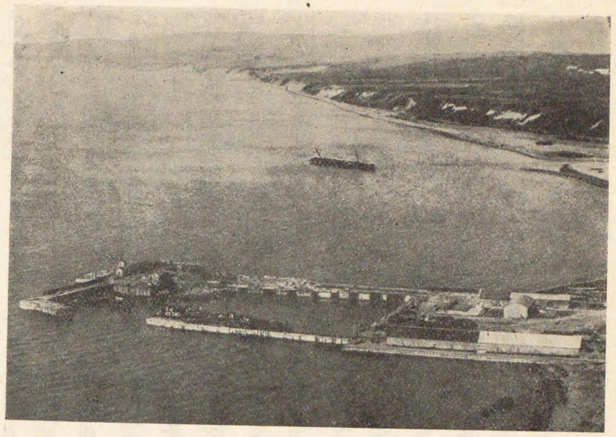
石油資源の不足

石油資源の不足　石油の資源はどうかと云ふに、元來ソヴィエト聯邦の石油資源はコーカサス及びカスピ海北岸に偏在してゐるのであつて、シベリヤでは北樺太の油田が目下の所では唯一のものであるが、その產額もソヴィエト聯邦の石油產額の〇・六%を占めてゐるに過ぎないのである。

北樺太の油田　北樺太の油田は一八八〇年にニコライエフスクの毛皮商のイワノフと云ふ人がオハ川の上流三哩の地點に石油露面を發見したに始まるもので、これが採取に着手したのはイワノフの女婿のゾートフ海軍大尉である。當時の油井はゾートフ井と稱して現存してゐる。一九〇八年ゾートフは採油に成功せずに死去した。その後この油田の試掘權を獲得した外國人が幾多あつたが、ロシヤ革命と共にその權利は消滅してしまつた。



我が國が北樺太の油田に初めて注目したのは明治三十八年の樺太占領當時の事で、爾來海軍省がこれに深甚の注意を拂ひ、これが開發を企てた。大正五年にはロシヤ政府と交涉してその利權の獲得をはかつた。更に大正七年には我が久原鑛業はロシヤのイワン・スタヘーエフ商會と共同して油田の調査を行ひ、且鑛業權の獲得に努力した。ところが、ロシヤでは前年に革命が起り、帝政が倒れ、國內は多數の獨立國に分裂して居つた。而してシベリヤではオムスク政權が漸く確立して來たのであるが、それとともに英・米資本家も利權獲得に乘り出して來たので、これに對抗するためと、傍々ロシヤの政情から見て民間の有力な實業家を網羅して團體を作るのが合理的と考へられたので、大正八年に久原・三菱・大倉・日石・寶田の五社が提携して北辰會と云ふ組合を作つて久原、スタヘーエフ間の契約に基く久原の權利義務一切を繼承した。更に同年六月ロシヤ地方官憲の許可を得て試掘に着手した。大正九年過激派のために一時事業を中止した



アレキサンドフスク

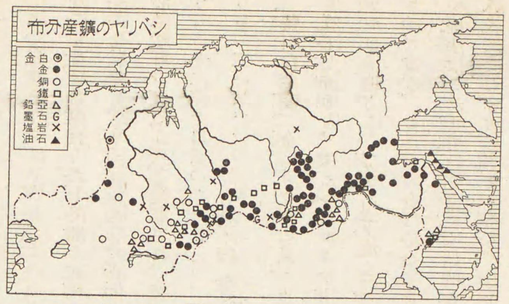
イウィ約九十八萬坪、ウィクレック約四十九萬坪、カタングリー約九十八萬坪、合計八百萬坪であり、更に三億四千五百萬坪の未開發油田の試掘權を得てゐる。利權期は大正十四年末から四十五年間であるが、たゞ未開油田の試掘權は滿十一ヶ年間である。

この三億四千萬坪の試掘地域内に於ては、會社は經緯線に沿つて九百六十デシャチン（約三百十七萬坪）の試掘區域を任意數だけ選定し各區を縱に三等分、横に四等分して、八十デシャチンの小地區十二箇として、その任意の地區内に油井を試掘し、それが出油すれば會社はソヴィエト政府にこれを採掘區域に編入を申請することが出來る。而してこの八十デシャチンの小地區は更に二等分して、全試掘區域合計二十四箇の正方形の鑛區に分たれ、ソヴィエト政府はその うちの十二箇を自國のためにとり、殘りの十二箇を會社に許容する。今日まで十九ケ所の試掘區域が設定され、その うちの三區域だけが採掘區域に編入されてゐるのであるが、その試掘期間は 昭和十一年末で滿了したので、十一年夏モスコーで試掘期間五ケ年延長を交涉し、同十月調印されたのである。

北樺太油田一帶はツンドラか又は密林地帶である。氣候は位置の關係で寒冷なことは云ふまでもなく、夏季でも内地の五月頃で、冬季は平均零下二十度位で、三十度四十度位に下ることは珍しくない。夏季は暴風雨が、冬季が吹雪が少くない。

北樺太石油會社の鑛業所はオハにあり、從來稼行して來た鑛區はオハとカタングリとであり、現存する油井は一八八坑である。オハ鑛區で稼行の價値のある產油層は深度三十米乃至七百米の間に十一層、カタリング鑛區では三十米乃至二百米の間に主要產油層は二層ある。現在はオハ鑛區日產四百五十瓲乃至五百瓲、カタングリ鑛區日產百七十瓲であるが、昭和十年までは專らオハ鑛區のみの獨舞臺であつた。一ケ年の採油量は大正十五年の三萬四千瓲から昭和

十年の十六萬瓲に增加し、又この十年内の採油量は百五十萬瓲以上に達したのである。採取した原油はタンクに貯藏し、每年六月中旬から十月中旬までの間タンカーをもつて内地に搬出してゐるのである。



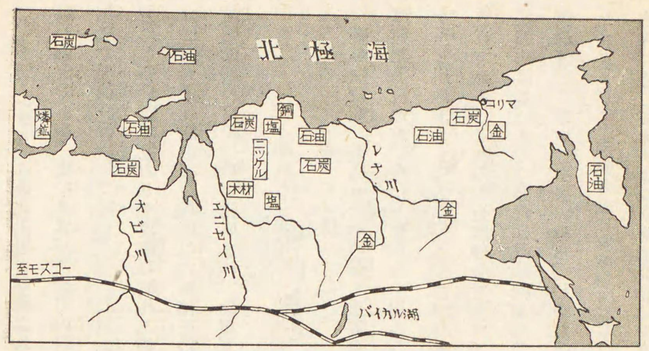
尙ソヴィエト聯邦の石油トラストも北樺太で採油に從事し、昭和十年には二十三萬九千瓲の產油を得て、これをハバロフスクの製油所に送つたといふ。

卽ちその石油は沖合に碇泊する船舶まで海中のフローティングパイプを用ひて送油してゐる。かくてこの樺太の石油はハバロフスクに送られ、極東軍の飛行機・戰車・自動車等を動かしてゐるのである。

石油の不足の對策　かくの如くにシベリヤは石油資源は餘り惠まれず、しかも世界第二の石油產出國たるソヴィエト聯邦の主要油田から遠く隔つてゐる。例へば有名なバクー油田からの距離を見るに、イルクーツクは七千粁以上、チタは八千粁以上にある。從つてシベリヤ、特に極東地方に石油をバクー等が送油するには莫大な運賃を要するのである。例へばバクーからチタまでの運賃は石油原價の一〇%から二八%に昇ると云はれてゐるのである。そこでこれが對策として新油田の發見に力を盡したのであつて、西シベリヤのミヌシンスク地方と東シベリヤのバイカル地方やヤクーツク地方等に油田の存在することが推定されるに至つたと云ふが、開發は未だ問題になつてゐない。そこでシベリヤに豐かな瀝靑炭を液化して人造石油を作らうとしてゐるのである。卽ちアンガラ建設の一として、チェレムホウォに液化工場が建設されることになり、その石炭處理能力は一年五十萬瓲、石油生產能力は一年十萬瓲の豫定である。更にクズバス炭田の中心ケメロウォには既に一九三三年液化工場が建設され、低溫乾餾法及び直接油化法で製油が行はれて居り、その石炭生產能力は一年十萬瓲と云ふことである。同じクズバス炭田中のアチンスク地方にも石炭處理能力五十萬瓲の液化工場を作る豫定であり、又ケメロウォから五十粁ばかり離れたバルザスにも最後には石炭處理能力三百萬瓲の大液化工場を建設する計劃であると云ふ。かくの如き諸計劃が實現した曉はシベリヤの液體燃料の自給は殆ど達成され、極東軍の威力は大いに增大するものと信ぜられるのである。

金・白金・その他の鑛產

豐かな金產　金はロシヤの最も重要な鑛產物の一つで、シベリヤは全國の二五%以上を出してゐる。砂金が主で、黑龍江上流地方、殊にハウルカン川・ヂャリング川・ゼーヤ川中流地方・ウニヤ川・セレムジヤ川上流・オゼルノイ地方・ケルビ川地方・アムグン川下流・ニコライエフスク地方・トウムニン地方に多く、なかでもジャリング金鑛は最も有望視されてゐる。これらの金は砂金であつて、その產額はソヴィエト聯邦金產額の約三分の一を占めてゐるのである。その採掘法はこれまでは非常に原始的なものであつたが、最近は著しく進歩して機械化されるやうになり、それだけに產額が著しく增加して來てゐる。しかもその埋藏量は六百萬瓲と云はれてゐるから、將來の發展が期待されるのである。又スタノヴォイ山脈も金に富み、コルイマでは大規模な採取が計劃され、コルイマ建設が目下進行中であり、これが出入口としてオホーツク海の北岸にマガダン・ノガエウォの兩市が建設されてゐる。又アルタイ山脈は金山と云ふ意味



極北の資源

だけあつて、金のほか銀・銅・鉛・亞鉛・石綿等の鑛物資源に富んでゐるので、これらの採取を目的としてアルタイに冶金工業地帶の建設が計劃されてゐると云はれてゐる。

その他の金屬　これらのほかの鑛物資源として銀・鉛・亞鉛はセミパラチンスクやシホタアリン山脈中に、銅はクズネッツ・ミヌシンスクやサヤン山脈等に、マンガンはアンガラ川流域に、ニッケルはイェニセイ川口に、石墨はイルクーツク附近、イェニセイ川中流等に、石綿はミヌシンスクに、水銀はネルチンスク、東アルタイに、硫黄はワラスノボトスク附近等に産する。

極東地方だけの鑛物資源としては極東地方全體で六十六もあり、ジングート及びプラッスン附近やオホーツク海沿岸等に產出する。又銀・鉛の鑛脈も頗る大であり、ネルチンスク鑛山のみで、銀六百五十萬瓲、鉛百五十萬瓲以上を埋藏してゐると推計され、又現にシホタアリン山脈のテチュヘ鑛山から銀が採掘されてゐるのである。そのほか水銀・蒼鉛・プラチナ・錫・アンチモニー・ニッケル・コバルト・マンガン・砒素・クローム・石綿・曹達・螢石・石膏等各種の鑛物が埋藏されてゐる。

極北の開發

尨大な面積を持つシベリヤである。開拓が進みさへすれば今までに知られなかつた鑛物資源が續々と發見されるのは當然のことである。そこで、ソヴィエト聯邦政府はシベリヤ開發の一として、極北の開發に乘り出した。一年のうち大部分は氷雪に蔽はれてゐる極北地方に大規模な探檢隊を派し、地下及び地上の富源を探索すると同時にこれが開發を企てゝゐるのである。卽ち最近では昭和十一年から十二年にかけて地質學者・水路測量學者・氣象學者・自然科學者・土地測量技師・鑛業・漁業方面のエキスパート等をもつて組織された探檢隊が四十回にも亙つて派遣されたのである。勿論極北の探檢と開發とは未曾有の難事業であるかも知れない。が併し、ソヴィエト政府はこの極北開發を國家的事業として將來も引き續き行ふものと信ぜられるのである。何にしても特有な國家組織を持つ國のことである。現在の探檢隊も一億ドルとか云ふ莫大な豫算の下に働いてゐる樣であるから、費用のことなどは考慮せず大規模な探檢を續けるものと信ぜられるのである。

今日までの調査に從へば極北地方は白金・金・銀・寶石・琥珀・銅・ニッケル・石綿・石墨・燐鑛・鹽・石炭・石油等の豐富な資源のあることが確かめられてゐると云ふのである。

六　躍進途上の工業

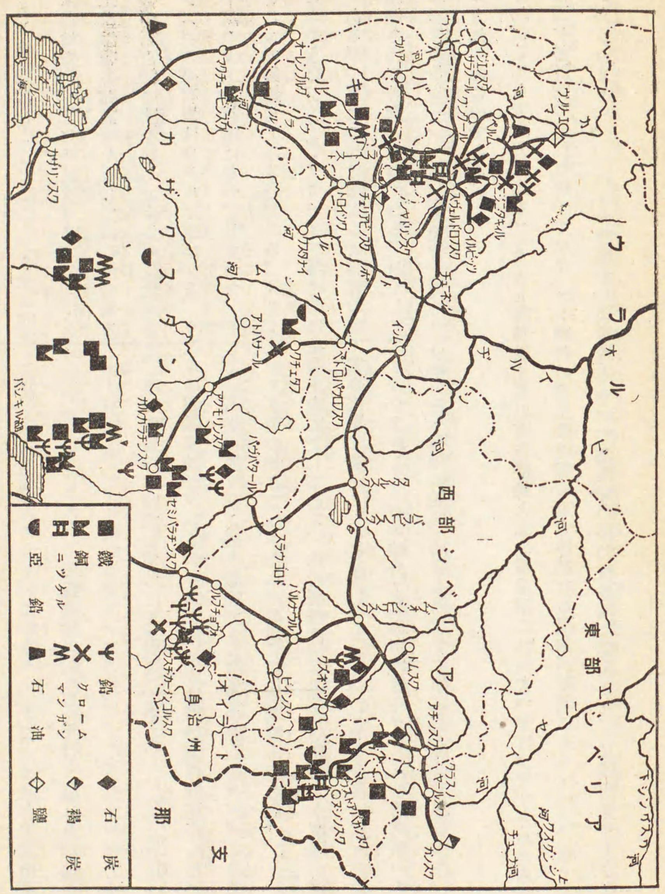
以上のやうな原料生產を基礎とするソヴィエト聯邦の工業の狀態を檢討するに、工業はソヴィエト聯邦の計劃經濟に

第五章　シベリヤの産業と交通

於て最も力を注いだ産業部門であるだけに、その最近の發展は量的には實に目覺ましいものがある。卽ち一九一三年の農工總產額に對する工產額の割合は四二%であつたが、一九三二年には七〇%に增加してゐる。これを見てもソヴィエト聯邦の近時の工業の躍進が量的に如何に速かであるかゞ判るのである。かくて第一次五ケ年計劃は大體八―九分通りの成功を納め、殊に金屬鑛業を除いた重工業の發展には素晴らしいものがあつたので、更に第二次の五ケ年計劃を行つて、その缺乏によつて多大の困難を生じてゐた消費財の製造工業に力を注いだのである。從來この國は專ら生產財卽ち機械等を生產する重工業に重點をおいてゐるので、これが爲消費財が缺乏し、國民は强度の消費制限を行はざるを得ない狀態となつてゐた。そこで最近ではこの點を改善するために、工業も國民生活の向上に資するやうな部門に最も力を注いでゐるわけである。卽ち第二次五ケ年計劃は、一九三二年を基礎として工業生產を全體として二四%增加させ、特に消費財の生產を著增させ、每年の增加率を二・九%とする方針をとつてゐる。これに對して重工業の生產增加率は一五・九%と豫定されてゐたのである。この傾向はシベリヤでも同じで工業は最近急速に發展しつゝあるが、從來は南西部の諸都市に製粉・釀造・皮革・燐寸等の製造が行はれ、何れも農・畜・林產を基礎とするものであつたが、併し最近は鑛產を基礎とする冶金・機械等の重工業が各地に勃興しつゝある。

ウラル・クズバス綜合工業地帶

クズネッツ地方殊にその石炭とウラルの鐵とを結合して西シベリヤの平原には冶金化學工業・機械工業等を主とする大重工業地帶を建設せんとするのがウラル・クズバス綜合工業地帶である。クズネッツ炭田は上述のやうにソヴィエト



圖布分源資物鑛るせと心中を田炭ツネズク・ルラウ

六　躍進途上の工業

聯邦第一の炭田である。この石炭を利用してこゝから二千粁も離れてゐるウラルの鐵產地と結びつけるのである。ソヴィエト聯邦當局がこれまでシベリヤに完成した數々の經濟建設のうち、このウラル・クズバス綜合工業地帶位大規模なものはない。とにかくクズネッツ炭田とウラルのマグニトゴルスクの鐵產地と云ふ二千粁も離れた兩地を結んで一大工業地帶を建設せんとしてゐるのである。ヨーロッパロシヤに於けるドンバスの炭田とクリヴォイログとを結ぶ工業地帶が五百粁の間を結んでゐるのに比べると、その四倍の遠距離に當つてゐるわけである。

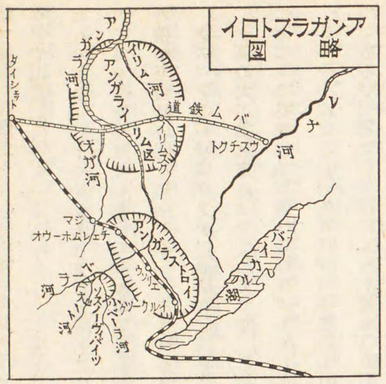
クズバスの石炭はウラルに運ばれる。ウラルの鐵鑛產地マグニトゴルスクの如きは製鍊業の發達のために一躍人口二十萬の大工業都市になつてしまつた。そして、石炭の返り荷と云ふ意味でまた多量の鑛石をクズバスに運んで來これをこゝで製鍊してゐるのである。スターリンスク市の如きこれがために發達した新興都市である。

このやうに、ウラル・クズバス工業地帶は冶金を中心としてゐる。殊に製鐵能力の如き年產百二十萬瓲に達してゐるのであるが、更にこれに加ふるに諸種の重工業や化學工業がこゝに發達しつゝある。しかも今後は愈々その發展に力が傾倒される計劃となつてゐる。かくして、このウラル・クズバス綜合工業地帶は現在ソヴィエト聯邦第一の工業地帶となつてゐるドンバスの工業地帶に代つてソヴィエト聯邦の炭坑・冶金・重工業・化學工業・製油業等の中心となるべく約束されてゐるのである。

それにしても近來云はれるソヴィエト聯邦重工業の東方移動と云ふ現象がこれによつてはつきりとわかるのである。實に五ケ年計劃の進行に伴つてソヴィエト聯邦の重工業地帶の東方移動なる現象が顯著にあらはれた。ヨーロッパロシヤからシベリヤへ、シベリヤ西部から極東地方への工業地帶の移動は各地に建設され、又建設されようとしてゐる數々の工業地帶によつても首肯出來よう。而してかゝる工業地帶のうちで最大なものが目下建設されようとしてゐるアンガラストロイである。

アンガラストロイ

世界の最深湖バイカル湖がセレンガ川その他の河川の水を集めてイニセイ川に排水する水路が問題のアンガラ川である。このアンガラ川は千五百萬馬力の水力をもつてゐると云はれ、これを利用して八百九十萬キロワットの電力を發電し、又バイカル湖から東に流れるウダ川・タセイエフ川等に四發電所を設け、二百七十萬キロワットの電力を發電する豫定であると云はれるが、さしあたつて、その一部を利用して、イルクーツクから八粁の河口に最も近い所にバイカル水力發電所を設け、五十二萬キロワットの世界的大電力を起電し、アンガライリムスキー區のボーキサイト鑛等を原料として大冶金工業地帶を建設せんとするのである。



アンガラストロイの基礎はアンガライリムスキー區の鐵鑛である。イルクーツクからアンガラ川に沿つて溯ること約六百粁の地點にあるこの鐵鑛山は約二億瓲の埋藏量を有する。更に南方オノト川流域には

約一億瓲の埋藏量をもつ鐵鑛床がある。アンガラストロイはこの二つの鐵鑛床の中間に年約百萬瓲の製鐵能力をもつ製鍊所を建設する豫定である。

これに要する石炭は東部シベリヤ卽ちアンガラストロイ附近各地の石炭を使用する豫定である。イルクーツク・バッセインの炭田は五百八十億瓲の石炭を埋藏すると云はれ、更にオカ川・アンガラ川・ベーラヤ川等の流域にも七十億瓲の埋藏があると云はれてゐる。この石炭は製鍊用・發電用にも供されるが、更に注目すべきは液化にして石油化さうと云ふ計劃である。アンガラ建設計劃ではこれを原料として一ケ年の生產能力十萬瓲の石炭液化工場をチェレムホーウォに設置する豫定とされてゐる。しかもこの液化石油の原價は天然石油のそれより安いのだと云ふ。

アンガラストロイが五十二萬キロワットの水力發電を行ふ主な理由はアルミニウム冶金工場を建設することにある。アンガラ・イェニセイ區のボーキサイドは六十%のアルミナを含んでゐる。そのほかオカ川右岸やグシン湖岸等にアルミニウム原料があり、これらを原料とする工場は石炭液化工場と同じくチェレムホーウォに設けられる豫定だと云ふ。そのほか曹達工場・硫酸工場・セメント工場等が計劃され、イルクーツクからチェレムホーウォにかけてシベリヤ第一の工業地帶を作らうとするのであつて。これが完成の曉は極東特別軍の能力はいよ〳〵强化すべく、我が軍部もその將來に深甚な注意を拂つてゐるのである。

アンガラ建設の更に東方のイルクーツク市には機械工場・製材工場・皮革工場その他各種の工場が多く、シベリヤの工業都市となつてゐる。又バイカル湖東方ではウランウダ、もとのウェルフネウヂンスクにはソヴィエト聯邦有數の機關車車輛工場、チタには車輛工場が設けられてゐる。ブラゴヴェシチェンスクにも食料品工業、輕工業が發達してゐる。ハバロフスクは極東に於ける機械製作工業の中心をなし、モロトフ農具工場、カガノウィチ自動車工場、キーロフ造船工場等があり、又北樺太の石油を精製する製油所もこゝにある。南方のウォロシロフ卽ち舊ニコリスクには油脂工場、製糖工場が設けられ、又ウラヂウォストックには造船所、機關車修理工場、製罐工場や輕工場・食料品工場等が設けられてゐるのである。

コムソモリスクの建設

更に極東地方の新興の工業地帶として注目すべきはコムソモリスクとブレーヤ建設とである。

ハバロフスクからアムール川の流れに沿つて下ること約三百粁の河岸に忽然として現はれるのがコムソモリスクである。この町は本邦製のどのアトラスにも記されてゐない。がそれも決して無理もない。何しろ同市の建設は一九三二年の春のことであるが、現在では人口は既に六萬に達してゐる。そして數年後には更に數十萬の大人口をもつ大工業都市となるべく期待されてゐるのである。ソヴィエト式の急テンポの躍進の典型的な實例と見られてゐるのがこのコムソモリスク市である。

コムソモリスクの建設は重工業地帶の設定にある。つまり對日作戰上からの極東軍備の徹底的强化、ヨーロッパロシヤからの獨立の確保にある。一九三二年の春、モスコー・レニングラード・オデッサ・ゴリキー等のヨーロッパロシヤの各地から三千名のコムソモールを選拔してこの地に移住せしめて新工業都市の建設にとりかゝつたのである。コムソモールとは青年共產黨員の意味で、コムソモリスクと云ふ市名はコムソモールの町と云ふ意味である。つまりコム

ソモリスクの建設は三千名の若くたくましい青年共產黨員の手によつて行はれると云ふことが町の名前自體のうちにも示されてゐる。荒漠たる曠野に大工業都市を建設することは如何にも困難な仕事である。しかしソ聯邦特有の强力な權力によつて强行した甲斐があつて、荒漠たる曠野の中に人口六萬の新興都市が出現したのである。

ソヴィエト聯邦當局はこの地に造船所を作り、發電所を設けてゐる。又冶金工場・自動車修繕工場・蓄電池工場・パルプ工場等の各種の軍需工場・准軍需工場が設けられてゐる。現在ではハバロフスクが極東地方の重工業の中心であるが、近い將來コムソモリスクがハバロフスクにとつて代つて極東地方の重工業の中心となるべく期待されてゐる。ソヴィエト聯邦當局は既に約一億ルーブルと云ふ巨費をコムソモリスクの建設のために投じてゐると云ふ。

都市計劃も着々と實行されつゝある。コムソモリスク中央通りとも云ふべきスターリン大通りがアムール川岸からコムソモリスク驛まで通じてゐる。この驛はシベリヤ鐵道とバム鐵道とを連絡する鐵道の核心驛である。そのほか共同住宅・劇場・圖書館・公園・ホール・旅館・百貨店と云ふやうな文化設備も設けられつゝある。又ハバロフスクとの間には毎日郵便飛行が通じてゐる。アムール川面の港の設備も申し分はない。と、云ふやうな有樣で、コムソモリスクは今や素晴しい勢で躍進してゐるのであり、それだけに又我々の絶大な關心の的となりつゝあるのである。

ブレーヤ建設

ブレーヤの建設は既述のブレーヤ炭田と小ヒンガンの鐵鑛とを結合して建設される豫定になつてゐる重工業地帶である。これが建設に着手した事は一九三一年のことである。先づヒンガン・ブレーヤ鐵道を建設してこの兩地を連結し、年產約六十萬瓲の一大製鐵工場を建設する豫定であつた。一時食料不足のために工事が中止されたが、最近は再び工事を續け數年にしてこの工事を完成し、こゝに一大重工業地帶を建設することになつてゐると云ふ。もしこれが完成された曉はソヴィエト聯邦極東軍は重工業製品の自給自足を確立することが出來て、その實力は愈〻强化されることは云ふまでもないことであつて、これに接する我が國としても深甚な關心をもたなければならないのである。

七　貿易の國營

國內商業　ソヴィエト聯邦の國內商業は以前は各地に定期市が開かれて、これが重要な產業機關となつてゐた。なかでもゴルキー・イルビット・バクー・キエフ・ポルタワ・スウェルドロフスク・モスコー・レニングラード・ハルコフ等に見られる定期市は古くから有名となつてゐた。今日でもこれらの町は代表的な商業都市となつてゐる。一九一七年前即ち革命以前には全ロシヤにはかゝる定期市が年々千六百も各地で開催された。なかでも中央部のニジニノヴゴロド即ち今のゴルキーの定期市は最も大規模なものとして知られてゐた。北ロシヤの毛皮生產地方にあるイルビットの毛皮市場も有名で、この地の取引額は年々六千萬圓に及んだと云はれてゐる。その他各地に五千餘の家畜市が開かれ、また森林地帶や河岸には材木市が開かれたのである。然るに革命後の今日では、國內商業も國營を方針とすることになつたので、これらの定期市は今日ではなくなつてしまつたのである。

貿易の國家的獨占　ソヴィエト聯邦の貿易は國家の獨占で、外國貿易人民委員部がこれを統制し、その他十一加盟共和國の貿易部・消費組合・大シンヂケートの貿易部等が行つてゐる。現在輸出機關が一三、輸入機關が七、輸出入機關が四ある。輸入品の買入、輸出品の販賣權は何れも外國に派遣されてゐる通商代表に委任されてゐる。かくてソヴィエト聯邦の貿易は常に輸出を計つて輸入するネットバランス主義によつて行はれてゐる。ソヴィエト聯邦と日本との貿易は、日本へは木材の輸出、日本からは機械の輸入が最も重要な項目となつてゐるが、何れもシベリヤとの間の貿易である。しかして上述のやうな原始産業を主とするシベリヤの貿易は大體に於て農・畜・林・水産・鑛産物等を輸出して、日用品・雜貨・機械・農業機械等の製造品を輸入する狀態で、貿易は一般に不振である。取引は本國との間に最も盛んに行はれ、蒙古との取引がこれに次ぎ、キャフタはその國境貿易の行はれる所である。イラン・アフガニスタン等との間にも陸路貿易が行はれてゐる。海を通じての取引は日本との間に行はれ、一九三七年には三百九十萬圓の木材その他のものを我が國へ輸出し、二千四百萬圓の機械類その他を輸入してゐる。かくしてウラヂヴォストックはシベリヤ第一の貿易港となつてゐるのである。

八　シベリヤの交通

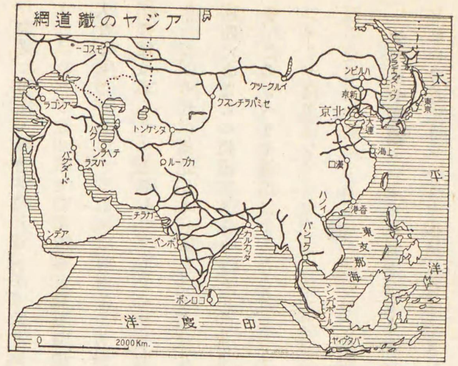
發達途上の交通

以上述べたやうに產業が一般に未だ十分に開發されず、また人口密度も小さいので、シベリヤの交通は、當然その密度も劣つて居り、尙その方法も、近代的な鐵道や航空と共に、原始的な橇や丸木船や馬や駱駝や驢による幼稚な方法が重要な役割を果してゐる。いふまでもなく資源の開發には近代的な交通路、殊に鐵道を敷設することが前提であるから、今日ソヴィエト聯邦の急務はこの地方に先づ今よりも更に多くの鐵道を敷設することである。今日シベリヤで重要な居住・經濟空間といへば、殆どシベリヤ鐵道とこれから分岐する二―三の鐵道沿線とに限られてゐるのであつて、このことによつても鐵道と資源開發との關係の緊密なことをも知ることが出來るのである。今日鐵道その他交通の割合に發達してゐるのは西南部の方面であるのである。併し、シベリヤ全體としては交通網は至つて稀疎であつて、例へば一九二三年までの全シベリヤ地方は百方粁に〇・一六粁の鐵道しかなく、ヨーロッパロシヤの二・二粁に比較して甚だ少く、又人口一萬人についても六粁の鐵道があるにすぎないのである。鐵道が不十分な關係と大河の多い關係とで、シベリヤの交通の特色として、河川が相當に重要な役割を果してゐることも認められなければならないのである。

鐵　道

シベリヤ鐵道　シベリヤ鐵道はウラヂヴォストックに發してハバロフスクを經てカリムスカヤに至り、こゝから西シベリヤ線の幹線となつてチタからはオノン河谷を溯り、ヤブロノイ山脈の南端を越えて、バイカル湖岸に出で、その南端を迂廻してイルクーツクに達する。こゝから數ケ所のタイガ地帶を橫斷してタイガ驛に至り、こゝで北にトムスクへの支線を出し、また南方には西シベリヤ第一の炭田クズネッツに至る支線を出し、更に西方オムスクに至る間は

所謂パルク型のバラバ草原地を貫通してゐるが、その途中でバルナウルやセミパラチンスク・スラブゴロド等を經てタシケントに至る支線を出してゐる。これは所謂トルクシブ鐵道で一九三〇年に完成し、北の小麥地帶と南の棉花地帶とを連絡し、また政治上新疆地方へのソヴィエト聯邦の勢力を扶殖する上に重要な意味をもつてゐるのである。



シベリヤ鐵道はオムスクからはウラルのスウェルドロスクを經てゴリキーに至るものと、チェリヤビンスクを經てサマラに至るものとの二つの平行線に分れてゐる。その全長は七、三八一粁で、支線を合すれば一三、八〇〇粁となつてゐる。又最近の輸送量は三千五百萬瓲を示し、一九一三年頃の二倍に達してゐるのである。尙シベリヤ鐵道は次のやうに區別される。

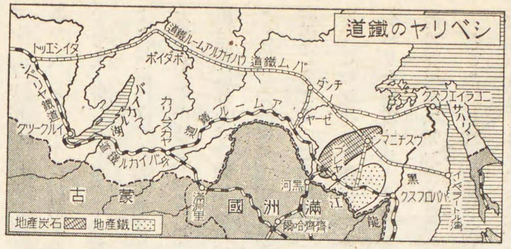
内バイカル線	チェリヤビンスク——イルクーツク	三、三四三粁
外バイカル線	イルクーツク——カリムスカヤ	一、五一七
アムール線	カリムスカヤ——ハバロフスク	一、八六一
ウスリー線	ハバロフスク——ウラヂヴォストック	七六〇
	合　計	七、三八一

シベリヤ鐵道の意義の變遷　このシベリヤ鐵道はもとロシヤ帝國が極東を攻略して海への出口を求めようとする政治的・軍事的目的から作られたものである。卽ちこの鐵道が着工されたのは一八九一年で、當時の金で二億ルーブルの資金を投じ、一九一七年黑龍鐵道の完成まで實に十五ケ年以上の長年月を要したのであるが、この鐵道が出來るだけシベリヤ南部を掠めて通じ、能ふ限り早く極東のウラヂヴォストック及び旅順に達することを目的としてゐたものであつて、シベリヤに以前から發達してゐた都市に立ち寄らない場合が少くないことによつてもこのことは知られるのである。併しロシヤがこの鐵道の東の先端で日本と衝突し、その極東侵略が挫折してからは、この鐵道は軍事的意義よりはシベリヤの最も重要な開拓鐵道となつてゐるのである。この鐵道がシベリヤの經濟的發達に果した役割は實に大なるものがあり、これによつてシベリヤは世界經濟の一環となることが出來たと云ふべく、今日でもシベリヤの開拓地域は專らこの鐵道に沿つてゐると云つても差支へないのである。これはこの鐵道敷設當初の目的の一つであつたことで、それは鐵道が北緯五〇—五五度の開拓可能地域を東西に橫斷してゐることによつても首肯されるのである。同時にまたこの鐵道はヨーロッパと極東とを連絡する唯一の世界鐵道交通幹線で世界一周の最短路の一部をなしてゐる。このシベリヤ鐵道によるときはウラヂヴォストック・モスコー間を十三日、急行すれば九日で達せられる。かくてシベリヤ鐵道はシベリヤ交通に絶大な意義をもつてゐるのであつて、これはシベリヤの河川が何れも南北に流れて東西の交通路を缺いてゐるこの國に於て東西を通ずる鐵道が重要な役割を果すことは首肯されるわけである。

ところで最近日・蘇の關係が惡化してシベリヤ鐵道の軍事的意義は再び壓倒的になつた。何時戰爭が勃發するかも知れぬ今日ではシベリヤ鐵道は從來のまゝであつてはならないのである。そこで最近ソヴィエト聯邦はシベリヤに對する新鐵道を敷設する次の如き計劃を發表し且着々と實行することになつたのである。

一、シベリヤ鐵道の單線部分を複線とすること。

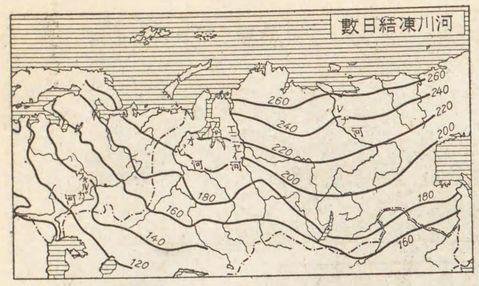
二、滿洲國の北境に接壤する地帶に鐵道網を建設すること。
三、新シベリヤ横斷鐵道を敷設すること。



バム鐵道　第三の計劃は最近バム鐵道として具體化されつゝある。卽ちこれはバイカル―アムール鐵道の略稱で、シベリヤ鐵道のタイシエット驛を起點とし、これから約千八百粁のニコライエフスク及び間宮海峽のインペラトール灣、つまりソヴィエト灣に至らんとする全長三千粁に亙る大鐵道で、更に數多の大支線によつて鐵產地帶を連結し、これによつて極東地方に大工業地區を建設せんとするものである。この計劃は大體一九三一年頃から始められ、右の如き經濟的意味を有するほか、滿洲國に對するシベリヤ鐵道の補强といふ軍事上の目的が重要となつてゐる。またその經濟的意義も重大で、ブレーヤ炭田と小興安嶺の鐵鑛產地とを結合するために、バム鐵道のウスチニマン驛とシベリヤ鐵道アムール線のビラカン驛とを結ぶヒンガンブレーヤ鐵道が建設され、こゝにシベリヤ重工業地帶が作られることになつてゐる。この鐵道は軍事上の意味も少くないので建設狀況は餘り明らかにされてゐないが、既にレナ川沿岸のボダイボ附近に至る鐵道は既に建設されて使用中であり、その他の部分も晝夜兼行でその工事を急いでゐる。

このバム鐵道とシベリヤ鐵道を結ぶ連絡線のウォロチャエフカ・コムソモリスク間三百六十粁も既に完成し、コムソモリスクへの原料運搬線として重大な使命をもつてゐる。更にブリヤートモンゴルのウランウデからウランバートルに至る鐵道も建設中であり、セミパラチンスクからザイサンスク・ウリヤスタロを經てウランバートルに至る鐵道も工事中である。そのほか計劃中のものとしてはネルチンスク・ザウォド線、ブレーヤ・ライチーハ線、ネーウェル・コムソモリスク線等がある。

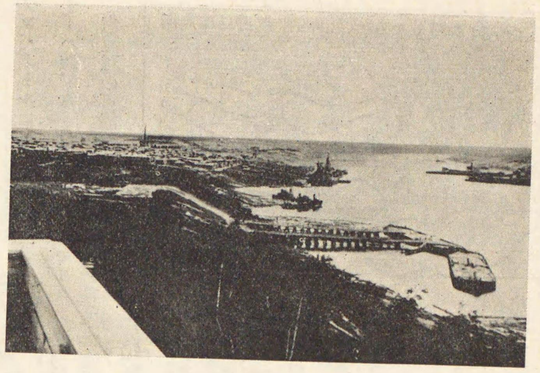
尙實現の可能性のある鐵道として南シベリヤ幹線がある。これはバム鐵道と同じやうにタイシエット驛から分れて西に向ひ、ミヌシンスク・クズネツク・バルナウルを經て、露領中央アジヤに入り、ハヴロウダル・アクモリンスク等を過ぎ、更にオルスク・ウラスクを經てヨーロッパロシヤのサラトフに至るものである。この鐵道の一部は既に建設ずみであり、又一部は工事中であるから、全部が完成する日も遠いことではないかも知れないのである。



妨げられる河川交通

シベリヤの河川は水量の多いのと平坦な地域を緩流してゐるのとで交通に便なところもあるが、殆ど全部が北流して北極海に注いで居り、たゞ南部の高原の比較的狹隘な平原に於てのみ東西の方向の水路が見られる。地方的要求に應ずるだけの交通に對してはこれだけでよいかも知れないが、ヨーロッパロシヤへの連絡が世界經濟への連絡とかいふことになると全く不適當である。しかも冬季は寒氣が嚴しくし

て何れも凍結して用をなさないので、その交通上の價値は餘り著しくない。蓋しシベリヤの位置と地形と氣候との結果である。交通に使用される主要な河川は次の如くである。



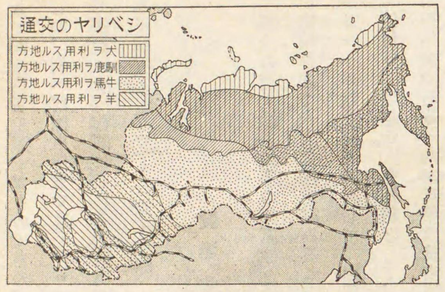
イェニセイ川下流の新都市カルガイ

オビ川は西シベリヤに於ける最も主要な河川で、河岸に多くの都市を發達させ、農産物の運搬・交通上に利用されてゐる。その可航區域は四千粁で、その流域には數十の汽船が上下して西シベリヤの大動脈となつてゐる。バルナウル附近は河幅が七〇〇米に達し、その下流は水深一一米乃至四三米もある。下流に至れば河幅は益〻增大して數粁に達してゐる。凍結期は十二月から四月下旬までである。

イェニセイ川は長さに於てはオビ川に匹敵するが、その交通上の價値は遙かにこれに劣つてゐる。卽ち小型の船を通ずるのみで、河港の數も多くない。その結氷期はオビ川と同樣である。尙この川の支流カッス川とオビ川支流のケット川との間には運河があつて兩川は連絡されてゐる。可航距離は三千粁、イェニセイスク附近までは小蒸汽船を通じてゐる。イェニセイ川の下流にディクソンと云ふ港がある。このあたりのイェニセイ川の巾は十淸もあると云ふから、まるで海みたいである。周圍は荒涼たるツンドラの連續であるが、こゝにも二―三のキャンプがあつて、漁師が生活してゐる。更に川に溯るとウストイェニセイスクに着く。このウストイェニセイスクから更に溯るとイガルカに着く。イガルカまではオーシャンスチーマーが行くが、こゝから河用の船で更に上流のイェニセイスクを經てクラスノヤルスクまで行くことが出き、こゝでシベリヤ鐵道と連絡してゐるのである。

レナ川はウチム川との合流點以下は汽船を上下させ、その上流はヴェルホヤンスク附近まで小船を通はしめる。オビ川・イェニセイ川の兩河の河口が三角江をなしてゐるのに對して、この河は河口に三角洲を突出させてゐるために、水が淺くなつて四時結氷し、北極海との連絡を不可能ならしめてゐる。中流のヤクーツクはこの川による漁利とその集散とによつて發達した町である。

アムール川卽ち黑龍江はオノン川との合流點ストレチェンスク附近まで凡そ三千粁の間は吃水五尺の船を通はしめるが、實際はシルカ川とアルグン川との合流點以下の本流が利用されてゐる。結氷期間は五ケ月前後である。



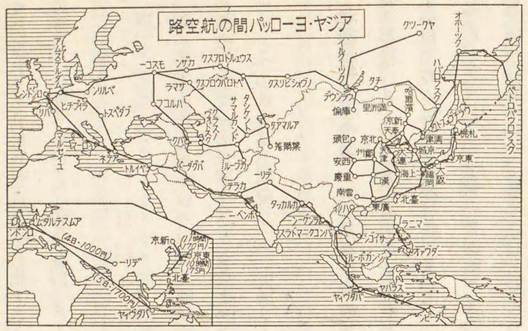
道路の普及

土地が平坦で雨が少いので道路は比較的敷設し易い筈である。道路は現在約十五萬粁の延長を有してゐるが、更に最近四千粁の道路が改良されて、シベリヤの道路交通は面目を改めつゝある。何れも自動車を通じ、その最も重要な幹線はモスコーからウラヂウォストックに至るものである。この道路は帝政時代からあつて

永い間流刑者を運んだものである。最近ソヴィエト聯邦では自動車交通の普及發達に努力しつゝあり、その發達も著しい。例へば極東地方ではハバロフスク・ウラヂヴォストック間八百粁の間には坦々たる自動車道路が完全し、自動車で僅かに十三時間にこれを走破出來るやうになつてゐるし、ハバロフスク・コムソモリスク間、ビロビンヂャン・ノーウイ間、ノガウウォ・コルイマ間、ネーウェル・タモット間等には自動車道路が完成してゐるのである。

發達せる航空交通

國土の尨大性と地形の平原性とは航空交通發展への有力な動機を與へてゐる。政府は大戰直後「萬事を措いて空へ」の旗幟を立て一大飛躍を試みることゝなし、一九二一年九月ドイツと合辨で獨露航空會社を創立し、モスコーからベルリンへの航空路を開設して、中部ヨーロッパとの航空連絡をはかり、また一九二八年には航空五ケ年計劃を立て、「追付け、追越せ」を標語として、シベリヤ・トルキスタン・コーカシヤ地方に航空線路を延長したので、五ケ年計劃の初年度である一九二八年の航空路總延長九、三二六粁は、その最終年度である一九三二年には三二、九三四粁と二大躍進を遂げるに至つた。最近は右の五ケ年計劃の完成に引續いて第二次五ケ年計劃が行はれ、今日は總延長七〇、五五一粁の航空線路が經營されてゐる。今主要なる航空路を列擧すれば、上記のモスコー・ベルリン線以外に、モスコー・ウラヂヴォストック線、モスコー・カブール線、モスコー・アルマアタ線、モスコー・バクー線、モスコー・ブラーグ線、モスコー・ストックホルム線、イルクーツク・ヤクーツク線、イルクーツク・ボダイボ線、ハバロフスク・ナガエヴォ線がモスコーを中心として放射狀に擴がつてゐる。



シベリヤの主要航空路は左表の通りであるが、最近ソヴィエト聯邦政府は廣大なシベリヤに全能力をつくして出來る限り速に稠密な航空路網を完成しようと異常な努力を拂つてゐる。蓋しソヴィエト全土の八割近くがアジヤに屬して居り、而も鐵道や水運の發達は未だずつと遲れた狀態にあるから、シベリヤやトルキスタンの僻陬の地方に於ける經濟的・文化的建設のために航空交通が如何に重大な役割をもつてゐるかは明らかである。殊に「プルガ」と稱するツンドラの吹雪や極東地方の一部海岸に見られる濃霧を除けば航空交通を著しく阻害する暴風・雷雨等の氣象的障碍が少く、惡氣流の生じ易い高峻な山地も比較的乏しいといふ有利な自然的條件をもつてゐる。のみならず鐵道・汽船・自動車等の近代的交通機關に重大な影響を及ぼす永い冬季の結氷狀態や、融氷期に起る洪水、或はシベリヤのツンドラや密林帶、中央アジヤの沙漠等の自然的障碍も航空交通にとつては妨害であるよりは寧ろその發達を助長するものである。かくしてソヴィエト聯邦の航空路が今後も急速なテムポを以て發展することは疑のないところである。

一　モスコー・ウラヂヴォストック線、定期の郵便航路で延長八、一九〇粁。モスコーからカザン・スウェルドロフスク・ノヴォシビルスク・クラスノヤルスク・イルクーツク・チタ・ハバロフスクを經ウラヂヴォストックに至る。所要日數は

四日で、世界最長航空線の一つである。

二　モスコー・カブール線、旅客・貨物をも扱ふ。全長四、一九〇粁、モスコーからペンサ・アクチュビンスク・タシケントを經てカブールまで連絡する。

三　ハバロフスク・オハ間、全長一、一三〇粁。ハバロフスクを經て北樺太のオハに至るもの。別にマリインスクからアレキサンドロフスクまでの支線がある。

四　イルクーツク・ヤクーツク間、全長二、七〇六粁。イルクーツクからは別にボダイボの金產地まで通じてゐる。

五　ウラウンダ・ウランバートル間、五四〇粁。

六　ノヴォシビルク・クズネッツ炭坑間、三三〇粁。

開け行く極北航路

北極海航路の意義　シベリヤの海上交通の中心は何と云つてもウラヂウォストックである。こゝから日本・東洋の各港は勿論、ヨーロッパ・アメリカの港までも航路を通じてゐるのであるが、シベリヤ沿岸の航路として近年世界の耳目を集めてゐるのが北極海航路である。

帝政ロシヤの領土的侵略は暖海の不凍港を求めてのそれであつた、と政治地理學は教へてゐる。ロシヤは北極海岸に長い海岸線を持つて居つたにも拘はらず、北極海岸は結氷と濃霧とのために閉鎖された海岸であつた。ところが人類の空間克服はこの閉鎖海岸にまで達し、氣象學・海洋學・無電・航空機・碎氷船等が協力して北極海にも航路が開かれるやうになつたのである。

北極海に通ずる所謂北東航路の發見はかの地理的發見時代以後ヨーロッパの探檢家の大望の一つであつた。この航路の完成は喜望峰迂廻の航路に代つてアジヤに至る最短の航路の發見が主な目的であつたが、又同時に北シベリヤの土人の採取する毛皮獸を得ることにもあつた。だが、彼等の雄圖は何れも結氷と濃霧とに妨げられて挫折しなければならなかつた。それが最近ソヴィエト聯邦政府の手によつて、部分的なりとは云へ、とにかく完成されたのである。この航路はスカンヂナヴィヤの北端ノースケープを過ぎ、ムルマンスク・白海・バレンツ海を通つてノヴァゼムリヤに達する。ノヴァゼムリヤは南北の二つの長い島から成つてゐるが、航路はこの二島の間のマトホキンシャー海峽を通るのである。この地は北極から僅か九百浬の所にある。これを過ぎると航路はカラ海に出る。それからタイミル半島のチェリュースキン岬を廻りラプチョフ海を經てニューシベリヤの南を過ぎ、東シベリヤ海に出で、ウランゲル島の南を通り、ベーリング海峽を過ぎ、ベーリング海に出で、カムチッツカ半島の南を通り、オホーツク海に出で遂にウラヂウォストクに至るのである。

この航路はヨーロッパ・アジヤ間の最短路であつて、これが實用に供されることになつたならば、歐亞の交通上重要な意義をもつことは云ふまでもないが、又北流するシベリヤの大河とも連絡が出來、これらの河川が世界交通に加入することになるわけである。だからソヴィエト聯邦當局がこの航路を定期的な商業路として開通しようと努力してゐるのも當然である。が、これとともに軍事上も重要な意義をもつてゐることも云ふまでもない。ソヴィエト聯邦當局が萬難を排してこの航路の開通に全力を注いでゐるのもこれによつて首肯出來るのである。

今日の處北極海航路の可能なのは六月から十月頃までで、季節的に非常に制限されてゐるのである。しかもこの間でも船舶航行には普通碎氷船を必要とするのであり、又島嶼や沿岸の各地に極地氣象觀測所を設け、氷の狀態や氣象を調査觀測し、一方では飛行機によつて洋上偵察を行つたりして船舶を無氷又は氷の薄い方面に誘導することになつてゐるのである。

一九三六年には北極海を航行した船舶は百六十隻で、前年に比較して約二倍にのぼつてゐる。又その輸送した貨物は二百七十萬噸といふことで、これは前年に比較して一八%の增加である。しかしてその運ぶ貨物は各種の建設材料・食料品・狩獵用具・工業品などが主である。

シュミット教授の功績　ソヴィエト聯邦の數々のシベリヤ建設のうちでも、所謂北東航路卽ち北極海航路の開拓こそは、世界交通史上の大事業であらう。北極海の氷の海を經て、ヨーロッパからアジヤに至る北東航路の完成こそは人類の自然征服、空間克服の最後のシンボルでなければなるまい。この大事業の擔當者は何人であるか。ソヴィエト聯邦の北方海路總局長のオットー・シュミット教授その人である。ソヴィエト政府當局が北極海航路開拓の第一步に踏み出したのは建國匆々の一九二〇年にオビ・イェニセイの兩大河の流域から木材と穀物とを十隻の汽船に積載して、この川を下り、カラ海を經てアルハンゲルスクに輸送した時に始まる、と云ふから、ソ聯邦が北東航路に着目したのは決してこゝ二―三年のことではないのである。

が、シュミット教授がこの航路の開拓に絶大な努力を傾倒したのは一九二九年のことである。ソヴィエトエンサイクロペディアの總編輯者として令名の高い彼、七ケ國語を自由に操り、現代ソヴィエト聯邦最大の博學者の彼はこの年書齋から飛び出して碎氷船「セドフ」號に搭乘して北極海の荒波を越え、フランスヨセフランドを探檢した。北緯八十度よりも北方のこの地の氷に蔽はれた山頂からカラ海を眺めた。彼はまたこの地に氣象觀測所を設けて、將來の北極海航海に資した。この觀測所こそ世界最北の觀測所である。

一九三二年には彼は碎氷船の「シビリヤコフ」號に搭乘して、北極海征服に向つた。この時フランスヨセフランドの氣象觀測所は間斷なく北極地方の氣象を放送して「シビリヤコフ」號の航海を指導した。遂にシュミット教授は世界の極北の土地を廻り、アルハンゲルスクから北極海を經て、ベーリング海に出ることに成功した。この間約二ケ月、歷史上始めて、一シーズンのうちにこの航海を完成したのである。この「シビリヤコフ」號の成功に自信を得たソヴィエト政府當局は新たに「北方海路總局」を設け、シュミット教授をこれが局長に任じ、各種の探檢隊を增派したり、極地の氣象觀測所を增設する等のことを續けざまに實行して、北極海の征服に拍車をかけたのである。かくて、シュミット教授は一九三三年には半碎氷船に作つた貨物船の「チェリンスキン」號を操縱して再び北極海突破の航海の途にたつたのであるが、この航海こそ彼の生涯に忘れられない苦難の記憶を殘したのである。

彼はこの年の春一〇五人の乘組員を從へてレニングラードを發し、かの白海運河を通つて白海に出で、前年の航海の時のやうに各地の氣象觀測所から氣象の放送をうけながら、東方に向つて進み續けて、ベーリング海峽附近まで航行して、あと一息で待望の太平洋に出られるといふところで、堅氷に閉されてしまつたのである。シュミット教授始め乘組員は北極海の氷原上に島流しになつたやうなもので、四ケ月の間漂流を續けた。併し幸運なことには彼等はソヴィ

エト聯邦の飛行機によつて救はれ、乘組員は無事危難から脫出して、九死に一生を得たのである。この失敗にも屈せず、翌年の一九三四年には碎氷船の「リトケ」號によつて、こんどは東から西への逆コースをとつて北極海を突破したのである。そこで、一九三五年にはソヴィエト聯邦政府當局は普通の汽船によつてこの航路の完成を命令したので、シュミット教授指揮の下に二隻の汽船はウラヂウォストックからムルマンスクに向ひ、他の二隻の汽船はムルマンスクからウラヂウォストックに向つたのである。これ等の汽船は何れも貨客を滿載して出帆し、途中各寄港地に貨客を積卸しつつ、無事目的地に到達したのである。この四汽船は氷海を通過する際には碎氷船に嚮導されるほか、又洋上及び沿岸數十ケ所に設けられた極地氣象觀測所や、各地に配置した多數の飛行機が耳目となつて活動したことに助けられたものである。かくて、普通の汽船が一シーズン內に北極海を突破すると云ふ輝かしい記錄が作られたのである。北極海航路の實用化時代はもうすぐ目の前に迫つてゐると云つてもよいのである。北極海征服はスターリンの夢の一つだと云はれてゐたが、それがもう夢ではなく、實現されることになつたわけである。ソヴィエト聯邦の四〇%を占める極北の荒野に莫大な家畜、盛大な鑛山都市、繁榮な港市をもつた土地を開拓するといふのが、ソヴィエト聯邦の獨裁者の希望だと云はれるが、この希望も强ち無理とは思はれない時代が來たのである。

ソヴィエト聯邦政府が續々とこの地方に派遣する探檢隊は極北の地方の氣象を、潮流を、鑛物資源を探し求めては、航空路圖・水路圖・經濟圖等を作り、この地方の開拓に資してゐるのである。極北の地方に既に一、二七三の鑛床が發見されたのである。七三の炭田、二六の金坑、二の白金坑、三の油田、六の石綿鑛床等がそのうちにある。かうした大富源が開拓された曉は、世界の經濟地圖の大きな部分は完全に書き改められなければならなくなるわけである。これは勿論、ソヴィエト聯邦極東地方の工業化、軍事化を促進するものであつて、我が日本としても決して輕視すべき問題ではない。が、それはともあれ、かうした極北地方開拓の中心をなすのが、北極海航路の完成である。シュミット教授を頭主として、ソヴィエト政府當局がこの開拓に大童になつてゐるのもことわりである。ソヴィエト聯邦では既にこのために四千萬ルーブルの金を使つたといふことである。

その費用も莫大であつた代りに、その效果も亦大である。北極海航路の實用化が夢でなくなつてゐるのである。そればかりではない。フランスヨセフランドに、カラ海のディクソン島に、イェニセイ・レナの河口に、チュクチ半島には空港が作られた。沿岸にも多數の極地氣象の觀測所が作られ、約三萬人の移民が極地地方に移され、沿岸には幾つかの聚落が作られたのである。そのうちでも大きなのはイェニセイ川のイガルカ港である。かくして、北極海航路の完成はシベリヤの極地地方の開發に貢獻するところが絶大である。北極熊が彷徨し、海豹が凍つた海岸の上に鰭をのたくらせて居つた極北の地に幾多の町々が作られ、天然の資源が開拓されるやうになつたのである。そればかりでなく、この地方に昔から住んで居つたエスキモー・チュクチ・モンゴリアン等の土人の間にもソヴィエト文化を傳へることが出來るやうになつた。馴鹿飼養の集團農場が作られた。ラヂオ放送局・活動寫眞館・圖書館等が作られた。旅役者がモリエール劇さへも土人のために演ずるやうになつたのである。又一ケ年に百五十萬枚の貂・狐・海豹の毛皮を產すると云ふチュクチ半島には二つの大毛皮工場が設けられて、百八十一の毛皮集散取引所が作られた。土人の各聚落には學校がおかれ、病人のためには病院さへも設けられたのである。

かくの如くに、急速なテンポで進み行く極北の開拓、それに對して北極海航路の有する意義は評價し切れぬほど大

きい。と同時にこの航路の完成に全身を打ちこんでゐるシュミット教授の使命は重い。而も彼はこの使命を着々と實現して、今や北極海航路の實用化が目睫の間に迫つてゐる。彼が現ソヴィエト聯邦首腦部から特別の愛顧を被つてゐるのも決して偶然ではないのである。

ソフガワニの建設　この極北航路とは別に我が日本として注目しなければならぬのはバム鐵道終點に當るソヴィエト灣卽ちソフガワニである。これは間宮海峽に臨んでゐる小灣で、沿海州北部海岸に於ける唯一の港灣であつて、ソヴィエト聯邦當局はこゝに築港中である。元來沿海州の北海岸は非常に單調で、そのうちの入江としてはインペラトール灣のみが著しい。これに對して南海岸の方は小出入が多く、その一のピーター大帝灣の一角に建設されたのがウラヂウォストックである。インペラトール灣の方は永く打棄てられて居つた。と云ふのは、シホタアリン山脈を越えてアムール川から間宮海峽に出るのにはインペラトール灣背後の峠を通つてこの灣に出るのが有利なものであつたからである。それが、バム鐵道の建設とともに着目されたわけである。そして名稱も改めてソヴィエト灣、ソフガワニとして登場して來たのである。

そこでバム鐵道の終點として建設に着手されたのである。帝政時代はギリヤーク人やオロチョンなどが僅かに三百人ばかりしか居住して居らなかつたが、今日では一萬人の人口を有するやうになつてゐる。罐詰工場・製粉工場・製材所等が設けられてゐると云ふが、ソフガワニの特色は海港たることにある。目下大規模な海港建設工事が開始されてゐると云ふ。その工事が完成されたならば、ソフガワニは第二のウラヂウォストックたるべく期待されてゐる。それだけに、ソフガワニは軍事上重要な意義をもつてくるわけである。ポーツマス條約によつて間宮海峽の非武裝が約定されてゐる以上、表向軍港とすることは出來ないかも知れないが、實質に於ては對日作戰上重要な意義を持つ軍港となるものと考へられるのである。